au by KDDI

MIRACH IS11PT

取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、IS11PTをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書ダウンロード
『取扱説明書』(本書)のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html
オンラインマニュアル
auホームページでは、本書を抜粋のうえ、再構成した検索エンジン形式のマニュアルもご用意しております。
http://www.au.kddi.com/manual/index.html

■For Those Requiring an English/Korean/Simplified Chinese/Traditional Chinese/Portuguese Instruction Manual 英語版・韓国語版・中国語(簡体)版・中国語(繁体)版・ポルトガル語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English/Korean/Simplified Chinese/Traditional Chinese/Portuguese version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』/『取扱説明書・抜粋(韓国語版)』/『取扱説明書・抜粋(中国語(簡体)版)』/『取扱説明書・抜粋(中国語(繁体)版)』/『取扱説明書・抜粋(ポルトガル語版)』をauホームページからダウンロードできます(発売後約1ヶ月後から)。

Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

English/Korean/Simplified Chinese/Traditional Chinese/Portuguese Simple Manual can be read at the end of this manual.
簡易英語版/簡易韓国語版/簡易中国語(簡体)版/簡易中国語(繁体)版/簡易ポルトガル語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

IS11PTをご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

au電話をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、CDMA/GSM方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が本書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- IS11PTは国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。

マナーも携帯する

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車･原動機付自転車･自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車･原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

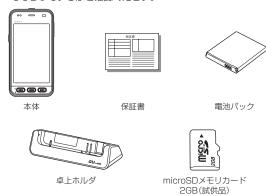
■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本体付属品について

すべてそろっているかご確認ください。

本体　保証書　電池パック

卓上ホルダ　microSDメモリカード 2GB（試供品）

- 取扱説明書（本書）
- ご使用上の注意
- 設定ガイド
- グローバルパスポートご利用ガイド
- 001国際電話サービス（au国際電話サービス）ご利用ガイド

以下のものは同梱されていません。

- ACアダプタ
- microUSB-USB変換ケーブル
- ステレオイヤホン
- microUSBステレオイヤホン変換アダプタ

- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

こんなときは…

電話機能

メール機能

調べる

映像や音楽を楽しむ

映像や音を記録する

機能設定の変更

便利な機能を使う

もしものときに

目次

目次

インターネット............................... 117

マルチメディア............................... 125

アプリケーション............................ 145

便利な機能.. 161

機能設定 181

Wi-Fi 199

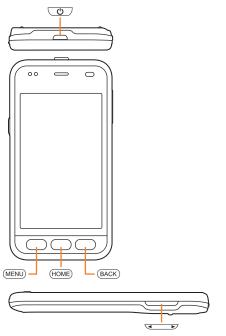
他機器とのデータのやりとり.........205

auのネットワークサービス............213

安全上のご注意／防水・防塵のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどをタップ(▶P.46)する操作を、[(項目などの名称)]と省略して表記しています。
また、本書では縦表示での操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。

例：ホーム画面にウィジェットを追加する場合

1 ホーム画面で(MENU)→[追加]→[ウィジェット]

ホーム画面が表示されている状態でディスプレイ左下の(MENU)キーを押して、「追加」をタップして、「ウィジェット」をタップする操作を表しています。

memo

◎アプリケーションによっては、起動した際にホームやメニューなどの基本画面が表示されずに、前回起動時に最後に表示していた画面などが表示される場合があります。その場合は、(BACK)を数回押すとホームやメニューなどの基本画面が表示されます。本書では、(BACK)を数回押す操作を省略して、ホームやメニューなどの基本画面からの操作を記載しています。
◎本書では「MIRACH IS11PT」を「IS11PT」と表記しています。
◎本書では、キーや画面、アイコンは本体カラー「クリアホワイト」を例に説明しておりますが、実際のキーや画面とは字体や形状が異なっていたり、一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。
◎本書に記載されているメニューの項目やアイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。また、説明用に意図的にアイコンを追加したり移動している場合があります。
◎本書では「microSD™メモリカード(試供品または市販品)」および「microSDHC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

■掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の上下を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面上部のアイコン類などは、省略されています。

免責事項について

◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
◎本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

安全上のご注意

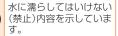
■安全にお使いいただくために必ずお読みください。

● この「安全上のご注意」にはIS11PTを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の説明

	行ってはいけない(禁止)内容を示しています。		水に濡らしてはいけない(禁止)内容を示しています。
	分解してはいけない(禁止)内容を示しています。		必ず実行していただく(強制)内容を示しています。
	濡れた手で扱ってはいけない(禁止)内容を示しています。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■IS11PT本体、au ICカード、電池パック、充電用機器、周辺機器共通

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

IS11PTに使用する電池パック、充電用機器、microUSBケーブルや変換アダプタ、イヤホン関連機器は必ず専用の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

充電端子やその他接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

指定のACアダプタ（別売）をコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS11PTの電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。

分解や改造、お客様による修理などをしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS11PT・ソフトウェアなどに不具合が生じてもKDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

IS11PTは防水・防塵性能を有する機種ですが、万一、水などの液体や粉塵が外部接続端子カバー、電池パックカバーなどからIS11PT本体内部に入った場合には、使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

IS11PT本体が濡れている状態で充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は保証外となり、修理ができません。

充電端子やその他接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

IS11PTが落下などにより破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生、動画再生などには使用しないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

イヤホンなどをIS11PT本体に装着し、ゲームや音楽再生、動画再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息したり、傷害などの原因となる場合があります。

湿気の多い場所で使用しないでください。身に着けている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはシガーライタソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

外部から電源が供給されている状態のIS11PT本体・電池パック・指定の充電用機器（別売）に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

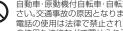
金属製のストラップやアクセサリーを使用されている場合は、充電の際に卓上ホルダや電池パックの端子、特にコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

電池パックカバーを外したまま使用しないでください。

接続端子にゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

イヤホンなどをIS11PT本体に装着し音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

■IS11PT本体について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

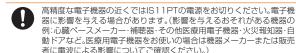
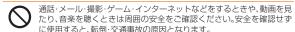
自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

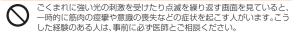
植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には携帯電話を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は携帯電話の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

高精度な電子機器の近くではIS11PTの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、動画を見たり、音楽を聴くときは周囲の安全をご確認ください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にモバイルライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師とご相談ください。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
au電話は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊎」がau電話本体の銘板シールに表示されております。
au電話本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときにはすぐに使用をやめ、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

IS11PTで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイパネル側）	PC＋GF強化樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（ディスプレイ枠部）	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（電池パックカバー側）	PC＋GF強化樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電池パックカバー	PC＋GF強化樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
カメラレンズ部	アクリル樹脂	化学硬化処理
赤外線ポート部	PC樹脂	―
ロックレバー部	POM樹脂	―
ディスプレイ	強化ガラス	強化熱処理および耐指紋コーティング
MENUキー／HOMEキー／BACKキー	アクリル樹脂	―
電源キー／音量キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
充電端子	ステンレス	金メッキ
ネジキャップ	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びた物を近付けたり、挟んだりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

通常は外部接続端子カバーなどをはめた状態でご使用ください。カバーをはめずに使用していると、ほこり、水などが入り、故障の原因となります。

外部接続端子に液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。外部接続端子を使用しないときは、ほこりなどが入らないようカバーをお閉めください。

ハンドストラップなどを持ってIS11PT本体を振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因となることがあります。また、ヒモが傷付いているなど、傷んだストラップは取り付けないでください。

IS11PT本体の吸着物にご注意ください。受話口やスピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口やスピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、IS11PT本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

IS11PTのBluetooth®機能は日本国内およびFCC／CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

IS11PTの無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内およびFCC／CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域では無線LAN（Wi-Fi®）機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

■電池パックについて

（IS11PTの電池パックはリチウムイオン電池です）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。
なお、リチウムイオン電池の取り扱いについては、本書または電池パック（PTI11UAA）（別売）の取扱説明書をご参照ください。

⚠危険 **誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

電池パックをIS11PT本体に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂、火災、発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず接続部を十分にご確認ください。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレス・ヘアピン）などと接続端子が触れないように専用ケースに入れてください。電子回路のショートによる火災や故障の原因となる場合があります。（専用ケースは予備電池パックに付属しています。）

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。また、電池パックのラベルをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり破損や漏液した電池パックは使用しないでください。発火・発熱・破裂の原因となります。

電池パックは防水・防塵性能を有しておりません。電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると、発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、すぐに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

濡れた手での使用は絶対にしないでください。

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を負うおそれがあるのですぐに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗った後、すぐに医師の診断を受けてください。

漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

■充電用機器について

⚠警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
- 共通ACアダプタ01(別売):AC100V(日本国内家庭用)
単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ(別売):AC100V~240V
- DCアダプタ(別売):DC12V・24V(マイナスアース車専用)

指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだ指定の充電用機器(別売)や緩んだコンセントまたはシガーライタソケットは使用しないでください。

共通DCアダプタ01/03(別売)はヒューズを使用しています。万一、ヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズ(定格1.0A、250V)と交換してください。発熱・発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01/03(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

指定の充電用機器(別売)の電源コードを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・電子回路のショート・火災の原因となります。

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときには、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や電子回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器(別売)の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

指定の充電用機器(別売)は防水・防塵性能を有しておりません。水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合にはすぐに電源プラグを抜いてください。

濡れた手での使用は絶対にしないでください。

充電用機器のご使用につきまして、皮膚に異常を感じたときはすぐに使用をやめ、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質、体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

卓上ホルダを自動車内で使用しないでください。落下・運転の妨げにより故障の原因となります。卓上ホルダは室内の安定した場所での使用を前提としています。

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

充電は安定した場所で行ってください。傾いた所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。IS11PTが外れたり、火災や故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ01/03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

IS11PT本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■au ICカードについて

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau ICカードを入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au ICカードの取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au ICカードを分解、改造しないでください。
データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを濡らさないでください。
故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を傷付けないでください。
故障の原因となります。

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au ICカード保管の際には、直射日光があたる場所や高温多湿な場所には置かないでください。
故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■IS11PT本体・au ICカード・電池パック・充電用機器・周辺機器共通

- IS11PTは防水・防塵性能を有しておりますが、IS11PT本体内部に水や粉塵を浸入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。
- IS11PTは、外部接続端子カバー、電池パックカバーをしっかり閉じた状態でIPX5（旧JIS保護等級5）相当、IPX7（旧JIS保護等級7）相当の防水性能およびIP5X（JIS保護等級5）相当の防塵性能を有しておりますが、完全な防水・防塵ではありません。雨の中や水滴、汚れが付いたままでの電池パックの取り付け／取り外しや、外部接続端子カバー、電池パックカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食したり、故障の原因となります。また、付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。調査の結果、これらの水濡れや粉塵の浸入による故障と判明した場合、保証対象外となります。

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。（周囲温度 5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
  au ICカード・充電用機器・microUSBケーブルや変換アダプタ・イヤホン関連機器
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。（周囲温度 5℃～35℃、また湿度は35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。）
  IS11PT本体・電池パック
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。
  汚れていると接触不良の原因となる場合があります。掃除の際は強い力を加えて電源端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
  また、ほこりなどが付着した場合には、軽く拭きはらってからご使用ください。
- 家庭用電化製品（テレビ、スピーカーなど）をお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 音声通話中、カメラ機能動作中および充電中など、ご使用状況によってはIS11PT本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックはIS11PTの電源を切ってから取り外してください。
  電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■IS11PT本体について

- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面を爪や硬い物などで強く押しつけないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- IS11PTはディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- IS11PTで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ポケットおよびかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、IS11PT本体が損傷するおそれがあります。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。ガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- IS11PT本体（電池パックを取り外した側面）に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のIS11PTが電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- IS11PTに登録された電話帳・メール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS11PTに保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、外部接続端子に対して外部機器のコネクタが平行になるように抜き差ししてください。

- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 外部接続端子カバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 写真撮影で写真モニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、カメラ機能、マルチメディアコンテンツの再生、ブラウザを繰り返し長時間連続動作させた場合、IS11PT本体の一部分が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、IS11PT内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- 撮影などした写真/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、「著作権が有効なデータ」など上記の手段でも控えができないものもありますのであらかじめご了承ください。
- IS11PTは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能(メール、カメラなど)の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- 磁石やスピーカー、テレビなど磁力を有する機器に近付けると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- microSDメモリカードの取り付け、取り外しの際は、必要以上に力を入れないでください。手や指を傷付ける可能性があります。
- データの読み込み中、書き込み中には振動や衝撃を与えたり、microSDメモリカードを引き抜いたり、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。データの消失や故障の原因となります。
- カメラ機能などをご利用の際は、光センサーに指がかからないようにご注意ください。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、ディスプレイ照明の明るさ自動調整機能が正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーを指でふさいだり、近接センサーの上にシールなどを貼ると、通話時にバックライトがすぐに消灯して操作が行えなくなることがありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近付いた場合、タッチパネルが誤作動することがありますのでご注意ください。
- タッチ操作は1本の指(ピンチ操作の場合のみ2本の指)で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものや爪や金属などの硬いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や破損の原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などのけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護シートや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、ほこりなどが付着していると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、IS11PT本体から外し専用ケースに入れて高温多湿を避けて保管してください。（専用ケースは予備電池パックに付属しています。）
- 初めてお使いのときや、長時間使用しなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。（充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。）
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近付くにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 周囲の温度が高いもしくは低いため保護機能が働き、充電できない場合があります。周囲温度が5℃～35℃の場所に置いてください。充電を開始します。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードを、電源プラグおよび卓上ホルダに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- IS11PTの故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあり、その場合、当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声が録音されているかをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影、公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない文字情報の記録には、使用しないでください。
- IS11PTには、お買い上げ時にディスプレイ部に傷防止のためのシートが貼り付けられています。必ずはがしてからお使いください。はがさずにお使いになると画面の確認などのご使用に支障があります。

■ 音楽／動画再生機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は音楽や動画を再生しないでください。自動車、原動機付自転車などの運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく表示に気をとられ事故の原因となります。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン（別売）からの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様がIS11PTで撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像を転送することはできません。

- 本製品は、MPEG LA, LLC社とのMPEG-4およびAVC特許ライセンス契約に基づき、お客様個人による非営利目的を条件に下記使用が許可されています。
  - MPEG-4およびAVC規格に準拠して映像(以下、MPEG-4映像およびAVC映像)を録画すること
  - 個人による非営利目的で録画されたMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること
  - MPEG LA, LLC社よりライセンスを許諾されている提供者から得たMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること

  上記以外で使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLC社にお問い合わせください。(http://www.mpegla.com参照)

■ au ICカードについて

- au ICカードはauからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
  また、解約などを行って不要になったau ICカードは、auショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- au ICカードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、IC(金属)部分に触れないようにご注意ください。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどにau ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
  お手入れは柔らかい乾いた布などで拭いてください。
- au ICカードにラベルなどを貼り付けないでください。
- au ICカード以外のカードを本製品に挿入しないでください。au ICカード以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。

<IS11PTの記録内容の控え作成のお願い>

- ご自分でIS11PTに登録された内容や、外部からIS11PTに受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。
  IS11PTのメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。

  ※ 控え作成の手段
  - 電話帳や、音楽データ、撮影した写真や動画など、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信したりすることで、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

■ お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意／防水・防塵のご注意

防水・防塵のご注意

IS11PTは外部接続端子カバー、電池パックカバーが完全に装着された状態でIPX5（旧JIS保護等級5）※1相当、IPX7（旧JIS保護等級7）※2相当の防水性能およびIP5X（JIS保護等級5）※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かにIS11PTを沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項

❶ 外部接続端子カバーをしっかり閉じ、電池パックカバーは完全に装着した状態にしてください。
- 完全に閉まっていることで防水・防塵性能が発揮されます。
- 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
- 手やIS11PTが濡れている状態での外部接続端子カバー、電池パックカバーの開閉は絶対にしないでください。

外部接続端子カバーの閉じかた

カバーのヒンジを収納してから外部接続端子カバー①のカバー全体を指の腹で押し込んでください。

その後に②の矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。

❷ 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。

❸ 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。

❹ 水以外の液体（アルコールなど）に浸けないでください。

❺ 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、IS11PT本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

❻ 水中で使用しないでください。

❼ お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

石けん／洗剤／入浴剤

海水

温泉

砂／泥

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後はIS11PT本体の隙間に水がたまっている場合があります。
  よく振って水を抜いてください。特に電池パックカバーおよびキー部内の水を抜いてください。（水がたまったまま持ち運ぶと、水が漏れて服やかばんの中などを濡らすおそれがあります。また、濡れたままですと、音量が小さくなる場合があります。）
- 水抜き後も、内部は濡れています。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口、受話口に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。（▶P.27「水に濡れたときの水抜きについて」）
- ディスプレイが汚れていたり汗や水で濡れていると、タッチパネルが誤動作する場合があります。その場合はディスプレイの表面をきれいに拭き取ってください。

■利用シーン別注意事項

『**雨の中**』：雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合。（1時間の雨量が20mm未満まで）
- 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子カバー、電池パックカバーの開閉は絶対にしないでください。

『**シャワー**』：シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

『**洗う**』：やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは電池パックカバーをしっかり閉じた状態で、外部接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

『**お風呂**』：お風呂で使用できます。濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。

- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- ご使用する場所によっては、電波の入りが悪くなることがあります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などにIS11PTを持ち込むときは、IS11PT本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- 動画などを見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 卓上ホルダをお風呂場へ持ち込まないでください。

『**キッチン**』：キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- 動画などを見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■共通注意事項

- **外部接続端子カバー、電池パックカバーについて**

  外部接続端子カバーはしっかりと閉じ、電池パックカバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
  外部接続端子カバーを開閉したり、電池パックカバーを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
  外部接続端子カバー、電池パックカバーに劣化・破損があるときは、防水・防塵性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

- **海水／洗剤などが付着した場合**

  万一、水以外（海水・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
  やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
  汚れた場合、ブラシなどは使用せず、電池パックカバー、外部接続端子カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

- **水に濡れた後は**

  水濡れ後は水抜きをし、電池パックカバーを外さないで、IS11PT本体、電池パックカバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
  寒冷地ではIS11PT本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。（本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。）

- **ゴムパッキンについて**

  外部接続端子カバー周囲のゴムパッキン、電池パックカバーのゴムパッキンは、防水・防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
  外部接続端子カバー、電池パックカバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水・防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
  水以外の液体（アルコールなど）が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
  外部接続端子カバー、電池パックカバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。IS11PT本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、水や粉塵が浸入する原因となります。
  防水・防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

- **充電について**

  IS11PT本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
  付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。

- **防水性能について**

  耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所（蛇口・シャワーなど）でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流（6リットル／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。IS11PTはIPX5（旧JIS保護等級5）相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
  IS11PTは水に浮きません。

- **耐熱性について**

  熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）は使用しないでください。IS11PTは耐熱設計ではありません。

- **衝撃について**

  IS11PTは耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口、送話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。IS11PT本体が破損・変形するおそれがあり、水や粉塵が浸入する原因となります。

■水に濡れたときの水抜きについて

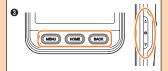
IS11PTを水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

下記手順で水抜きを行ってください。

❶ IS11PT本体に付着した水分を乾いたタオル・布などでよく拭き取ってください。

❷ IS11PTをしっかり持ち、図のように矢印の方向に各20回位振ってください。
※IS11PTを振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。

❸ MENUキー、HOMEキー、BACKキーおよび音量キーをタオル・布などでおおい、各キーを2～3回押します。

❹ IS11PT内部より出てきた水分を乾いた布などで拭き取ってください。

❺ 乾いたタオル・布などを下に敷き、常温で放置して乾燥させてください。(30分程度)
※乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

■充電のときは

付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- IS11PTが濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- IS11PTが濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子カバーからの水や粉塵の浸入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS11PTをご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
	③ Eメール設定の「その他の設定」から各種設定変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● パターン／PIN／パスワード

使用例	画面ロックや遠隔制御ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS11PTには次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
「画面ロックの設定」	設定方法は、「ロック解除方法を設定する」(▶P.189)をご参照ください。
「遠隔制御ロック」	設定方法は、「遠隔制御ロックを利用する」(▶P.187)をご参照ください。
Eメールの「セキュリティ設定」	設定方法は、「メールボックスにパスワードを設定する」(▶P.97)をご参照ください。

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、PINコードを変更したり、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。(▶P.190「UIMカードのロックを設定する」)

- お買い上げ時のPINコードは入力不要に設定されていますが、「UIMカードをロック」で入力が必要な設定に変更できます。なお、入力要否を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」で新しくPINコードを設定してください。(▶P.190「UIMカードのロックを設定する」)
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎「PINコード」は「データの初期化」(▶P.194)を行ってもリセットされません。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

IS11PTのBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1

- **Bluetooth®機能：2.4FH1**
  IS11PT本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4DS4/OF4

- **無線LAN機能：2.4DS4/OF4**
  IS11PT本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

Bluetooth®についてのお願い

- IS11PTのBluetooth®機能は日本国内およびFCC／CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■Bluetooth®ご使用上の注意

IS11PTのBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11PTを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11PTと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11PTの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- IS11PTの無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内およびFCC／CE規格に準拠し、認定を取得しています。フランスなど一部の国／地域では無線LAN機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV・OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のアクセスポイント（無線LAN親機）が存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- Wi-Fi対応の航空機内であってもIS11PTは使用できません。電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

■無線LANご使用上の注意

IS11PTの無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11PTを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11PTと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11PTの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®、無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときには、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎Bluetooth®、無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

- IS11PTは常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。
- IS11PTでのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定などを行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信料は有料となります。（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）

  また、プランEシンプル／プランEにご加入された場合であっても、Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。（「Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。）

※Wi-Fi接続の場合はパケット通信料はかかりません。（Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）はWi-Fi接続でのご利用はできません。）

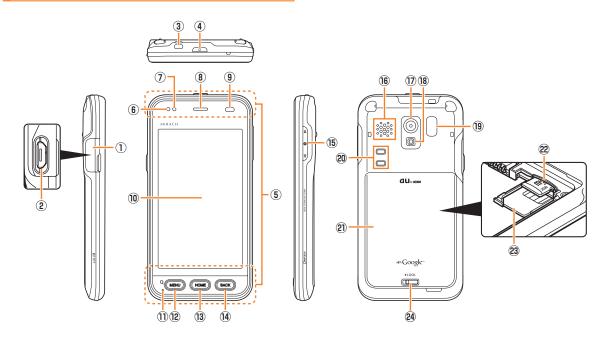
au one Market／Androidマーケットアプリケーションについてのご注意

- アプリケーションのインストールは、安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウィルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- IS11PTに搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備をする

各部の名称と機能

③
④
⑦
⑧
⑨
⑥
MIRACH
⑯
⑰
⑱
⑲
①
②
⑮
⑳
㉒
⑩
⑤
au by KDDI
㉑
QUALCOMM 3G CDMA
IS11PT
PANTECH
with Google™
▸LOCK
㉓
MENU
HOME
BACK
⑪
⑫
⑬
⑭
㉔

① **外部接続端子カバー**

② **外部接続端子**

共通ACアダプタ03(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)、18芯-microUSB変換アダプタ01(別売)、microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)などの接続に使用します。

③ **ハンドストラップ取付口**

④ ⏻ **電源キー**

電源ON/OFFやスリープモードの起動/解除に使用します。

⑤ **内蔵アンテナ部**

通話時、3Gデータ通信利用時、Wi-Fi機能利用時、Bluetooth®機能利用時、GPS情報を取得する場合は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。

⑥ **充電ランプ**

充電中に赤色で点灯します。

⑦ **着信ランプ**

電話着信時に点灯します。

⑧ **受話口(レシーバー)**

通話中の相手の方の声がここから聞こえます。

⑨ **近接センサー/光センサー**

近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを自動調整します。

⑩ **ディスプレイ**

⑪ **送話口(マイク)**

通話中の相手にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。

通話中や録音中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

⑫ (MENU) **MENUキー**

オプションメニューを表示します。

⑬ (HOME) **HOMEキー**

ホーム画面を表示するときなどに使用します。

⑭ (BACK) **BACKキー**

1つ前の画面に戻ります。

⑮ **音量キー**

音量を調節します。

⑯ **スピーカー**

着信音やアラーム音、音楽や動画の再生音などが聞こえます。

⑰ **カメラ(レンズ部)**

⑱ **モバイルライト**

⑲ **赤外線ポート**

赤外線通信中、データの送受信を行います。

⑳ **充電端子**

卓上ホルダを使用して充電するときの端子です。

㉑ **電池パック/カバー**

㉒ **microSDメモリカードスロット**

㉓ **au ICカード**

au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードについて」(▶P.40)をご参照ください。

㉔ **ロックレバー**

電池パックを充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったら充電してご使用ください。

■ご利用可能時間

連続待受時間※1	約260時間※2
連続通話時間※1	約500分※2

※1 日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.245)をご参照ください。

※2 Wi-Fiを利用していないとき

充電時間は約160分です

※指定のACアダプタ(別売)使用時

memo

◎充電中、IS11PT本体と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

◎電池パックは、「安全上のご注意」(▶P.13)をよくお読みになってお取り扱いください。

◎カメラ機能などを使用しながら充電した場合は充電時間は長くなります。

◎指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと電池パックの寿命が短くなります。

◎IS11PTの充電ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎共通ACアダプタ01(別売)では日本国内家庭用AC100Vをご使用ください。単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
共通ACアダプタ01(別売)以外の、指定のACアダプタ(別売)を海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタを使用してください。海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

◎電源端子・充電端子は、ときどき乾いた綿棒などで、端子が変形しないように注意して掃除してください。汚れていると正常に充電されない場合があります。

◎外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。

◎連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。

- (圏外)が表示される場所での使用が多い場合
- メール機能・Wi-Fi機能・カメラ機能などの使用
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

■指定のACアダプタ(別売)と卓上ホルダを使って充電する

別途、指定のACアダプタ(別売)が必要です。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.237)をご参照ください。
(お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。ご了承ください。)
ここでは、共通ACアダプタ03(別売)を使用して充電する方法を説明します。

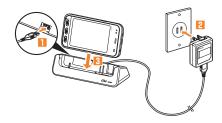
memo

◎卓上ホルダにIS11PTを差し込むと卓上時計画面(▶P.153)が表示されます。卓上時計画面を表示しながら充電した場合は充電時間は長くなります。特にスライドショー実行時は画面が自動的に消灯しないため充電時間が長くなります。

◎共通ACアダプタ01(別売)、共通ACアダプタ02(別売)または共通ACアダプタ02と共通の仕様のACアダプタ(別売)を使用して充電する場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01(別売)を使用して卓上ホルダと接続してください。

◎IS11PTの電源がOFFの状態で充電を開始すると、IS11PTの電源が自動的にONになり充電中の画面が表示されます。(充電中の画面表示のみで、他の操作はできません。)充電を終了するとIS11PTの電源は自動的にOFFになります。

◎電源OFFの状態で充電をした場合、電池残量が少ない状態で充電を終了すると充電不足のメッセージが表示される場合があります。

◎IS11PTを卓上ホルダに差し込んだまま発信したり、電話を受けたり、通話しないでください。

1 卓上ホルダの接続端子に共通ACアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグを接続する

コネクタ先端の形状を確認し平行に差し込みます。

2 共通ACアダプタ03(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

3 IS11PTを卓上ホルダに差し込む

IS11PTの充電ランプが赤色に点灯し、ディスプレイ上部の電池残量アイコンが充電中の表示になります。
充電が完了すると充電ランプが消灯します。

4 充電が終わったら卓上ホルダからIS11PTを取り外す

卓上ホルダを押さえながらIS11PTを上方向にまっすぐ取り外してください。

5 共通ACアダプタ03(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

■指定のACアダプタ(別売)を直接IS11PTに接続して充電する

別途、指定のACアダプタ(別売)が必要です。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.237)をご参照ください。
(お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。ご了承ください。)
ここでは、共通ACアダプタ03(別売)を使用して充電する方法を説明します。

memo

◎共通ACアダプタ01(別売)、共通ACアダプタ02(別売)または共通ACアダプタ02と共通の仕様のACアダプタ(別売)を使用して充電する場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01(別売)を使用してIS11PT本体と接続してください。
◎IS11PTの電源がOFFの状態で充電を開始すると、IS11PTの電源が自動的にONになり充電中の画面が表示されます。(充電中の画面表示のみで、他の操作はできません。)充電を終了するとIS11PTの電源は自動的にOFFになります。
◎電源OFFの状態で充電をした場合、電池残量が少ない状態で充電を終了すると充電不足のメッセージが表示される場合があります。

1 IS11PTに共通ACアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグを接続する

外部接続端子カバーを開け、コネクタ先端の形状を確認し平行に差し込みます。

2 **共通ACアダプタ03（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む**

IS11PTの充電ランプが赤色に点灯し、ディスプレイ上部の電池残量アイコンが充電中の表示になります。
充電が完了すると充電ランプが消灯します。

3 **充電が終わったらIS11PTから共通ACアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐ引き抜く**

4 **IS11PTの外部接続端子カバーを閉じる**

5 **共通ACアダプタ03（別売）の電源プラグをコンセントから抜く**

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **⏻（1秒以上長押し）**

ロゴが表示された後、しばらくするとロック解除画面が表示されます。
🔒を画面中央の円までドラッグしてドロップするとロックが解除されます。
画面ロック（▶P.189）を設定している場合は、パターン／PIN／パスワード入力画面が表示されます。
🔒以外のアイコンを画面中央の円までドラッグしてドロップすると各アプリケーションを直接起動できます。

《ロック解除画面》

memo

◎お買い上げ後、初めてIS11PTの電源を入れたときは、ロック解除画面でロックを解除すると初期設定画面（▶P.39）が表示されます。

電源を切る

1 **⏻（0.5秒以上長押し）**

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 **［電源を切る］→［OK］**

《携帯電話オプション画面》

スリープモードについて

IS11PTを一定時間操作しなかった場合、自動的にディスプレイの表示が消えて、スリープモードに移行します。
また、操作中に⏻を押した場合もスリープモードに移行します。

■スリープモードを解除する

1 **スリープモード中に⏻**

ロック解除画面が表示されます。

memo

◎HOMEを押してもスリープモードを解除できます。
◎スリープモードに移行するまでの時間は、「バックライト消灯」（▶P.187）で設定できます。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めてIS11PTの電源を入れたときやau ICカードを差し替えたとき、初期化した後に再起動したときは、ロック解除画面でロックを解除すると初期設定画面が表示されます。

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。

1 Androidのロボットのイラストをタップ

■ Googleアカウントをお持ちでない場合

2 [作成]

3 名・姓とユーザー名を入力→[次へ]

画面の指示に従って、アカウントの作成とセットアップを完了してください。

■ Googleアカウントをお持ちの場合

2 [ログイン]

3 ユーザー名とパスワードを入力→[ログイン]

画面の指示に従って、アカウントのセットアップを完了してください。

memo

◎ 初期設定画面で「スキップ」を選択して、Googleアカウントのセットアップを行わなかった場合、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときや、「アカウントと同期」でGoogleアカウントをセットアップすることができます。(▶P.191)

画面にこんな表示が出たら

■ が表示された場合

サービスエリア外か電波の弱い場所にいるため、ご利用になれません。

が消える所まで移動してください。

■「充電してください」が表示された場合

電池残量が15%未満になったときに表示されます。「OK」をタップして充電するか、充電された電池パックと交換してください。

「電池使用量」をタップすると、電池の使用状況が確認できます。

(シンプルモード時は「電池使用量」は表示されません。)

■「電話が規制されています」が表示された場合

回線が非常に混みあっているなどで、電話がかかりにくくなっています。

しばらくたってからおかけ直しください。

■「au ICカード(UIM)エラー」が表示された場合

- 「カードを挿入し、再起動してください」と表示されているときは、au ICカードが挿入されていません。au ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- 「カードが異なるためご利用できません(0051)」または「このカードではご利用できません(XXXX)」と表示されているときは、au ICカード以外のカードが挿入されています。au ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

■「au ICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました」が表示された場合

- 落下などの衝撃が加わると、表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 繰り返し「au ICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました」と表示された場合は、正しくau ICカードが取り付けられているかどうかご確認ください。

au ICカードの取り付けかたについては、「au ICカードを取り付ける」(▶P.41)をご参照ください。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

memo

◎au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分や、IS11PT本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au ICカード着脱時は、必ず指定のACアダプタ(別売)などの電源プラグをIS11PT本体から抜いてください。
◎au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

■au ICカードが挿入されていない、もしくはau ICカード以外のカードが挿入されると…

au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au ICカードが挿入されていない、もしくはau ICカード以外のカードが挿入された場合は、次の操作を行うことができません。また、📶が表示されません。

- 電話をかける／受ける※
- Eメール／Cメールの送受信
- 3Gデータ通信
- 「プロフィール」のIS11PTの自局電話番号、マイアドレスの確認
- 遠隔制御ロックの起動／解除
- UIMカードロック設定

※110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

■PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードロック設定により他人の使用を制限できます。(▶P.190「UIMカードのロックを設定する」)

au ICカードを取り外す

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから取り外し・取り付けを行います。

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

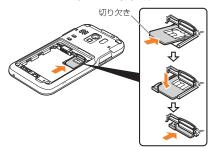
(▶P.238「電池パックを交換する」)

2 **ツメを引っ張ってトレイをまっすぐ引き出し、au ICカードを取り外す**

au ICカードを取り付ける

1 **ツメを引っ張ってトレイをまっすぐ引き出す**

2 **au ICカードのIC(金属)部分を上にしてトレイに載せ、奥に差し込む**

トレイとau ICカードの切り欠きの方向を合わせてください。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)をIS11PT本体にセットすることにより、データを保存することができます。また、電話帳やEメールのデータなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

◎IS11PTが対応する最大ファイルサイズは2GBです。

◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、IS11PTでは正常に使用できない場合があります。IS11PTで初期化してください。初期化する方法については、「microSD内データを消去」(▶P.194)をご参照ください。

取扱上のご注意

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中、データを移動／コピーしているときに、microSDメモリカードを外したり、電池パックを取り外したり、IS11PT本体や機器の電源を切らないでください。IS11PT本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- IS11PT本体にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- IS11PT本体のmicroSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 同梱のmicroSDメモリカード 2GB(試供品)は、携帯電話のみで使用することを推奨します。他の機器で使用したり、過電圧または高温多湿の環境に長時間放置すると、microSDメモリカードや他の機器の破損や故障の原因となることがあります。

- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

<microSD／microSDHCメモリカード>
※4GB以上は、microSDHCメモリカードの対応状況です。

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	○	○	○	○	―
Panasonic	○	○	○	―	―
SanDisk	○	○	○	○	―
アドテック	―	―	―	―	―
バッファロー	○	○	―	―	―
ソニー	○	―	―	―	―

○：動作確認済み　―：未確認または未発売　2011年7月現在
※IS11PTでは、2011年7月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

microSDメモリカードをセットする

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

（▶P.238「電池パックを交換する」）

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 電池パックを取り付け、電池パックのカバーを閉じる

◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 本体の電源を切り、電池パックを取り外す

（▶P.238「電池パックを交換する」）

2 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。microSDメモリカードによっては、ロック解除できずに出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

4 電池パックを取り付け、電池パックのカバーを閉じる

memo

◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・内部データ消失の原因となります。

◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

基本操作

タッチパネル

タッチパネルの使いかた

IS11PTは、タッチパネルを搭載しています。ディスプレイに表示される項目やキーなどを直接指でタッチして操作できます。

■ タップ／ダブルタップ

メニューや項目に軽く触れて、すぐに指を離します。
2回連続で同じ位置をタップすることをダブルタップと呼びます。

■ ロングタッチ

メニューや項目に指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ ピンチアウト／ピンチイン

2本の指で画面に触れたまま、指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）し、拡大／縮小します。

■ ドラッグ／ドロップ

移動したい項目に指を軽く触れたまま、希望する位置へ移動します。
ドラッグした後、指を離すことをドロップと呼びます。

機能利用中の操作

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップして選択します。

メニューを表示する

■オプションメニューについて

オプションメニューは、メニューを表示できる画面で(MENU)を押すと表示されるメニューです。

例：電話帳画面のオプションメニュー

■コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：電話帳画面のコンテキストメニュー

設定を切り替える

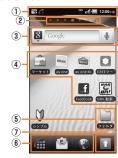
設定項目の横にラジオボタンが表示されているときは、ラジオボタンをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、「ON」「OFF」のスライドスイッチで設定の有効／無効を切り替えたり、チェックボックスで設定項目を選択できる場合もあります。
この他にも、アプリケーションによって設定の切り替えかたが異なる場合があります。

画面表示	説明
●(緑色)／●(灰色)	設定が有効／無効の状態です。
On／Off	設定が有効／無効の状態です。
◉(緑色)／●(黒色)	設定が選択済み／未選択の状態です。
☑／■	設定が選択済み／未選択の状態です。

ホーム画面とランチャーメニュー

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、IS11PTの状態や現在の設定を確認できます。

① **ステータスバー**
▶P.48「ステータスバーを利用する」
② **ロケーター**
▶P.51「ホーム画面を切り替える」
③ **ウィジェット**
▶P.52「ウィジェットを利用する」
④ **ショートカット**
▶P.52「ショートカットを利用する」
⑤ **フォルダ**
▶P.54「フォルダを利用する」
⑥ **クイックメニュー**
▶P.56「クイックメニューを利用する」
⑦ **メニューアイコン**
▶P.54「ランチャーメニューを表示する」

《ホーム画面》

ステータスバーを利用する

ステータスバーは、IS11PTの画面上部にあります。ステータスバーの左側には新着メールや不在着信を知らせる通知アイコンが表示されます。右側には電波の強さや電池残量など、IS11PTの状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着Eメールあり
	新着Cメールあり
	緊急地震速報あり
	新着PCメールあり
	新着Gmailあり
(緑色)	発信中／着信中／通話中
(青色)	Bluetooth®ヘッドセットを接続して発信中／着信中／通話中
	応答保留中
	利用可能なオープンネットワークあり
	カレンダーの予定通知あり
	アラーム鳴動中
	音楽再生中
	microSDメモリカード準備中
	microSDメモリカードマウント解除完了
	USB接続中
	USBデバッグ接続中
	データ·アプリケーションのダウンロード／インストール ダウンロード中／ダウンロード完了／インストール中 インストール完了 • ダウンロード中、インストール中のアイコンはアニメーション表示されます。

アイコン	概要
	データのアップロード中／アップロード完了 • アップロード中のアイコンはアニメーション表示されます。
	アプリケーションのアップデートあり
	IS11PTのソフトウェアアップデートあり
	本体メモリ容量不足
	エラー／警告通知あり
	まとめられた複数の通知あり（まとめられた通知の数が表示されます。）

■ステータスアイコンの例

アイコン	概要
12:00午後	時刻
	タイマー使用中
	アラーム設定あり
（） （） （） （） （） （） （）	電池レベル状態（充電中） （）十分／（）残量約80%／（）残量約60%／（）残量約40%／（）残量約20%／（）残量約10%／（）残量なし • 充電中のアイコンはアニメーション表示されます。（電池残量が15%未満の場合はアニメーション表示されません。）
	電波の強さ（受信電界）※ レベル4／レベル3／レベル2／レベル1／レベル0／圏外
	3Gデータ通信状態※ 送受信中／送信中／受信中／待機中
	CDMA 1Xデータ通信状態※ 送受信中／送信中／受信中／待機中
	Wi-Fiの電波の強さ※ レベル4／レベル3／レベル2／レベル1／レベル0

アイコン	概要
	ローミング中
	航空機モード設定中
	マナーモード状態 通常マナー（バイブレータON）／ サイレントマナー（バイブレータOFF）
	通話音声ミュート中
	Bluetooth®接続状態 接続中／待機中
	データ同期状態 同期中／同期失敗
	GPS機能利用中 • GPS測位中のアイコンはアニメーション表示されます。
あ カ ｶﾅ A AB 1 12	入力モード あ ひらがな漢字入力／カ 全角カタカナ入力／ ｶﾅ 半角カタカナ入力／A 全角英字入力／ AB 半角英字入力／1 全角数字入力／ 12 半角数字入力／音声入力

※Googleアカウントでログインしている場合は、緑色または青色で表示されます。

基本操作

通知／ステータスパネルを利用する

通知／ステータスパネルでは、通知アイコンやステータスアイコンの詳細を確認したり、アイコンに対応するアプリケーションを起動できます。
また、Google音声検索や音声コマンドを利用したり、かんたん設定アイコンをタップしてマナーモードやWi-FiのON／OFFなどを簡単に切り替えることができます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知／ステータスパネルが表示されます。

《通知／ステータスパネル画面》

① **通知を消去**
タップすると通知がすべて消去されます。

② **かんたん設定**
アイコンをタップして各機能のON／OFFを切り替えます。
左右にフリックすると隠れているアイコンを表示できます。
（）：マナーモード（サイレントマナーモード）をON／OFFします。
：Wi-FiをON／OFFします。
：3Gデータ通信をON／OFFします。
：GPS機能をON／OFFします。
：シンプルモードに切り替えます。
：Bluetooth®機能をON／OFFします。
：画面の自動回転ロックをON／OFFします。
：自動同期をON／OFFします。

③ **音声検索**
▶P.57「Google音声検索を利用する」

④ **音声コマンド**
▶P.173「音声コマンドを利用する」

⑤ **通知エリア**
通知内容を確認できます。通知の内容によっては、タップすると対応するアプリケーションを起動できます。

⑥ **閉じるタブ**
上にドラッグすると通知／ステータスパネルを閉じます。

ホーム画面でできること

1 ホーム画面で MENU

2

追加	ショートカット	▶P.52「ショートカットを追加する」
	ウィジェット	▶P.52「ウィジェットを追加する」
	フォルダ	▶P.54「フォルダを追加する」
	壁紙	▶下記「壁紙」の項目をご参照ください。
アプリの管理	アプリケーション設定を表示します。 ▶P.191「アプリケーションの設定をする」	
壁紙	設定...	ライブ壁紙の詳細を設定します。
	ギャラリー	microSDメモリカード内のデータを選択して設定します。
	ライブ壁紙	IS11PTにあらかじめ登録されているライブ壁紙から選択して設定します。
	壁紙	IS11PTにあらかじめ登録されている壁紙から選択して設定します。
通知	通知／ステータスパネルを表示します。 ▶P.50「通知／ステータスパネルを利用する」	
設定	設定メニュー画面を表示します。 ▶P.182「設定メニューを表示する」	

memo

◎ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチしても「追加」のオプションメニューが利用できます。
◎「壁紙」の「設定...」は、詳細設定が可能なライブ壁紙を設定している場合のみ表示されます。
◎ライブ壁紙を設定中は、電池の消耗が激しくなります。

ホーム画面を切り替える

ホーム画面を左右にスライド／フリックすることで、ホーム画面を切り替えることができます。
ホーム画面は7つあり、各ホーム画面にショートカットやウィジェット、フォルダを追加して利用できます。
画面上部のロケーターで現在の表示位置を確認できます。

《ホーム画面の切り替えイメージ》

■ブラインドホームを利用する

ブラインドホーム機能を利用するとホーム画面のアイコンをすべて消すことができます。壁紙に設定した写真を見たいときなどに便利です。

1 ホーム画面をピンチアウト

ホーム画面のアイコンがすべて消えます。
アイコンの表示を元に戻すときは、ホーム画面をピンチインします。

■ホームプレビュー画面を利用する

1 ホーム画面でロケーターをタップ

ホームプレビュー画面が表示されます。
3D表示中のホーム画面を上下左右にフリックして回転したり、傾けたりできます。

2 3D表示中のホーム画面をタップ

タップしたホーム画面が表示されます。

《ホームプレビュー画面》

ホーム画面のアイコンを移動する

ホーム画面に登録されているショートカットやウィジェット、フォルダのアイコンをロングタッチすることで、アイコンの移動ができます。

1 ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ

バイブレータが振動して移動できる状態になったことをお知らせします。

2 移動する位置までドラッグして、ドロップする

memo

◎アイコンをホーム画面の左端または右端までドラッグすると、両側のホーム画面へ移動できます。

ショートカットを利用する

ホーム画面にアプリケーション、Gmailのラベル、ブックマーク、連絡先などのショートカットを追加できます。

■ショートカットを追加する

■オプションメニューからショートカットを追加する場合

1 ホーム画面で(MENU)→[追加]→[ショートカット]

2 項目を選択

項目によっては、詳細項目を選択する画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

■ランチャーメニューからショートカットを追加する場合

1 ホーム画面で[ ]

ランチャーメニューが表示されます。

2 ランチャーメニューのアイコンをロングタッチ

バイブレータが振動してホーム画面にショートカットが表示されます。

3 配置する位置までドラッグして、ドロップする

■ショートカットを削除する

1 ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ

バイブレータが振動して移動できる状態になったことをお知らせします。

2 画面下部の までドラッグして、ドロップする

ウィジェットを利用する

ウィジェットとは、ホーム画面上で実行できる簡易アプリケーションです。

■ウィジェットを追加する

1 ホーム画面で(MENU)→[追加]→[ウィジェット]

■Androidウィジェットを追加する場合

2 [Androidウィジェット]

3 ウィジェットを選択

IS11PTのお買い上げ時は、以下のAndroidウィジェットが利用できます。

ウィジェット	概要	ページ
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi接続ツールを利用できます。	P.203
Facebook	Facebookの更新内容が確認できます。	P.157
jibe	TwitterやFacebookなど複数のSNSのメッセージ、ブログなどをまとめて閲覧したり、一度に投稿したりできます。	P.157
Latitude	Latitudeに参加して現在地情報を共有できます。	P.146
Skype	Skype™を利用した通話や、インスタントメッセージでチャットを行うことができます。	P.158
YouTube	YouTubeの動画を簡単に再生できます。	P.157
アナログ時計	アナログ時計を表示できます。時計をタップするとアラームが設定できます。	P.154
カレンダー	カレンダーに登録している予定を確認できます。	P.150
ニュースと天気	最新のニュースと天気を確認できます。	P.152
プレイス	現在地周辺のお店や施設に関する情報を確認できます。	P.148
ホーム画面のヒント	ホーム画面の使いかたのヒントを確認できます。	—
マーケット	Androidマーケットを利用できます。	P.154
検索	ウェブ、アプリケーション、電話帳または、これらすべてのクイック検索ボックスが利用できます。	P.56

写真フレーム	トリミングした写真をフレームに入れて表示します。	—
渋滞状況	設定した目的地までの到着予測時間と渋滞状況(データ提供エリアのみ)が確認できます。	—
電源管理	アイコンをタップすると、Wi-Fi、Bluetooth®、GPS機能、自動同期のON／OFFを切り替えたり、画面の明るさを調整できます。	—

memo

◎電源管理ウィジェットを利用すると、Wi-Fi、Bluetooth®、GPS機能、自動同期のON／OFFを切り替えたり、画面の明るさを調整することができます。利用していない機能をこまめにOFFにしたり、画面の明るさを暗めに調整することで電池の消費を抑えることができます。

■ Pantechウィジェットを追加する場合

2 [Pantechウィジェット]

3 ウィジェットを選択

ウィジェットによっては、スタイルや詳細項目を選択する画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

IS11PTのお買い上げ時は、以下のPantechウィジェットが利用できます。

ウィジェット	概要	ページ
PCメール	PCメールアカウントの受信トレイを表示できます。	P.106
RSSリーダー	RSSリーダーを利用できます。	P.171
ウェブスペース	ウェブページの一部をホーム画面でリアルタイムに表示できます。	—
カレンダー	カレンダーに登録している予定を確認できます。	P.150
ソーシャルネット	TwitterやMySpace、Facebookのメッセージ、ブログなどをまとめて閲覧したり、一度に投稿したりできます。	—
ピクチャービューアー	microSDメモリカードに保存されている写真を閲覧できます。写真を壁紙に設定したり、Bluetooth®やメール添付などで送信したり、Facebookやjibe、Picasaなどにアップロードできます。	—
ブックマーク	ブラウザのブックマークを表示します。	P.121
ミュージック	音楽を再生できます。	P.138
メモ	便利メモのメモをホーム画面に表示します。	P.165
最近ドキュメント	ドキュメントビューアーで最近表示した文書が表示できます。	P.170
時計	世界各地の時刻を表示します。	P.167
天気	世界各地の天気情報を表示します。	P.159
電話帳	電話帳から連絡先を選択して表示できます。	P.82
統合時計	カレンダーに登録している予定と世界各地の時刻、天気情報を確認できます。	—

■ウィジェットを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ

バイブレータが振動して移動できる状態になったことをお知らせします。

2 画面下部の🗑までドラッグして、ドロップする

フォルダを利用する

■フォルダを追加する

1 ホーム画面で MENU →［追加］→［フォルダ］

2

新しいフォルダ	ショートカットを格納できるフォルダを追加します。
受信したBluetooth	Bluetooth®機能を利用して受信したデータが格納されるフォルダを追加します。
重要な電話帳	「お気に入り」（▶P.82）に登録されている連絡先を表示するフォルダを追加します。
全電話帳	電話帳に登録されている連絡先をすべて表示するフォルダを追加します。
電話番号が登録された電話帳	電話帳内の電話番号が登録されている連絡先を表示するフォルダを追加します。

■フォルダにショートカットを格納する

1 ホーム画面で格納するショートカットをロングタッチ

バイブレータが振動して移動できる状態になったことをお知らせします。

2 格納先のフォルダにドラッグして、ドロップする

memo

◎「新しいフォルダ」で作成したフォルダのみショートカットを格納できます。
◎フォルダの中にフォルダは格納できません。

■フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 フォルダ上部のフォルダ名をロングタッチ

3 フォルダ名を入力→［OK］

■フォルダを削除する

1 ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ

バイブレータが振動して移動できる状態になったことをお知らせします。

2 画面下部の🗑までドラッグして、ドロップする

ランチャーメニューを利用する

ランチャーメニューでは、インストールされているアプリケーションがアイコンで表示されます。アイコンをタップして、アプリケーションを起動できます。

ランチャーメニューを表示する

1 ホーム画面で［⬆］

ランチャーメニューが表示されます。
ランチャーメニューは最大20画面まで表示できます。ランチャーメニュー画面を左右にスライド／フリックすることで、ランチャーメニュー画面を切り替えることができます。
左端のランチャーメニュー画面で右にフリックすると右端のランチャーメニュー画面に移動できます。右端のランチャーメニュー画面で左にフリックすると左端のランチャーメニュー画面に移動できます。
画面上部のロケーターで現在の表示位置を確認できます。ロケーターの丸をタップして目的ランチャーメニュー画面に移動することもできます。

《ランチャーメニュー画面》

アイコン	アプリケーション	ページ
⏰	アラーム／時計	P.153
🌐	ウェブ	P.119
📷	カメラ	P.128
31	カレンダー	P.150

	ギャラリー	P.133
	コンパス	P.168
	ダウンロード	P.120
	トーク	P.147
	ドキュメントビューアー	P.170
	ナビ	P.149
	ニュースと天気	P.152
	ビデオプレーヤー	P.136
	プレイス	P.148
	プロフィール	P.78
	マーケット	P.154
	マップ	P.146
	ミュージック	P.138
	音声コマンド	P.173
	音声メモ	P.162
	音声検索	P.57
	検索	P.56
	時計ツール	P.167
	手書きメモ	P.163
	赤外線	P.211
	設定	P.182
	単位換算	P.173
	通話履歴	P.76
	天気	P.159
	電卓	P.170
	電話	P.72
	電話帳	P.80
	動画撮影	P.128
	便利メモ	P.165
	GREE※	—
	LISMO Book Store※	—
	Run&Walk※	—
	ウェザーニュースタッチ※	—
	かんたんメニュー※	—
	ショッピング※	—
	ナビウォーク※	—
	ニュースEX※	—
	健康記録※	—
	au one	P.119
	au one Market	P.156
	au Wi-Fi接続ツール	P.203
	Cメール	P.99
	Eメール	P.88
	Facebook	P.157
	Gmail	P.114
	GREEマーケット	P.156
	jibeアドレス帳	P.157
	Latitude	P.146
	NHK動画on!	P.160
	PCメール	P.106
	RSSリーダー	P.171
	Skype	P.158
	YouTube	P.157

※au one Marketから簡単にダウンロードできるショートカットアプリです。利用するにはダウンロードが必要です。

memo

◎各アプリケーションを利用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
　また、IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ発生）と別途通信料がかかります。

◎アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

ランチャーメニューでできること

1 ランチャーメニューで MENU

2

リスト表示	リスト表示に切り替えます。	
グリッド（名前順）	名前順のグリッド表示に切り替えます。	
グリッド（ユーザ指定順）	お客様が並べ替えた順番のグリッド表示に切り替えます。	
グリッド（日付順）	アプリケーションをインストールした順番のグリッド表示に切り替えます。	
ソート	グリッド（名前順）	名前順のグリッド表示に切り替えます。
	グリッド（ユーザ指定順）	お客様が並べ替えた順番のグリッド表示に切り替えます。
	グリッド（日付順）	アプリケーションをインストールした順番のグリッド表示に切り替えます。
壁紙	ランチャーメニューの壁紙を変更できます。	
並び替え	アイコンの並び替えができます。アイコンをロングタッチした後、移動する位置までドラッグ&ドロップしてください。BACK を押すと並び替えを完了します。	
アンインストール	アプリケーションをアンインストールします。アンインストールするアプリケーションのアイコン右上の[⊖]→[OK]と操作してください。	

※ランチャーメニュー画面の状態により表示される項目は異なります。

◎お買い上げ時からインストールされているアプリケーションなど、アプリケーションによってはアンインストールができない場合があります。

クイックメニューを利用する

ランチャーメニューとホーム画面の下部には、よく使うアプリケーションが、あらかじめクイックメニューとして登録されています。

1 ランチャーメニュー／ホーム画面でクイックメニューのアイコンをタップ

各アプリケーションが起動します。

クイック検索ボックスを利用する

IS11PT内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面で MENU（0.5秒以上長押し）

クイック検索ボックス画面が表示されます。

ホーム画面で[⬆]→[検索]でも同様に操作できます。

検索画面で「8」をタップすると検索対象一覧画面が表示され、検索対象を選択できます。

検索対象一覧画面で、「⚙」をタップすると、検索対象一覧画面に表示させる検索対象を設定できます。

《クイック検索ボックス画面》

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／クイック検索ボックスの[➔]

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

◎一覧表示された項目の「」をタップすると、選択した項目をキーワードにして再検索します。
◎一覧には、最近選択した検索候補が表示されます。検索候補を消去する方法は、「検索を設定する」(▶P.57)をご参照ください。
◎ランチャーメニュー画面で MENU を0.5秒以上長押しすると、IS11PTにインストールされているアプリケーションを検索できます。
◎アプリケーションを利用中に MENU を0.5秒以上長押しした場合、アプリケーション独自の検索機能が利用できる場合があります。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 クイック検索ボックス画面で[ ]

Google音声検索画面が表示されます。
ホーム画面で[ ]→[音声検索]でも同様に操作できます。

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

検索を設定する

検索方法の設定や検索履歴の管理を行います。

1 クイック検索ボックス画面で MENU →[検索設定]

2

Google検索の設定	入力候補の表示	入力時にGoogleの検索候補を表示するかどうかを設定します。
	Googleと共有する	位置情報をGoogleサービスなどで使用するかどうかを設定します。
	検索履歴	Googleアカウントでカスタマイズされた検索履歴を表示するかどうかを設定します。
	検索履歴の管理	Googleアカウントでカスタマイズされた検索履歴の管理を行います。
検索対象	クイック検索ボックスで検索する対象を設定します。	
ショートカットを消去	クイック検索ボックスで最近選択した検索候補へのショートカットを消去します。	

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

IS11PTの向きや動きを検知するセンサーにより、IS11PTの向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えます。

memo

◎IS11PTを垂直に立てた状態で操作してください。IS11PTを水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
◎縦横表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」(▶P.186)で設定できます。
◎アプリケーションや画面によっては、縦横表示の切り替えができない場合があります。

操作するアプリケーションを切り替える

1 HOME **(0.5秒以上長押し)**

起動中アプリケーション一覧画面が表示されます。
起動中アプリケーション一覧画面には、起動中のアプリケーションのサムネイルが表示されます。

2 **利用するアプリケーションを選択**

選択したアプリケーションに切り替わります。

《起動中アプリケーション一覧画面》

memo

◎起動中アプリケーション一覧画面には、最近実行したアプリケーションが最大12個まで表示されます。
◎本体のアプリケーション実行用メモリ使用量を効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
◎本体のアプリケーション実行用メモリが不足しているときなど、起動中アプリケーション一覧画面にサムネイルが表示されない場合があります。

起動中のアプリケーションを終了する

1 **起動中アプリケーション一覧画面で終了するアプリケーションの右上の[** **]**

memo

◎使用していないアプリケーションを終了することでメモリの使用量や電池の消費を抑えることができます。
◎起動中アプリケーション一覧画面で[全件終了]と操作すると、起動中のすべてのアプリケーションを終了できます。

ロックを解除する

「画面ロックの設定」(▶P.189)を有効にしている場合に画面ロックを解除するときや、IS11PTを初期化するときなど重要な操作を行うときは、パターン/PIN/パスワードの入力を求められます。

■パターンを入力する

1 パターンの入力が必要な操作をする

パターン入力画面が表示されます。

2 パターンを入力

間違ったパターンを入力した場合には、エラーメッセージが表示されます。正しいパターンを再入力してください。

■PINを入力する

1 PINの入力が必要な操作をする

PIN入力画面が表示されます。

2 PINを入力→[OK]

間違ったPINを入力した場合には、エラーメッセージが表示されます。正しいPINを再入力してください。

■パスワードを入力する

1 パスワードの入力が必要な操作をする

パスワード入力画面が表示されます。

2 パスワードを入力→[OK]

間違ったパスワードを入力した場合には、エラーメッセージが表示されます。正しパスワードを再入力してください。

memo

◎パターン/PIN/パスワードロック中でも、パターン/PIN/パスワード入力画面で[緊急通報]をタップすると、110(警察)、118(海上保安本部)、119(消防機関)へ電話をかけることができます。

◎パターン/PIN/パスワードの入力を5回連続して間違えると、メッセージが表示されて30秒間入力できない状態になります。「OK」をタップして、入力可能になったら再入力してください。

◎パターン解除を5回連続して間違えた場合、「パターンを忘れた場合」をタップすると、IS11PTに登録されているGoogleアカウントとパスワードを入力することで、パターンを再設定できます。

データを複数選択する

データを移動/保存/削除などする際に、チェックボックスが表示され複数のデータを選択できる場合があります。

選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。

チェックボックスにチェックが入ったデータをタップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

アプリケーションによっては、複数選択の方法が異なる場合があります。

memo

◎データを選択する画面で(MENU)→[全件選択]/[全件解除]と操作して、データを全件選択/データの選択を全件解除できる場合があります。

文字入力

文字入力の方法

IS11PTでは、文字入力欄をタップすると、画面上にキーボード(ソフトウェアキーボード)が表示され、画面のキーをタップして文字を入力します。

IS11PTには、「Androidキーボード」「DioPen 韓／中／葡 IME」「iWnn IME」「LaLa Stroke」が用意されています。

ここでは、「iWnn IME」の操作方法を説明します。

「LaLa Stroke」を利用した手書き入力の方法については、「手書き入力を利用する」(▶P.65)をご参照ください。

入力方法の切替については、「入力ソフトを切り替える」(▶P.66)をご参照ください。

《文字入力画面(テンキー)》

《文字入力画面(フルキー)》

① **入力モードアイコン**

あ：ひらがな漢字入力
カ：全角カタカナ入力
ｶﾅ：半角カタカナ入力
A：全角英字入力
AB：半角英字入力
1：全角数字入力
12：半角数字入力
🎤：音声入力

② **文字入力エリア**

③ **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト／つながり予測候補リスト**

文字を入力して「変換」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を有効にしている場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定されるとつながり予測候補リストが表示されます。

「⊕」をタップすると変換候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには「⊖」をタップします。

④ **バックキー／Undoキー**

⮌：キーに割り当てられている1つ前の文字を表示します。(バック機能)

Undo：文字入力確定後にタップすると未確定の状態に戻すことができます。

⑤ **ソフトウェアキーボード**

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑥ **カーソルキー**

カーソルを左／右に移動したり、変換時の文字の区切りを変更したりします。ワイルドカード予測(▶P.65)の文字数を追加／削除するときにも使用します。

⑦ **絵文字・記号・顔文字キー／英数・カナキー**

記号：絵文字・記号・顔文字一覧を表示します。

英数カナ：入力した文字の変換候補を英数・カナに切り替えます。

⑧ **入力モード切替キー**
入力モードを切り替えます。
入力モードを切り替えると、表示が次のように変更されます。
文字: ひらがな漢字入力
文字: 全角カタカナ入力
文字: 半角カタカナ入力
文字: 全角英字入力
文字: 半角英字入力
文字: 全角数字入力
文字: 半角数字入力
文字: 音声入力

⑨ **DELキー**
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。ロングタッチすると連続削除ができます。

⑩ **手書きキー／変換キー**
: 手書き入力に切り替えます。
▶P.65「手書き入力を利用する」
変換: 通常変換候補リストを表示します。

⑪ **確定キー／改行キー**
確定: 入力中の文字を確定します。
: カーソルの位置で改行します。

⑫ **大文字／小文字切替キー**
大⇔小: ひらがな／カタカナの入力時に大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付けます。
A⇔a: 英字入力時に大文字／小文字を切り替えます。

⑬ **シフトキー**
: 小文字入力
: 大文字入力
: 大文字入力ロック

memo

◎アプリケーションや画面により表示されるアイコンや使用できる機能が異なる場合があります。

入力する文字種を切り替える

1 文字入力画面で入力モード切替キーをロングタッチ→[入力モード切替]

2 文字種を選択

memo

◎入力モード切替キーをタップするたびに、「ひらがな漢字入力」→「半角英字入力」→「半角数字入力」→「音声入力」の順で入力する文字種を切り替えることができます。
◎アプリケーションや画面によっては、入力できない文字種があります。

ソフトウェアキーボードを切り替える

ソフトウェアキーボードには、「テンキー」と「フルキー」の2種類があります。

1 文字入力画面で入力モード切替キーをロングタッチ→[テンキー⇔フルキー]

ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字を入力する

■ひらがな／漢字／カタカナを入力する

入力モードを「ひらがな漢字入力」に切り替え、ソフトウェアキーボードが「テンキー」のときは、割り当てられたキーをタップして入力します。「フルキー」のときは、ローマ字入力で入力します。

■英字を入力する

入力モードを「全角英字入力」または「半角英字入力」に切り替え、ソフトウェアキーボードが「テンキー」のときは、割り当てられたキーをタップして入力します。「フルキー」のときは、各キーをそのまま入力します。

■数字を入力する

入力モードを「全角数字入力」または「半角数字入力」に切り替え、ソフトウェアキーボードが「テンキー」のときも「フルキー」のときも各キーをそのまま入力します。「フルキー」のときにシフトキーをタップすると、入力できる記号を切り替えることができます。

■フリック入力を利用する

ソフトウェアキーボードが「テンキー」のとき、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。

キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補（フリックガイド）が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にキーをフリックすると文字が入力できます。

例：「あ」を入力するときは、「あ」をタップします。「お」を入力するときは、「あ」を下にフリックします。

フリックガイド

文字を修正する

■バック機能について

ソフトウェアキーボードが「テンキー」のとき、「↩」をタップすると、文字入力時にキーをタップしすぎて入力したい文字を行きすぎた場合でも、前の文字に戻すことができます。

例：「き」を入力したかったのに「く」になってしまったとき、「↩」をタップすると、「き」に戻ります。

memo

◎フリック入力では、バック機能を利用できません。

■Undo機能について

ソフトウェアキーボードが「テンキー」のとき、文字入力確定後に「Undo」をタップすると、未確定の状態に戻すことができます。

予測変換機能を利用する

予測変換機能を利用すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力しただけで変換できます。

例：「か」と入力するだけで、「彼」などの予測変換の候補が予測変換候補リストに表示されます。候補をタップすると選択できます。

また、入力を確定すると、確定した文字に続くことが予測されるつながり予測候補も表示されます。

例：「私」と入力すると、つながり予測候補リストに「は」「の」「が」などが表示されます。候補をタップすると選択できます。

memo

◎入力モードが「ひらがな漢字入力」のとき「変換」タップすると通常変換候補リストに切り替えられます。

◎表示される予測変換の候補は、過去に変換・確定を行った状況により異なります。

◎「予測変換」（▶P.69）を無効に設定すると、予測変換の候補が表示されなくなります。

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、読みの文字数から変換候補を表示する機能です。

例：「東海道新幹線」と入力したい場合、「と」を入力 して「⊖」を9回タップすると、「と○○○○○○○○○」と表示され、予測変換候補リストに「東海道新幹線」が表示されます。

絵文字／記号／顔文字を入力する

絵文字／顔文字／記号一覧を表示して文字入力画面に入力します。

一覧の表示方法は文字入力画面に変換対象がない場合に「記号」をタップします。

一覧上部の「絵文字」「記号」「顔文字」タブをタップして絵文字／記号／顔文字一覧を切り替えます。

戻る：文字入力画面に戻ります。

▲／▼：前／次のページを表示します。

DEL：選択した文字やカーソルの左側の文字を削除します。

memo

◎絵文字はEメール、Cメール、便利メモのみで使用できます。

◎デコレーション絵文字は、Eメールのみで使用できます。入力方法については、「Eメールの本文を装飾する」（▶P.89）をご参照ください。

◎アプリケーションや画面によっては、入力できない絵文字／記号／顔文字があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

■文字を選択して切り取り／コピーする場合

1 文字入力エリアをロングタッチ→[語句を選択]

2 開始位置と終点位置を指定

選択部分がオレンジ色で表示されます。

3 文字入力エリアをロングタッチ→[切り取り]／[コピー]

4 貼り付ける位置にカーソルを移動

5 文字入力エリアをロングタッチ→[貼り付け]

■入力した文字をすべて切り取り／コピーする場合

1 文字入力画面で文字入力エリアをロングタッチ→[すべて選択]

2 文字入力エリアをロングタッチ→[切り取り]／[コピー]

3 貼り付ける位置にカーソルを移動

4 文字入力エリアをロングタッチ→[貼り付け]

音声入力を利用する

1 文字入力画面で入力モード切替キーをロングタッチ→[入力モード切替]→[音声入力]

2 [音声入力開始]

音声入力が起動します。

3 送話口（マイク）に向かって入力したいキーワードを話す

処理が完了すると文字が入力されます。

手書き入力を利用する

「LaLa Stroke」というソフトウェアキーボードを利用して手書き入力ができます。

1 文字入力画面で[ ]

手書き入力画面が表示されます。

① **カーソルキー**
カーソルを左／右に移動したり、変換時の文字の区切りを変更したりします。ワイルドカード予測(▶P.65)の文字数を追加／削除するときにも使用します。

② **キーボード切替キー**
iWnn IMEでの入力に切り替えます。

③ **入力モード切替キー**
入力モードを切り替えます。
入力モードを切り替えると、表示が次のように変更されます。
あ：ひらがな漢字入力
（漢字は直接入力できません。ひらがなで入力して漢字に変換してください。）
カ：カタカナ入力
#：記号入力
1：数字入力
A：英字入力

④ **変換／スペースキー**
通常変換候補リストを表示します。／スペースを入力します。

⑤ **DELキー**
選択した文字やカーソルの左側の文字を削除します。ロングタッチすると連続削除ができます。

⑥ **文字入力フィールド**

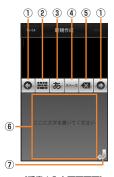
⑦ **確定キー／改行キー**
入力中の文字を確定します。／カーソルの位置で改行します。

《手書き入力画面画面》

2 **文字入力フィールドに入力したい文字を書く**

入力ソフトを切り替える

1 **文字入力画面で文字入力エリアをロングタッチ→[入力方法]**

2

Androidキーボード	主に英数字を入力する場合に使用する入力ソフトです。ポルトガル語の入力もできます。 • 日本語の入力はできません • 設定方法については、「Androidキーボードの設定をする」(▶P.67)をご参照ください。
DioPen 韓／中／葡 IME	英語／韓国語／中国語(簡体字･繁体字)／ポルトガル語を入力する場合に使用する入力ソフトです。 • 日本語の入力はできません。 • Ab／가／拼／POをタップして入力言語を切り替えてください。 • 中国語の簡体字／繁体字は、ホーム画面で[⬆]→[設定]→[言語とキーボード]→[DioPen 韓／中／葡 IME]→[入力言語の設定]→[中国語の詳細設定]→[中国語の言語設定]で設定してください。 • 設定方法については、「DioPen 韓／中／葡 IMEの設定をする」(▶P.68)をご参照ください。
iWnn IME	主にひらがな／漢字／カタカナを入力する場合に使用する入力ソフトです。 • 設定方法については、「iWnn IMEの設定をする」(▶P.69)をご参照ください。
LaLa Stroke	日本語／英語が入力できる手書き入力ソフトです。 • 設定方法については、「LaLa Strokeの設定をする」(▶P.70)をご参照ください。

memo

◎ iWnn IMEの文字入力画面で入力モード切替キーをロングタッチ→[入力方法]と操作しても入力ソフトを切り替えられます。

単語リストに単語を登録する

単語リストに登録する

1 ホーム画面で[⬆]→[設定]→[言語とキーボード]→[単語リスト]

ユーザー辞書画面が表示されます。

2 (MENU)→[追加]

3 単語などを入力→[OK]

memo

◎ 登録した単語などを編集／削除する場合は、単語リスト画面で登録した単語などを選択→[編集]／[削除]と操作します。

日本語ユーザー辞書／英語ユーザー辞書に登録する

よく使う単語などの読みと表記を登録しておくと、効率的な変換が可能になります。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。
日本語と英語をそれぞれ500件登録できます。

1 ホーム画面で[⬆]→[設定]→[言語とキーボード]→[iWnn IME]→[日本語ユーザー辞書]／[英語ユーザー辞書]

日本語／英語ユーザー辞書 単語一覧画面が表示されます。

2 (MENU)→[登録]

単語編集画面が表示されます。

3 読み／表記を入力→[保存]

memo

◎ 登録した単語などを編集／削除する場合は、日本語／英語ユーザー辞書 単語一覧画面で登録した単語などを選択→(MENU)→[編集]／[削除]と操作します。
◎ 日本語／英語ユーザー辞書 単語一覧画面で(MENU)→[ユーザー辞書全消去]→[OK]と操作すると、すべての単語を削除できます。

文字入力の設定をする

Androidキーボードの設定をする

Androidキーボードでのキー操作や入力候補表示機能などを設定できます。

1 ホーム画面で[⬆]→[設定]→[言語とキーボード]→[Androidキーボード]

Androidキーボードの設定画面が表示されます。

2

キー操作バイブ	キーをタップしたときにバイブレータで振動させるかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー押下時ポップアップ	キーをタップしたときにキーを拡大表示させるかどうかを設定します。
タップして語句を修正	入力した語句をタップすると語句を再修正できるようにするかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
設定キーを表示	キーボードに設定キーを表示するかどうかを設定します。

音声入力	音声入力を使用するかどうかを設定します。 • 文字入力画面で「」をタップすると音声入力が起動します。送話口(マイク)に向かってキーワードを話し、処理が完了すると文字が入力されます。
入力言語	スペースキーをスライドして変更する言語を設定します。
入力候補を表示	文字入力時に、入力候補を表示するかどうかを設定します。
オートコンプリート	入力候補欄に太字で表示されている入力候補をスペースまたは句読点の入力時に自動的に入力するかどうかを設定します。

memo

◎操作する画面によっては、音声入力を利用できない場合があります。

DioPen 韓／中／葡 IMEの設定をする

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[言語とキーボード]→[DioPen 韓／中／葡 IME]

DioPen 韓／中／葡 IMEの設定画面が表示されます。

キー操作バイブ	キーをタップしたときにバイブレータで振動させるかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
自動シンボル完成	記号の入力時に、「""」「( )」などペアになっている記号を自動で入力するように設定します。
テーマ設定	キーボードのデザインイメージを変更します。

入力言語の設定	キーボードから切り替え選択できる言語を設定します。(韓国語／中国語／ポルトガル語)		
	中国語の詳細設定	中国語の言語設定	簡体字／繁体字のどちらか、または両方使用から言語を選択します。
		ファジー使用	ピンインのファジー入力を有効にするかどうか設定します。
		ファジー設定	ピンインのファジー入力の詳細を設定します。
推薦単語の表示	文字入力時に、入力候補を表示するかどうかを設定します。		
詳細設定	自動スペース	入力候補から単語を選択したときに、単語の後ろに自動的にスペースを追加するかどうかを設定します。(英語のみ)	
	お気に入りの単語	よく使う単語を優先的に表示するように設定します。(英語のみ)	
	ユーザワード	ユーザワード(単語リスト)を登録します。	
	キャッシュの削除	入力時に一時的に保存された単語のキャッシュを削除します。	
	履歴削除	入力候補の選択履歴を削除します。	
韓国語キーボード	韓国語を入力する際のテンキー／フルキーを選択します。		
情報	DioPen 韓／中／葡 IMEのメーカー情報などが表示されます。		

iWnn IMEの設定をする

iWnn IMEでのキー操作や変換機能などを設定できます。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[言語とキーボード]→[iWnn IME]

iWnn IME設定画面が表示されます。

2

項目	説明
キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときにバイブレータで振動させるかどうかを設定します。
キーポップアップ	キーをタップしたときにタップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力時のフリックガイドを表示させるかどうかを設定します。
自動大文字変換	英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
キーボードタイプ	画面の向き、入力モードごとにキーボードのタイプを設定します。
キーボードイメージ	キーボードのデザインイメージを変更します。
音声入力	音声入力機能を利用するかどうかを設定します。
フリック入力	フリック入力機能を利用するかどうかを設定します。 ▶P.64「フリック入力を利用する」
フリック感度	フリック入力時のフリック感度を設定します。
トグル入力	フリック入力が有効のとき、キーを繰り返しタップして入力する文字を切り替えるかどうかを設定します。
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。
候補学習	変換で確定した語句を学習辞書に登録するかどうかを設定します。
予測変換	予測変換機能を利用するかどうかを設定します。 ▶P.64「予測変換機能を利用する」
入力ミス補正	入力間違いの修正候補を表示するかどうかを設定します。
ワイルドカード予測	ワイルドカード予測機能を利用するかどうか設定します。 ▶P.65「ワイルドカード予測を利用する」
候補表示行数	画面の向きごとに、予測変換候補などの変換候補リストを表示する行数を設定します。
マッシュルーム	マッシュルーム拡張機能を使用するかどうかを設定します。
日本語ユーザー辞書	ユーザー辞書に単語を登録します。 ▶P.67「日本語ユーザー辞書／英語ユーザー辞書に登録する」
英語ユーザー辞書	
学習辞書リセット	学習辞書の学習内容をリセットします。
ダウンロード辞書	サイトからダウンロードした辞書を通常変換や予測変換で使用できるように設定します。

memo

◎マッシュルーム拡張機能を使用する場合、あらかじめアプリケーションをインストールしておく必要があります。アプリケーションのインストール方法については、「Androidマーケットを利用する」(▶P.154)をご参照ください。

◎マッシュルームアプリを起動するには、文字入力画面で「 」をロングタッチ→[マッシュルーム]と操作し、アプリケーションを選択します。また、予測変換などの変換候補リストをロングタッチ→[Mashup]と操作し、アプリケーションを選択しても起動できます。

LaLa Strokeの設定をする

1 ホーム画面で[⬆]→[設定]→[言語とキーボード]→[LaLa Stroke]

LaLa Strokeの設定画面が表示されます。

2

筆跡の太さ	筆跡の太さを設定します。
ガイドメッセージ	文字入力フィールドを示すガイドメッセージを表示するかどうかを設定します。
アルファベットガイド線	アルファベット入力用のガイド線を表示するかどうかを設定します。
大文字小文字境界線	「つ」「っ」などを区別するための大文字小文字境界線を表示するかどうかを設定します。
確定ジェスチャー	確定／改行ジェスチャー操作を有効にするかどうかを設定します。 • 確定／改行ジェスチャー操作：文字入力フィールド中央から左下へフリックします。
スペースジェスチャー	スペース／変換ジェスチャー操作を有効にするかどうかを設定します。 • スペース／変換ジェスチャー操作：文字入力フィールド中央から右へフリックします。
削除ジェスチャー	削除ジェスチャー操作を有効にするかどうかを設定します。 • 削除ジェスチャー操作：文字入力フィールド右側または中央から左へフリックします。
カタカナを半角	カタカナを半角にするかどうかを設定します。
記号／数字／英字を半角	記号／数字／英字を半角にするかどうかを設定します。
候補学習	変換で学習した語句を学習辞書に登録するかどうかを設定します。
予測変換	予測変換候補を利用するかどうかを設定します。 ▶P.64「予測変換機能を利用する」
日本語ユーザー辞書	ユーザー辞書に単語を登録します。
英語ユーザー辞書	
学習辞書リセット	学習辞書の学習内容をリセットします。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で[ ]

電話番号入力画面が表示されます。

《電話番号入力画面》

① **「電話」タブ**
電話番号を入力して電話をかけます。

② **「通話履歴」タブ**
▶P.76

③ **「電話帳」タブ**
▶P.80

④ **「グループ」タブ**
▶P.81

⑤ **「お気に入り」タブ**
▶P.82

⑥ **電話番号入力欄**

⑦ **訂正キー**
入力した数字を1桁削除します。
ロングタッチすると、すべての数字を削除できます。

⑧ **連絡先表示欄**
4桁以上の電話番号を入力すると、電話帳に登録されている連絡先から自動的に候補を検索して表示します。複数候補がある場合は、▼をタップするとすべての検索結果を表示できます。

⑨ **ダイヤルキー**

⑩ **0/+キー**
ロングタッチすると、国際アクセスコードの「+」が追加されます。
（▶P.75「IS11PTから海外へかける（au国際電話サービス）」）

⑪ **＊/マナーキー**
電話番号を入力していない状態でロングタッチすると、マナーモードを設定/解除できます。

⑫ **連絡先追加キー**
電話番号を入力した後にタップすると、その番号を電話帳に新規登録/上書き登録できます。

⑬ **発信キー**
電話番号を入力した後にタップすると、その番号に発信します。
電話番号を入力していない状態でタップすると、通話履歴を表示できます。
電話番号を入力していない状態でロングタッチすると、最後にかけた電話にリダイヤル発信できます。

⑭ **特番キー**
（▶P.73「電話番号入力画面の特番キーを利用する」）

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [ ]→通話→[切断]

通話中に を押すと、受話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。
通話中は、通話中画面に通話時間の目安が表示されます。

memo

◎発信中/通話中に画面をおおうと、誤動作を防ぐためにディスプレイが消灯します。
◎「1401」を追加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
◎送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎通話中に「ダイヤル」をタップすると、ダイヤルキーが表示されます。タップした番号のプッシュ信号を送信できます。「非表示」をタップすると、ダイヤルキーを非表示にできます。

マイクをOFFにするには

◎通話中に「マイク」をタップすると、相手の方にこちらの声が聞こえないようになります。もう一度「マイク」をタップすると元に戻ります。

Bluetooth®ヘッドセットで通話するには

◎通話中に「Bluetooth」をタップすると、別売のBluetooth®ヘッドセットと接続し通話できます。もう一度「Bluetooth」をタップすると、別売のBluetooth®ヘッドセットとの接続を解除します。（ヘッドセットと接続状態のときのみ操作できます。）

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話･PHS･自動車電話との通話
- 001（au国際電話サービス：お申し込みは不要です）
- 171（災害用伝言ダイヤル）
- 177（天気予報：市外局番が必要です）
- 117（時報）
- 104（電話番号案内）
- 115（電報の発信）
- 110（警察への緊急通報）★
- 119（消防機関への緊急通報）★
- 118（海上保安本部への緊急通報）★
- 船舶電話

※★は緊急通報番号です。IS11PTは、警察･消防機関･海上保安本部への緊急通報の際、基地局の信号により、お客様の現在地が緊急通報先に通知されます。

※次のNTTサービスはご利用になれません。
コレクトコール、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、116（NTT営業案内）

■ 電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面で (MENU)

2

検索	連絡先を検索します。
Cメール	▶P.99「Cメールを送る」
Eメール	▶P.88「Eメールを送る」 ▶P.114「Gmailを送る」 ▶P.108「PCメールを送る」
着信拒否登録	指定番号拒否設定の一覧に登録します。 ▶P.184「着信拒否を設定する」

※使用できる項目は電話番号の入力の有無などにより異なります。

■ 電話番号入力画面の特番キーを利用する

1 電話番号入力画面で［★］

2

184付加	「184（発信者番号非通知）」を付加します。
184取消	「184（発信者番号非通知）」を取り消します。
186付加	「186（発信者番号通知）」を付加します。
186取消	「186（発信者番号通知）」を取り消します。
P付加	▶P.74「P（ポーズ）ダイヤルで電話をかける」
＋付加	「＋（国際アクセスコード）」を付加します。 ▶P.75「IS11PTから海外へかける（au国際電話サービス）」
＋取消	「＋（国際アクセスコード）」を取り消します。
国際電話	「＋（国際アクセスコード）」と各国の国際電話用の国番号を付加します。

memo

◎「184」と「186」は同時に付加できません。

◎「エリア設定」（▶P.230）を「日本」以外に設定している場合は、「184」「186」は付加できません。

■ 通話中のメニューを利用する

1 通話中に (MENU)

2

通話録音	▶P.162「通話中の音声を録音する」
電話帳参照	電話帳一覧画面を表示します。
通話履歴参照	通話履歴一覧画面を表示します。

P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に[はい]をタップするとプッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 電話番号入力画面で電話番号を入力→[★]→[P付加]

2 送信する プッシュ信号を入力

店番号	→	P(ポーズ)	→	口座番号
22X		[★]→[P付加]		123XX

※P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3 [ ]

電話番号「030001XXXX」に電話がかかり、最初のプッシュ番号(22X)を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

4 [はい]

最初のプッシュ信号(22X)が送信され、2番目のプッシュ信号(123XX)を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

5 [はい]

2番目のプッシュ信号(123XX)が送信されます。

memo

◎電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

電話を受ける

1 着信中に[ ]を右にスライド

2 通話→[切断]

■電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。
- 電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。連絡先に画像が設定されているときは、画像がディスプレイに表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、理由が表示されます。
  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
  ※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに が表示されます。通知/ステータスパネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話番号に登録されている名前などが表示されます。通知内容をタップすると通話履歴画面が表示されます。

着信時に着信音を消音にするには

◎着信中に または を押すと、着信音が消音になり、バイブレータが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳など他の機能をご利用中に着信した場合は、着信が優先されます。

◎動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画終了後の画面になります。

◎音声メモなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

電話

応答を保留する

1 着信中に MENU →[応答保留]

保留状態になり、相手の方に保留中であることを音声ガイダンスでお知らせします。

2 保留中に[通話]

保留が解除され、電話がつながります。

memo

◎保留中も、かけてきた相手の方には通話料がかかります。
◎保留中に「切断」をタップすると、保留されていた電話を終了します。
◎一度保留を解除すると、もう一度保留にはできません。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定しているときは、応答を保留できません。

着信を拒否する

1 着信中に[ ]を左にスライド

呼出音が止まって電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

memo

◎お留守番サービス(▶P.214)を開始しているか、着信転送サービスを「無応答転送」(▶P.220)を設定している場合は、着信拒否をしても、お留守番サービスまたは着信転送サービスが優先されます。

着信を転送する

かかってきた電話に出ずに、「手動で転送する(選択転送)」(▶P.220)で登録した転送先の電話番号へ転送します。

1 着信中に MENU →[着信転送]

memo

◎お留守番サービス(▶P.214)を開始していて、転送先が登録されていない場合はお留守番サービスに転送されます。
◎お留守番サービス(▶P.214)を停止していて、転送先が登録されていない場合は「着信転送」をタップしても転送できません。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定しているときは、選択転送はできません。

国際電話を利用する

memo

◎国際アクセス番号は国によって異なります。

IS11PTから海外へかける(au国際電話サービス)

IS11PTからは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例: au電話からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面でアクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[ ]

国際アクセスコード※1	➡	国番号(アメリカ)	➡	市外局番※2	➡	相手の方の電話番号
001010または010		1		212		123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください(イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

memo

◎ 電話番号入力画面で[★]→[国際電話]→国を選択と操作すると、「+」と国番号が入力され、発信時に「001010」と国番号が自動で付加されます。
◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)**157**番(通話料無料)
一般電話から**0077-7-111**(通話料無料)
受付時間 毎日9:00～20:00
◎ 海外へ電話を転送できます。(▶P.221「海外の電話へ転送する」)

着信履歴／発信履歴を利用して電話をかける

着信履歴／発信履歴を呼び出して利用できます。

1 ホーム画面で[ ]→[通話履歴]

通話履歴画面が表示されます。

① **ソート切替キー**
タップすると全履歴／着信履歴／発信履歴／不在着信履歴／Cメール履歴でソートして履歴を表示できます。

② **電話番号**
電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
発信番号が通知されなかった場合は、その理由が表示されます。
ネットワークサービスを利用した場合は、そのサービス内容が表示されます。

③ **発着信状態**
: 通常着信
: 不在着信
: 着信拒否
: 発信
: Cメール受信
: Cメール送信
: 同じ電話番号で連続して履歴がある場合にタップすると詳細を表示します。

④ **auお留守番センター:**
伝言お知らせ時

⑤ **発信アイコン**
電話番号に発信します。

⑥ **発着信日時**

《通話履歴(全履歴)画面》

2 電話をかける履歴をタップ

着信履歴／発信履歴詳細画面が表示されます。
Cメールの送受信履歴をタップした場合は、スレッド詳細画面が表示されます。

① **発着信日時**
② **連絡先に設定されている画像**
③ **通話時間**
④ **Eメール**
Eメール、Gmail、PCメールを作成します
▶P.88「Eメールを送る」、▶P.114「Gmailを送る」、▶P.108「PCメールを送る」

《着信履歴(詳細)画面》

⑤ **電話**
電話番号に発信します。
⑥ **Cメール**
Cメールを作成します。
▶P.99「Cメールを送る」
⑦ **電話番号**
電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
発信番号が通知されなかった場合は、その理由が表示されます。
ネットワークサービスを利用した場合は、そのサービス内容が表示されます。

3 ［電話］

memo

◎ 着信履歴（不在着信履歴含む）／発信履歴／Cメール履歴は、合計500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。
◎ 使用できる機能は、IS11PTの設定などにより異なります。

■ お留守番着信お知らせについて

「お留守番着信お知らせ」は、au電話の電源がOFFだったり、電波OFFモード中だったり、電波の届かない場所にいた際、お留守番サービスに着信があったことをお知らせするサービスです。
お留守番着信お知らせには、「お留守番サービス」（▶P.214）で伝言をお預かりしたことをお知らせする「伝言お知らせ」と、相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に相手の方の電話番号をお知らせする「着信お知らせ」があります。

memo

◎ 伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。
ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内（▶P.215）で伝言お知らせ（伝言蓄積通知）を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内（▶P.215）で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。

着信履歴／発信履歴のメニューを利用する

■ 全履歴／着信履歴／発信履歴／不在着信履歴／Cメール履歴一覧画面の場合

■ オプションメニューの場合

1 全履歴／着信履歴／発信履歴／不在着信履歴／Cメール履歴一覧画面で MENU

2

履歴を全件削除	すべての履歴を削除します。
着信履歴を全件削除	着信履歴をすべて削除します。
発信履歴を全件削除	発信履歴をすべて削除します。
不在着信履歴を全件削除	不在着信履歴をすべて削除します。
Cメール履歴を全件削除	Cメール履歴をすべて削除します。

※表示される項目は画面により異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 **全履歴／着信履歴／発信履歴／不在着信履歴／Cメール履歴一覧画面で履歴をロングタッチ**

2

通話：（電話番号）	電話番号に発信します。
Eメール送信	▶P.88「Eメールを送る」 ▶P.114「Gmailを送る」 ▶P.108「PCメールを送る」
Cメール送信	▶P.99「Cメールを送る」
通話履歴から削除	選択した履歴を削除します。
同一番号の履歴削除	同一番号からの履歴をすべて削除します。
連絡先表示	電話帳の連絡先を表示します。
連絡先編集	電話帳の連絡先編集画面を表示します。
電話帳に追加	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
着信拒否登録	指定番号拒否設定の一覧に登録します。 ▶P.184「着信拒否を設定する」
Cメールフィルターに登録	Cメール受信フィルターの指定番号一覧に登録します。 ▶P.106「受信フィルターを設定する」
通話の前に電話番号編集	電話番号を編集して発信します。

※表示される項目はIS11PTの設定、履歴の種類、連絡先への登録の有無などにより異なります。

■ 着信履歴／発信履歴詳細画面の場合

1 **着信履歴／発信履歴詳細画面で MENU**

2

連絡先表示	電話帳の連絡先を表示します。
電話帳に追加	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
削除	選択した履歴を削除します。
着信拒否登録	指定番号拒否設定の一覧に登録します。 ▶P.184「着信拒否を設定する」

IS11PTの電話番号を確認する

あらかじめ登録されている電話番号などの他に、名前やEメールアドレスなどの情報を追加登録して、Eメールへの添付などに利用できます。

1 **ホーム画面で［ ］→［設定］→［プロフィール］**

プロフィール画面が表示されます。

① **名前**
② **電話番号**
③ **Eメールアドレス**
④ **QRコード**
プロフィールの内容がQRコードで表示されます。
⑤ **編集**
名前、よみ、電話番号、Eメールアドレスを編集します。
⑥ **赤外線送信**
プロフィールを赤外線送信できます。

memo

◎ au ICカードが挿入されていない場合、またはau ICカード以外のカードが挿入されている場合にプロフィール確認操作を行うと、自局電話番号、マイアドレスは表示されません。au ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
◎ 自局電話番号、マイアドレスは編集できません。
◎ プロフィールを編集するときに「 」／「 」をタップすると電話番号欄、Eメールアドレス欄を追加／削除できます。

電話帳

電話帳に登録する

memo

◎電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎「アカウントと同期」(▶P.191)を利用して、サーバに保存されたGoogleアカウントの連絡先などとIS11PTの電話帳を同期できます。

1 ホーム画面で[ ]→[電話帳]

電話帳一覧画面が表示されます。

① **追加キー**
連絡先を追加します。

② **電話帳検索欄**
▶P.84「電話帳を検索する」

③ **訂正キー**
電話帳検索欄に入力した文字を1字削除します。
ロングタッチすると、すべての文字を削除できます。

④ **表示件数**
現在表示している連絡先の件数が表示されます。

⑤ **タブ**
あかさたな…、アルファベット、韓国語、名前なし/記号/数字、他のタブに連絡先がまとめて表示されます。

⑥ **画像**
連絡先に登録されている画像が表示されます。
画像を登録していない場合は、木のイラストが表示されます。使用回数に応じて木が成長します。

《電話帳一覧画面》

⑦ **名前**
連絡先の名前が表示されます。
名前が登録されていない場合は、組織→電話番号→メールアドレスの優先順位で、名前の代わりに表示されます。
名前、組織、電話番号、メールアドレスがすべて登録されていない場合は、「(名前)」と表示されます。

2 (MENU)→[新規連絡先]

連絡先作成画面が表示されます。
複数のアカウントを設定している場合、アカウントを選択する画面が表示されます。連絡先を登録するアカウントを選択してください。

3

項目		説明
(画像アイコン)		カメラを起動して撮影した画像を登録するか、ギャラリーから画像を選択して登録します。
名前		名前を登録します。 • 名前を入力すると「よみ」が自動的に入力されます。「よみ」を修正することもできます。
よみ		
電話番号		電話番号を登録します。
Eメール		メールアドレスを登録します。
メッセンジャー		GoogleトークやSkype™などのメッセンジャーIDを登録します。
グループ		グループを選択します。 • グループの追加方法については、「グループを追加する」(▶P.82)をご参照ください。
住所		住所を登録します。
組織		勤務先などの所属を入力します。
もっと見る	メモ	メモを登録します。
	Webサイト	ウェブサイトを登録します。
	記念日	記念日などを入力します。
	音	着信音を選択します。

4 [完了]

memo

◎電話帳一覧画面で「+」をタップしても連絡先作成画面を表示できます。
◎登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、連絡先の画像、着信音の設定は有効になりません。
◎「+」/「-」をタップすると、項目を追加/削除できます。
◎項目によってはラベル(種別)を変更できる場合があります。項目の左側に表示されているラベルをタップして選択してください。ラベル変更時に「カスタム」を選択すると、ラベルを作成して登録できます。

他の機能から電話帳に登録する

通話履歴やメールなど他の機能で表示した電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録できます。

1 他の機能で電話帳に登録する操作を行う

■新しい連絡先として登録する場合

2 [新規連絡先作成]

連絡先作成画面が表示されます。
▶P.80「電話帳に登録する」

■既存の連絡先に追加登録する場合

2 追加登録する連絡先をタップ

追加登録する電話番号やメールアドレスが入力された連絡先編集画面が表示されます。連絡先を編集する場合は、「連絡先を編集する」(▶P.81)をご参照ください。

3 [完了]

連絡先を編集する

登録した連絡先を修正します。

1 電話帳一覧画面で編集する連絡先をロングタッチ→[連絡先編集]

連絡先編集画面が表示されます。

2 項目を選択して編集

項目については、「電話帳に登録する」(▶P.80)をご参照ください。

3 [完了]

グループを利用する

連絡先をグループに分けて管理することができます。
「アカウントと同期」(▶P.191)でGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

memo

◎SNSなどのアカウントをIS11PTに設定し、「アカウントと同期」(▶P.191)で同期すると、設定したSNSなどにより連絡先グループが表示される場合があります。

グループの連絡先を確認する

1 電話帳一覧画面で[グループ]

グループ一覧画面が表示されます。
複数のアカウントやSNSのIDを設定している場合、アカウントを選択する画面が表示されます。グループを表示するアカウントを選択してください。

2 グループ名を選択

グループ内の連絡先一覧画面が表示されます。

グループを追加する

1 グループ一覧画面で MENU →[新規グループ]

2 グループ名を入力→[完了]

お気に入りを利用する

「お気に入り」を利用すると、よく連絡する相手だけを一覧で表示することができます。

1 電話帳一覧画面で[お気に入り]

お気に入り一覧画面が表示されます。
お気に入りに登録された連絡先とよく使う連絡先が表示されます。

memo

◎ 連絡先をお気に入りに追加するには、電話帳一覧画面/グループ内の連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチ→[お気に入りに追加]と操作してください。
◎ よく使う連絡先は、利用回数が多い順に最大25件まで表示されます。

電話帳の登録内容を利用する

電話帳の登録内容を利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 電話帳一覧画面/グループ内の連絡先一覧画面/お気に入り一覧画面で連絡先を選択

連絡先詳細画面が表示されます。

《連絡先詳細画面》

① **画像**
② **名前**
名前とよみが表示されます。
③ **お気に入り**
★(オレンジ色):お気に入り登録状態
★(灰色):お気に入り解除状態
タップするとお気に入りに登録/解除できます。
④ **登録内容**
スライドするとすべての登録内容を確認/利用できます。
⑤ **アクションアイコン**
連絡先に電話をかけたり、メールを作成したりできます。
: 電話をかけます。
特番を付加して電話をかけることもできます。
: Cメールを作成します。
: Eメール/PCメール/Gmailを送信します。
: チャットをします。
: Googleマップで地図を表示します。
※ 連絡先に登録されている項目、IS11PTの設定などにより表示されるアイコンは異なります。

電話帳

スピードダイヤルを利用する

スピードダイヤルNo.2〜99に登録した相手の方には、スピードダイヤルNo.の1桁または2桁の入力だけで電話をかけることができます。スピードダイヤルNo.1には、あらかじめ留守伝言再生「1417」が登録されています。スピードダイヤルNo.1は、変更／削除できません。

連絡先をスピードダイヤルに登録する

1 電話帳一覧画面／お気に入り一覧画面でMENU→[スピードダイヤル]

2 スピードダイヤルを登録したい番号を2〜99から選択

すでにスピードダイヤルが登録されている番号は、オレンジ色で表示されます。番号をタップすると登録されている電話番号が表示されます。

3 [追加]

電話帳一覧画面が表示されます。

4 登録する連絡先を選択

複数の電話番号が登録されている連絡先を選択した場合、電話番号を選択する画面が表示されます。登録する電話番号を選択してください。

memo

◎すでにスピードダイヤルが登録されている番号にも同じ操作で上書き登録ができます。

◎スピードダイヤルの登録を解除する場合は、電話帳一覧画面／お気に入り一覧画面でMENU→[スピードダイヤル]→スピードダイヤルを解除したい番号を選択→[削除]→[はい]と操作してください。

スピードダイヤルで電話をかける

1 ホーム画面で[ ]

電話番号入力画面が表示されます。

2 スピードダイヤルNo.(1〜99)を入力

3 [ ]

クイックコンタクトを利用する

クイックコンタクト機能を利用すると、連絡先の一覧画面の画像をタップして、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 電話帳一覧画面／グループ内の連絡先一覧画面／お気に入り一覧画面で連絡先の画像をタップ

クイックコンタクトアイコンが表示されます。

※クイックコンタクトアイコンの例

- ：電話をかけます。
- ：Cメールを作成します。
- ：Eメール／PCメール／Gmailを送信します。
- ：Googleトークでチャットをします。
- ：Googleマップで地図を表示します。
- ：ブラウザでウェブサイトを表示します。

2 クイックコンタクトアイコンをタップ

対応するアプリケーションが起動します。

複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合、対応するアプリケーションが複数ある場合は選択画面が表示されます。使用する電話番号やメールアドレス、アプリケーションを選択してください。

memo

◎表示されるクイックコンタクトアイコンは、インストールされているアプリケーションや連絡先に登録されている項目により異なります。
◎電話帳以外のアプリケーションでも、連絡先の画像をタップして、クイックコンタクト機能を利用できる場合があります。

電話帳を検索する

連絡先の名前または「よみ」やメールアドレス、組織名を元に検索ができます。

1 電話帳一覧画面の電話帳検索欄に検索する文字列を入力

検索された連絡先が表示されます。

電話帳のメニューを利用する

電話帳一覧画面/お気に入り一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 電話帳一覧画面/お気に入り一覧画面で MENU

2

新規連絡先	▶P.80「電話帳に登録する」	
アカウント	▶P.191「アカウントと同期の設定をする」	
インポート/エクスポート	SDカードからインポート	microSDメモリカードに保存されている連絡先を読み込みます。
	SDカードに保存	microSDメモリカードに連絡先を保存します。
	表示される連絡先共有	連絡先をBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。
表示オプション	電話番号のある連絡先のみ	電話番号が登録されていない連絡先を非表示にします。
	表示する連絡先選択	アカウントごとに、電話帳に表示するグループを選択します。
スピードダイヤル	▶P.83「スピードダイヤルを利用する」	
共有	連絡先を選択して、Bluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。	
削除	連絡先を選択して削除します。	
その他	共有	連絡先を選択して、Bluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。
	削除	連絡先を選択して削除します。

※表示される項目は画面と連絡先に登録されている項目、IS11PTの設定などにより異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 電話帳一覧画面/お気に入り一覧画面で連絡先をロングタッチ

2

連絡先表示	連絡先詳細画面を表示します。
連絡先へ発信	電話番号に発信します。
Cメール送信	▶P.99「Cメールを送る」
共有	選択した連絡先をBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。
お気に入りに追加	お気に入りに追加します。 ▶P.82「お気に入りを利用する」
お気に入りから削除	お気に入りから削除します。
よく使うリストから削除	よく使う連絡先から削除します。 ▶P.82「お気に入りを利用する」
スピードダイヤルに追加	スピードダイヤルに登録します。 ▶P.83「連絡先をスピードダイヤルに登録する」

連絡先編集	連絡先編集画面を表示します。
連絡先削除	選択した連絡先を削除します。
着信拒否登録	指定番号拒否設定の一覧に登録します。 ▶P.184「着信拒否を設定する」

※表示される項目は画面と連絡先に登録されている項目、IS11PTの設定などにより異なります。

グループ一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 グループ一覧画面で(MENU)

2

新規グループ	▶P.82「グループを追加する」
共有	選択したグループのすべての連絡先をBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。

※表示される項目は連絡先に登録されている項目、IS11PTの設定などにより異なります。

■コンテキストメニューの場合

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2

グループ名変更	グループ名を編集できます。
グループ名削除	グループ名を削除します。 • グループ内の連絡先は「グループなし」に移動されます。
グループ削除	選択しているグループを削除します。 • グループ内の連絡先もすべて削除されますのでご注意ください。

memo

◎Googleアカウントの「My電話帳」「友達」「家族」「職場」「Starred in Android」「グループなし」では、上記の操作はきません。

グループ内の連絡先一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 グループ内の連絡先一覧画面で(MENU)

2

グループ移動	連絡先を選択して別のグループへ移動します。
共有	連絡先を選択して、Bluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。
削除	グループ内の連絡先を選択して削除します。

※表示される項目は連絡先に登録されている項目、IS11PTの設定などにより異なります。

■コンテキストメニューの場合

1 グループ内の連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチ

2

連絡先表示	連絡先詳細画面を表示します。
連絡先へ発信	電話番号に発信します。
Cメール送信	▶P.99「Cメールを送る」
共有	選択した連絡先をBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。
お気に入りに追加	お気に入りに追加します。 ▶P.82「お気に入りを利用する」
お気に入りから削除	お気に入りから削除します。
スピードダイヤルに追加	スピードダイヤルに登録します。 ▶P.83「連絡先をスピードダイヤルに登録する」
連絡先編集	連絡先編集画面を表示します。
連絡先削除	選択した連絡先を削除します。
着信拒否登録	指定番号拒否設定の一覧に登録します。 ▶P.184「着信拒否を設定する」

※表示される項目は連絡先に登録されている項目、IS11PTの設定などにより異なります。

連絡先詳細画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 連絡先詳細画面で MENU

2

連絡先編集	連絡先編集画面を表示します。	
共有	選択した連絡先をBluetooth®やメール添付、赤外線などで送信します。	
オプション	音	着信音を選択します。
	着信設定	選択した連絡先からの着信をすぐに、お留守番サービスに転送するように設定します。
連絡先削除	連絡先を削除します。	

※ 表示される項目は連絡先に登録されている項目、IS11PTの設定などにより異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 連絡先詳細画面で各項目をロングタッチ

2

連絡先へ発信	電話番号に発信します。
Cメール送信	▶P.99「Cメールを送る」
基本電話番号に設定	複数の電話番号が登録されている場合、選択した電話番号を通常使用する電話番号に設定します。
Eメール送信	▶P.88「Eメールを送る」 ▶P.114「Gmailを送る」 ▶P.108「PCメールを送る」
基本Eメールに設定	複数のメールアドレスが登録されている場合、選択したメールアドレスを通常使用するメールアドレスに設定します。
地図上の住所	Googleマップで選択した住所の地図を表示します。

※ 表示される項目は選択した項目、連絡帳に登録されている項目、IS11PTの設定などにより異なります。

メール

Eメールを利用する

Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）は、Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章の他、写真や動画などのデータを送ることができます。

memo

◎Eメールのご利用には、IS NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
◎Eメールは海外でもご利用になれます。詳しくは、「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。
◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールの初期設定をする

お買い上げ後、初めてEメールを起動すると、初期設定画面が表示されます。
初期設定を行うと、自動的にEメールアドレスが決まります。初期設定時に決まったEメールアドレスは、変更することができます。（▶P.95「アドレスの変更やその他の設定をする」）
au電話からの機種変更の場合、初期設定を行うと、以前ご使用の機種で利用していたEメールアドレスがそのまま継続されます。

1 ホーム画面で［ ］

2 ［OK］

Eメールの初期設定が完了するとお客様のEメールアドレスが表示されます。

Eメールを送る

1 ホーム画面で［ ］

Eメール画面が表示されます。

2 ［新規作成］

Eメール作成画面が表示されます。

《Eメール作成画面》

① 宛先入力欄
② 件名入力欄
③ 本文入力欄
④ 添付可能なデータの件数、容量
⑤ フッターバー
送信：作成したEメールを送信します。
添付：▶P.89「Eメールにデータを添付する」
装飾：▶P.89「Eメールの本文を装飾する」

3 宛先入力欄を選択

4 宛先を選択／入力

電話帳	電話帳に登録されているメールアドレスから選択します。
受信履歴	受信履歴からメールアドレスを選択します。
送信履歴	送信履歴からメールアドレスを選択します。
プロフィール	プロフィールに登録されているメールアドレスから選択します。
直接入力	メールアドレスを直接入力します。

5 件名入力欄を選択→件名を入力

6 本文入力欄を選択→本文を入力

7 ［送信］

8 ［はい］

memo

◎Eメール作成画面で「装飾」をタップすると、文字サイズや文字の色などが変更できます。(▶P.89)
◎Eメールの作成途中で BACK →[OK]と操作すると作成中のメールが下書きとして送信ボックスに保存されます。
◎auの絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されて届きます。
※絵文字によっては変換されない場合があります。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどに送信した絵文字は、受信側で一部正しく表示されないことがあります。

宛先を追加・変更・削除する

宛先を追加/変更したり、入力済みの宛先を削除できます。宛先を追加するときに宛先の種類(To/Cc/Bcc)を指定できます。

■宛先を追加する場合

1 Eメール作成画面で[追加]

2 [To]/[Cc]/[Bcc]

3 宛先を選択/入力

以降の操作は、「Eメールを送る」(▶P.88)の操作4をご参照ください。

■宛先を変更する場合

1 変更する宛先を選択

2 宛先を編集

以降の操作は、「Eメールを送る」(▶P.88)の操作4をご参照ください。

■宛先を削除する場合

1 削除する宛先の右側の[削除]→[OK]

「削除」が表示されない場合は、宛先を選択して削除してください。

Eメールにデータを添付する

1 Eメール作成画面で[添付]

2

SDカードから選択	SDカードからデータを選択して添付します。
ギャラリーから選択	ギャラリーからデータを添付して選択します。
写真を撮影	カメラを起動し、写真を撮影して添付します。

memo

◎添付ファイルを添付済みのEメール作成画面で[表示]/[削除]と操作すると添付済みのデータを表示/削除できます。

Eメールの本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます。(デコレーションメール)

1 Eメール作成画面で[装飾]

デコレーションアイコンが表示されます。

2

(アイコン)	直前の操作を取り消します。
(アイコン)	(アイコン)で取り消した操作をやり直します。
(アイコン)	文字を点滅表示させます。
(アイコン)	デコレーション絵文字を挿入します。
(アイコン)	画像を挿入します。
(アイコン)	行と行の間にラインを挿入します。
(アイコン)	背景の色を選択します。
(アイコン)	文字の色を選択します。
Size 小/Size 中/Size 大	文字の大きさを変更します。
Align 左よせ/Align 中央/Align 右よせ	行揃えを設定します。
Scroll なし/Scroll 左→右/Scroll 右→左/Scroll 反復	スクロールを設定します。
(アイコン)	装飾を解除します。

memo

◎デコレーションアニメ、デコレーションメールテンプレートには対応していません。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信･表示される場合があります。
◎「サーバーメール転送」(▶P.93)では本文を装飾できません。

Eメールを受け取る

1 Eメールを受信すると

Eメールを受信するとステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下へスライド

通知／ステータスパネルが表示されます。

3 Eメールの情報を選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎複数の新着メールがあった場合、操作3の後、最新の受信Eメールが保存されているメールボックス画面が表示されます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.94)を無効に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 Eメール画面で[新着確認]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

memo

◎受信ボックス画面など他の画面でも、画面下部にある「新着確認」をタップして操作することができます。

Eメールを確認する

送信･受信したEメール、送信せずに保存したEメールなどは、各メールボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[ ]

Eメール画面が表示されます。

① フォルダ
② Eメール件数
「(未読または未送信Eメール件数)／(Eメール総件数)」と表示されます。
③ フッターバー
▶P.92「フッターバーの場合」

《Eメール画面》

2 フォルダを選択

メールボックス画面が表示されます。

《受信ボックス画面》

《送信ボックス画面》

① **宛先／差出人の名前またはメールアドレス**
メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
電話帳に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
※電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

② **件名**

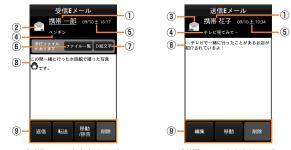
③ **受信日時／送信日時／下書き保存日時**

④ **受信メールの状態アイコン**
: 未読のEメール
: 既読のEメール
: 添付ファイルがある未読Eメール
: 添付ファイルがある既読Eメール
: 本文または添付ファイルを未受信の未読Eメール
: 本文または添付ファイルを未受信の既読Eメール
※返信したEメールは、アイコンの左下に(矢印)が表示されます。
※転送／本文転送したEメールは、アイコンの左下に (丸印)が表示されます。

⑤ **送信メールの状態アイコン**
: 送信済みのEメール
: 未送信のEメール
: 添付ファイルがある送信済みのEメール
: 添付ファイルがある未送信のEメール
: 送信に失敗したメール
: 添付ファイルがある送信に失敗したメール

⑥ **フッターバー**
▶P.92「フッターバーの場合」

3 Eメールを選択

メール内容表示画面が表示されます。

《受信メール内容表示画面》　《送信メール内容表示画面》

① **宛先／差出人の名前またはメールアドレス**
▶P.91

② **受信メールの状態アイコン**
▶P.91
※タップするとメッセージの詳細情報が表示されます。

③ **送信メールの状態アイコン**
▶P.91
※タップするとメッセージの詳細情報が表示されます。

④ **件名**

⑤ **受信日時／送信日時／下書き保存日時**

⑥ **ファイル一覧**
添付ファイルを開く／保存することができます。

⑦ **D絵文字**
本文中のデコレーション絵文字をmicroSDメモリカードに保存します。

⑧ **本文**

⑨ **フッターバー**
▶P.92「フッターバーの場合」

memo

◎メール内容表示画面では、ピンチイン／ピンチアウト、「 」／「 」をタップで画面を縮小／拡大できます。（「 」／「 」は画面をスライドすると表示されます。）

◎microSDメモリカードをIS11PTにセットしていないときは、添付ファイルを開く／保存することができません。

Eメール画面でできること

Eメール画面のメニューを利用する

■ フッターバーの場合

新規作成	▶P.88「Eメールを送る」
新着確認	▶P.90「新着メールを問い合わせて受信する」
設定	▶P.94「Eメールの設定をする」

振り分け登録する

振り分け用のフォルダを作成して、差出人や宛先、本文に含まれる文字列などの振り分け条件を登録できます。登録した条件に該当するEメールを受信した場合は、自動的に登録したフォルダに振り分けられます。複数の振り分け条件を登録することができます。

1 Eメール画面で[振り分けフォルダ]

振り分けフォルダ画面が表示されます。

2 [フォルダ]→[フォルダ追加]

3 フォルダ名を入力→[OK]

4 [はい]

振り分け条件の設定画面が表示されます。

5

全ての条件に一致	設定した振り分け条件のすべてに一致するEメールを振り分けます。
いずれかの条件一致	設定した振り分け条件の1つ以上と一致するEメールを振り分けます。

6 [追加]

7

差出人	差出人／宛先／Ccに指定した文字列が含まれるEメールを振り分けます。 • 直接入力か電話帳に登録されているメールアドレスから選択できます。
To	
Cc	
件名	Eメールの件名／本文に指定した文字列が含まれるEメールを振り分けます。
本文	

8 [保存]

memo

◎ 振り分け条件を設定する前に受信したEメールは、振り分け条件に一致していても自動的に振り分けられません。
◎ 振り分け条件を再設定する場合は、上記操作2で[フォルダ]→[振り分け条件設定]→フォルダを選択→振り分け条件を編集→[保存]と操作してください。
◎ 登録した振り分け条件を削除する場合は、振り分け条件の設定画面で[リセット]→[はい]と操作してください。
◎ 振り分けフォルダを削除する場合は、上記操作2で[フォルダ]→[フォルダ削除]→削除するフォルダの右側の[削除]→[はい]と操作してください。
◎ 振り分けフォルダの名前を変更する場合は、上記操作2で[フォルダ]→[フォルダ名編集]→フォルダ名を変更するフォルダの右側の[編集]→フォルダ名を編集→[OK]と操作してください。

メールボックス画面／振り分けフォルダ画面でできること

メールボックス画面／振り分けフォルダ画面のメニューを利用する

■ フッターバーの場合

新規作成	▶P.88「Eメールを送る」
新着確認	▶P.90「新着メールを問い合わせて受信する」
削除	フォルダ内のメールを選択して削除します。
フォルダ	▶P.92「振り分け登録する」
設定	▶P.94「Eメールの設定をする」

※ 表示される項目は画面により異なります。

メール内容表示画面でできること

メール内容表示画面のメニューを利用する

■ フッターバーの場合

返信	Eメールを返信します。	
転送	▶P.93「Eメールを転送する」	
送信	Eメールを送信します。	
再送信	Eメールを再送信します。	
編集	Eメールを編集します。	
移動／拒否	フォルダ移動	Eメールを別のフォルダに移動します。
	microSDへコピー	EメールをmicroSDメモリカードへコピーします。
	microSDへ移動	EメールをmicroSDメモリカードへ移動します。
	拒否リストに登録	差出人または宛先のメールアドレスを迷惑メールフィルター（▶P.97）の「指定拒否リスト設定」に登録します。
移動	フォルダ移動	Eメールを別のフォルダに移動します。
	microSDへコピー	EメールをmicroSDメモリカードへコピーします。
	microSDへ移動	EメールをmicroSDメモリカードへ移動します。
削除	Eメールを削除します。	

※表示される項目は画面により異なります。

memo

◎microSDメモリカードにコピー／移動したEメールは、microSDメモリカードの「¥com.aplixcorp.email¥messages」フォルダに保存されます。ファイル名は"MSG_YYYYMMDD_hhmmss.eml"です。

Eメールを転送する

1 受信メール内容表示画面で[転送]

2 [本文転送]／[サーバーメール転送]

選択しているEメールを転送するためのEメール作成画面が表示されます。
「本文転送」を選択した場合は、Eメール作成画面に転送するEメールの本文が引用されます。添付ファイルは転送されません。
「サーバーメール転送」を選択した場合は、サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。サーバに保存されている添付ファイルも転送します。Eメール作成画面には、転送するEメールの本文および添付ファイルは表示されません。

3 宛先、件名、本文などを入力／選択→[送信]

差出人や本文中の電話番号／メールアドレス／URLを利用する

■ 受信メールの差出人を利用する場合

1 受信メール内容表示画面で差出人をタップ

2

電話帳登録	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
拒否リスト登録	差出人のメールアドレスを迷惑メールフィルター（▶P.97）の「指定拒否リスト設定」に登録します。

※表示される項目は電話帳への登録の有無により異なります。

■ 本文中の電話番号を利用する場合

1 受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面で本文中の電話番号を選択

選択した電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

■ 本文中のメールアドレスを利用する場合

1 受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面で本文中のメールアドレスを選択

2 [Eメール]／[PCメール]／[Gmail]

選択したメールアドレスを宛先にしたEメール／PCメール／Gmail作成画面が表示されます。

■ 本文中のURLを利用する場合

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面で本文中のURLを選択**

ブラウザが起動し選択したURLに接続されます。

memo

◎表示される項目はIS11PTの設定などにより異なります。

Eメールの設定をする

Eメール設定をする

■ 受信に関する設定をする

1 **Eメール画面／メールボックス画面／振り分けフォルダ画面で[設定]→[Eメール設定]**

Eメール設定画面が表示されます。

2 **[受信・表示設定]**

受信・表示設定画面が表示されます。

3

メール自動受信	サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。		
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。	
	指定全受信	電話帳登録	電話帳に登録されているメールアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。 電話帳に登録されていないメールアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。
メール受信方法	指定全受信	電話帳グループ	電話帳のグループを選択し、選択したグループ内の連絡先に登録されているメールアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。 選択したグループ内の連絡先に登録されていないメールアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。
メール受信方法	差出人・件名受信	差出人・件名のみを受信します。	
添付自動受信	受信Eメールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。		

memo

◎本文や添付ファイルを受信していないメールは、後から手動で本文や添付ファイルを受信できます。受信メール内容画面で[全文受信]をタップしてください。

■ 送信・作成に関する設定をする

1 **Eメール画面／メールボックス画面／振り分けフォルダ画面で[設定]→[Eメール設定]**

Eメール設定画面が表示されます。

2 **[送信・作成設定]**

送信・作成設定画面が表示されます。

3

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に宛先に設定されるメールアドレスを設定します。
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。

署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。
返信時メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。

■アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール画面／メールボックス画面／振り分けフォルダ画面で［設定］→［Eメール設定］

Eメール設定画面が表示されます。

2 ［その他の設定］→［OK］

3 項目を選択→□（入力欄）を選択→暗証番号を入力→［送信］

項目	説明
Eメールアドレスの変更	Eメールアドレスは「Eメール設定」の「設定更新」を行うと自動的に決まりますが、初期設定時に決まったEメールアドレスは変更できます。 **1.［承諾する］** **2. □（入力欄）を選択** **3. Eメールアドレスの"@"の左側の部分（変更可能部分）を入力** **4.［送信］→［OK］** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用することはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

項目	説明
Eメールアドレスの変更	• 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター	▶P.97「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先	IS11PTで受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. □（入力欄）を選択** **2. Eメールアドレスを入力** **3.［送信］→［終了］** • 自動転送先のEメールアドレスは、2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

■Eメールアドレスを確認する

1 **Eメール画面／メールボックス画面／振り分けフォルダ画面で［設定］→［Eメール設定］**

Eメール設定画面が表示されます。

2 **［設定更新］→［OK］**

お客様のEメールアドレスが表示されます。

memo

◎Eメールの初期設定を行っていない場合は、Eメールの初期設定が行われます。Eメールの初期設定が完了するとお客様のEメールアドレスが表示されます。

■Eメール設定を確認する

1 **Eメール画面／メールボックス画面／振り分けフォルダ画面で［設定］→［Eメール設定］**

Eメール設定画面が表示されます。

2 **［Eメール設定確認］**

Eメール設定の設定内容が一覧表示されます。

表示に関する設定をする

1 **Eメール画面／メールボックス画面／振り分けフォルダ画面で［設定］→［表示設定］**

表示設定画面が表示されます。

2

標準文字サイズ	Eメール本文の文字サイズを設定します。
画像の拡大表示	本文中のインライン画像を拡大表示するかどうかを設定します。
画像を画面幅に合わせる	「画像の拡大表示」を有効にしているときに、画面幅より大きい画像を画面幅に合わせて表示するかどうかを設定します。
電話帳登録名の表示	Eメールの差出人／宛先が電話帳に登録されているときに登録名で表示するかどうかを設定します。
外部コンテンツ読込	Eメールの本文が参照している外部コンテンツを読み込むかどうかを設定します。

Eメール受信時の通知に関する設定をする

1 **Eメール画面／メールボックス画面／振り分けフォルダ画面で［設定］→［通知設定］**

通知設定画面が表示されます。

2

着信音鳴動	Eメール受信時に受信音を鳴らすかどうかを設定します。
着信音	Eメール受信音を選択します。
着信鳴動時間（秒）	Eメール受信音の鳴動時間を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレータのパターンを選択します。
ステータスバー通知	Eメール受信時にステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
メール受信時起動	Eメール受信時に自動的にEメールを起動するかどうかを設定します。

メールボックスにパスワードを設定する

1 Eメール画面／メールボックス画面／振り分けフォルダ画面で[設定]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

2 [セキュリティ設定]

パスワードの設定の確認画面が表示されます。

3 [OK]

4 パスワードを入力→[OK]

セキュリティ設定画面が表示されます。

メールBOXパスワード	有効にすると、フォルダ内のメールの閲覧やフォルダの削除、フォルダ名編集、振り分け条件設定時にパスワードの入力が必要になるように設定します。
パスワード変更	ロック用のパスワードを変更します。
(振り分けフォルダ名)	お客様が作成した振り分けフォルダ名が表示されます。チェックを入れたフォルダのみセキュリティの設定が有効になります。

memo

◎受信ボックスおよび送信ボックスにはセキュリティ設定はできません。

◎パスワードを忘れた場合は、「データの初期化」(▶P.194)を行い、IS11PTをお買い上げ時の状態に戻す必要がありますのでご注意ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール画面／メールボックス画面／振り分けフォルダ画面で[設定]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

2 [その他の設定]→[OK]

■おすすめの設定にする場合

3 [オススメの設定はこちら]→[登録]

なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件で迷惑メールフィルターが設定されます。

■詳細を設定する場合

3 [迷惑メールフィルター]→□(入力欄)を選択→暗証番号を入力→[送信]

4

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。
	指定拒否リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	指定受信リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF(受信拒否)にしてください。

詳細設定	指定受信リスト設定(なりすまし･転送メール許可)	「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。
	HTMLメール規制	HTML形式のEメールを拒否します。
	URLリンク規制	URLが含まれるEメールを拒否します。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかどうかを設定します。
設定確認／設定解除		迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行		▶P.98「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって		迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

◎メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

◎メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定(なりすまし･転送メール許可)＞なりすまし規制＞指定拒否リスト設定＞指定受信リスト設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞一括指定受信

◎指定受信リスト設定(なりすまし･転送メール許可)は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト(なりすまし･転送メール許可)に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。

◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。

◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。

◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話･PHSからのデコレーションメールは「HTML規制」を設定している場合でも受信できます。

◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定(なりすまし･転送メール許可)」に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCから迷惑メールフィルター設定」にアクセスし、ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、IS11PTの迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとワンタイムパスワードは無効となります。

Cメールを利用する

Cメールは、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもCメールの送信および受信をご利用いただけます。

memo

◎海外でのCメールのご利用については、「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。

Cメールを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面で[⬆]→[Cメール]

Cメール画面が表示されます。

2 [新規作成]

Cメール作成画面が表示されます。

① 宛先入力欄
② 本文入力欄
③ 送信

《Cメール作成画面》

3 宛先入力欄を選択→宛先を入力

4 本文入力欄を選択→本文を入力

本文は、全角70/半角140文字まで入力できます。

5 [送信]

memo

◎全角51/半角101文字以上のCメールは、送信先によっては分割されて2通のCメールとして受信されます。

◎操作5で(BACK)を押すと、Cメールを送信せずに下書きとして保存できます。

◎宛先入力欄に電話番号を途中まで入力すると、電話帳から自動的に候補を検索して表示します。

◎送信するCメールの文字数や相手の方が電波の届かない場所にいるとき、電源が入っていないなどの理由でCメールを送信できなかった場合は、Cメールセンターへ蓄積するかどうか確認するメッセージが表示されます。
はい:Cメールセンターに Cメールを蓄積します。相手の方が受信可能になった時点で送信されます。
いいえ:Cメール送信を中止します。送信されなかったCメールもスレッドに保存されます。

◎Cメールセンターは、次の通りCメールをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したCメールは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、Cメールセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたCメールが配信されるタイミングは、次の通りです。

Cメール蓄積後すぐに配信	新しいCメールがCメールセンターに蓄積されるたびに、Cメールセンターでお預かりしていたCメールがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へCメールを繰り返し送信するリトライ機能によりCメールを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がIS11PTで通話を終了したときに、Cメールセンターにお預かりしていたCメールをすべて配信します。

◎発信者番号通知をせずにCメールを送信することはできません。

◎契約期間の条件により送信数に制限があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。

◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

◎Cメールの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信失敗のメッセージが表示される場合があります。

Cメールを受け取る

1 Cメールを受信すると

Cメールセンターから Cメールが送られてくるとステータスバーに が表示され、Cメール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下へスライド

通知／ステータスパネルが表示されます。

3 Cメールの情報を選択

受信したCメールを含むスレッド内容表示画面が表示されます。
複数の差出人からCメールを受信したときは、スレッド一覧画面が表示されます。確認するスレッドを選択してください。

memo

◎緊急地震速報を受信した場合は、の代わりに が表示されます。
◎Cメールの受信料は無料です。
◎全角51／半角101文字以上のCメールは、分割され2通のCメールとして受信します。
◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

Cメールを確認する

同一の相手の方からの受信Cメールとその方への送信Cメールが1つのスレッドとしてまとめて表示されます。複数の相手の方のスレッド一覧がCメール画面に表示されます。

1 ホーム画面で[ ]→[Cメール]

Cメール画面が表示されます。

《Cメール画面》

① **新規作成**
▶P.99「Cメールを送る」

② **スレッド**
未読のCメールがある場合は、背景が明るい灰色で表示されます。
スライドするとすべてのスレッドを確認できます。

③ **画像**
電話番号と画像が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている画像が表示されます。
画像をタップするとクイックコンタクト（▶P.83）が利用できます。
電話帳に登録されていない場合は、画像をタップすると送信者を電話帳に登録できます。

④ **電話番号**
電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

⑤ **スレッド内のCメール件数**

⑥ **スレッド内の最新のCメールの本文**

⑦ **受信日時／送信日時／下書き保存日時／送信失敗日時**
スレッド内で最新の操作を行った日時が表示されます。

⑧ **下書き**
スレッド内に下書きのCメールがあるときに表示されます。

⑨ **送信失敗**
スレッド内に送信失敗したCメールがあるときに表示されます。

2 スレッドを選択

スレッド内容表示画面が表示されます。

《スレッド内容表示画面》

① **スレッドタイトル**
相手の電話番号が表示されます。
電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前と電話番号が表示されます。

② **画像**
電話番号と画像が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている画像が表示されます。画像をタップするとクイックコンタクト(▶P.83)が利用できます。
電話帳に登録されていない場合は、画像をタップすると送信者を電話帳に登録できます。

③ **電話番号**
電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

④ **Cメールの本文**
受信Cメールと送信Cメールが背景の色で区別されて表示されます。

⑤ **受信日時／送信日時**
Cメールの受信／送信日時が表示されます。

⑥ **保護**
保護されたCメールに表示されます。

⑦ **本文入力欄**
返信するときに本文を入力します。
送信しなかった本文の下書きは、本文入力欄に保存されます。

⑧ **送信**
本文入力欄にメッセージを入力→[送信]と操作すると、返信のCメールを送信します。

Cメール画面でできること

■ オプションメニューの場合

1 Cメール画面で (MENU)

2

作成	▶P.99「Cメールを送る」
スレッド全件削除	すべてのスレッドとスレッド内のCメールを削除します。
検索	入力した文字列を本文に含むCメールを検索します。
設定	▶P.105「Cメールの設定をする」

memo

◎スレッドが1つもない場合「スレッド全件削除」は表示されません。

■ コンテキストメニューの場合

1 Cメール画面でスレッドをロングタッチ

2

スレッド表示	選択したスレッドのスレッド内容表示画面を表示します。
電話帳に追加	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
連絡先を表示	連絡先詳細画面を表示します。
スレッドを削除	選択したスレッドを削除します。
受信フィルターに登録	Cメール受信フィルターの指定番号一覧に登録します。 ▶P.106「受信フィルターを設定する」

※表示される項目は電話帳への登録の有無により異なります。

スレッド内容表示画面でできること

スレッド内容表示画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 スレッド内容表示画面で MENU

2

発信	電話を発信します。	
送信	返信のCメールを送信します。	
表情文字を挿入	本文入力欄に表情文字を挿入します。	
スレッドを削除	選択しているスレッド全体を削除します。	
スレッド一覧表示	Cメール画面を表示します。	
電話帳に追加	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」	
連絡先を表示	連絡先詳細画面を表示します。	
受信フィルターに登録	Cメール受信フィルターの指定番号一覧に登録します。 ▶P.106「受信フィルターを設定する」	
その他	電話帳に追加	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
	連絡先を表示	連絡先詳細画面を表示します。
	受信フィルターに登録	Cメール受信フィルターの指定番号一覧に登録します。 ▶P.106「受信フィルターを設定する」

※表示される項目は電話帳への登録の有無、本文入力欄への入力済みメッセージの有無により異なります。

■ コンテキストメニューの場合

1 スレッド内容表示画面でCメールの本文をロングタッチ

2

メッセージをロック	選択したCメールを保護します。
メッセージのロックを解除	選択したCメールの保護を解除します。
編集	選択した未送信のCメールを編集します。
(電話番号)に発信	電話を発信します。
(電話番号)さんにCメール送信	▶P.99「Cメールを送る」
連絡先に(電話番号)さんを追加	▶P.81「他の機能から電話帳に登録する」
転送	選択したCメールの本文を転送します。
メッセージテキストをコピー	選択したCメールの本文をコピーします。
メッセージの詳細を表示	選択したCメールの送信結果などを表示します。
メッセージを削除	選択したCメールを削除します。
受信フィルターに登録	Cメール受信フィルターの指定番号一覧に登録します。 ▶P.106「受信フィルターを設定する」

※表示される項目は電話帳への登録の有無、Cメールの状態や内容により異なります。

本文中の電話番号／メールアドレス／URLを利用する

■本文中の電話番号を利用する場合

1 **スレッド内容表示画面で本文中の電話番号を選択**

選択した電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

■本文中のメールアドレスを利用する場合

1 **スレッド内容表示画面で本文中のメールアドレスを選択**

2 **[Eメール]／[PCメール]／[Gmail]**

選択したメールアドレスを宛先にしたEメール／PCメール／Gmail作成画面が表示されます。

■本文中のURLを利用する場合

1 **スレッド内容表示画面で本文中のURLを選択**

ブラウザが起動し選択したURLに接続されます。

memo

◎本文中に電話番号やURLを含むCメールを受信するには、Cメール安心ブロック機能を解除する必要があります。（▶P.105「Cメール安心ブロック機能を設定する」）

◎表示される項目はIS11PTの設定などにより異なります。

緊急地震速報を利用する

緊急地震速報とは、気象庁が配信する緊急地震速報を、震源地周辺のエリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。お買い上げ時は、緊急地震速報の「受信設定」は「受信する」に設定されています。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。

memo

◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。

◎地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。

◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

◎日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。

◎緊急地震速報は、情報料･通信料とも無料です。

◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達･遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。

◎気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。

http://www.jma.go.jp/（パソコン用）

緊急地震速報を受信すると

緊急地震速報を受信すると、専用の警報音とバイブレータの振動、画面上の表示で通知します。

1 緊急地震速報を受信

緊急地震速報が送られてくると、警報音（固定）が鳴り、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。

2 ステータスバーを下へスライド

通知／ステータスパネルが表示されます。

3 緊急地震速報の情報を選択

緊急地震速報のスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

◎ 通話中は、緊急地震速報を受信できません。また、Cメール／Eメールの送受信中やブラウザなどの利用中は、緊急地震速報を受信できない場合があります。

◎ 電源を切っていたり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急地震速報を受信できない場合があります。その場合、通知を再度受信することはできません。

◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

◎ 緊急地震速報の警報音を変更したり、音量の調節をすることはできません。

緊急地震速報の設定をする

1 Cメール画面で (MENU) →［設定］

Cメールの設定画面が表示されます。

2

項目	説明
受信設定	緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 「受信する」「受信しない」
受信音／バイブ確認	緊急地震速報を受信したときの受信音（警報音）とバイブレータの振動を確認できます。
マナー時の鳴動設定	マナーモード時の警報音を設定します。「バイブ」の設定にかかわらずバイブレータは振動します。 「通知する」「通知しない」 •「通知する」に設定されていて通常マナーモード／サイレントマナーモードが設定されている場合は、警報音とバイブレータの振動で通知します。 •「通知しない」に設定されていて通常マナーモード／サイレントマナーモードが設定されている場合は、警報音は鳴らずにバイブレータの振動のみで通知します。

Cメール安心ブロック機能を設定する

Cメール安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むCメールを受信拒否する機能です。

memo

◎Cメール安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ブロック対象のCメールは、通常のCメール（ぷりペイド送信含む）です。お留守番サービス（伝言お知らせ、着信お知らせ）は、対象外です。

■Cメール安心ブロック機能の設定方法

Cメール安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にCメールを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にCメールを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にCメールを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にCメールを送信する。

※設定時のCメール送信は無料です。
※設定完了の案内Cメールは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■Cメール安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したCメールがCメール安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「ご指定の相手へは送信できません。」とエラーメッセージが表示され、送信はされません。

Cメールの設定をする

1 Cメール画面で（MENU）→［設定］

Cメールの設定画面が表示されます。

2

古いメッセージを削除	「テキストメッセージの制限件数」で設定した制限件数に達したときにスレッド内のCメールを古い順に削除するかどうかを設定します。
テキストメッセージの制限件数	スレッド内に表示するCメールの件数を設定します。
署名を編集	本文の末尾に挿入する文を設定します。
署名を自動で貼付	署名を自動で貼り付けるかどうかを設定します。
蓄積機能	Cメールの送信が失敗した場合、送信したCメールをCメールセンターに自動蓄積するかどうかを設定します。 **選択蓄積**：そのつど蓄積するかどうかを選択する。 **自動蓄積**：自動的にCメールセンターに蓄積する。
受信フィルターを設定	▶P.106「受信フィルターを設定する」
受信設定	▶P.104「緊急地震速報の設定をする」
受信音／バイブ確認	
マナー時の鳴動設定	
通知	Cメール受信時にステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	Cメールの受信音を選択します。
バイブレーション	Cメール受信時のバイブレータを設定します。

受信フィルターを設定する

1 Cメール画面で MENU →[設定]→[受信フィルターを設定]

受信フィルターを設定画面が表示されます。

2

指定番号設定	指定した番号からのCメールを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号一覧	指定番号一覧が表示されます。 • MENU を押すと、「電話帳参照」「発信履歴参照」「着信履歴参照」「Cメール履歴参照」「直接入力」から入力方法を選択して受信を拒否する電話番号を登録できます。 • 登録済みの電話番号をタップ→[番号を編集]と操作すると、電話番号を編集できます。 • 登録済みの電話番号をタップ→[番号を削除]と操作すると電話番号を削除できます。 • 電話番号は、最大20件まで登録できます。 • 電話番号の先頭に「184(発信者番号非通知)」「186(発信者番号通知)」が付加されている場合は、「184」「186」を削除して登録します。 • 受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信されたことになります。送信料もかかります。
電話帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのCメールを受信拒否するかどうかを設定します。

◎画面ロックが設定されている場合、受信フィルターを設定する際にロック解除画面が表示されます。

PCメールを利用する

PCメールでは、au one メール(▶P.113)や普段パソコンで使用しているメールアカウントを設定して、IS11PTからメールを送受信できます。

• PCメールをご利用になるには、事前にPCメールのアカウントを設定する必要があります。(▶P.106「PCメールのアカウントを登録する」)
• PCメールでau one メールをご利用になるには、事前にau one メールの設定を行う必要があります。あらかじめau one メールのメールアカウントの取得、IMAPを有効にする(初期値)、メールパスワードの設定を行ってください。(▶P.113「au one メールをブラウザで利用する」)

※au oneメールのPOPダウンロードの設定を有効にしてIS11PTのPCメールにPOP3サーバーで設定するとIS11PT本体内に保存されたメールが消失する場合があります。

PCメールのアカウントを登録する

au one メールなど、いくつかのメールアドレスではメールサーバが自動的に設定され、簡単に設定することができます。
メールサーバが自動的に設定されない場合、または「手動セットアップ」を選択し設定値を手動設定したい場合は、ユーザー名やメールサーバを指定する操作を行います。
メールサーバの各設定値については、あらかじめご利用のプロバイダやメールアカウントの管理者にお問い合わせください。

1 ホーム画面で[⬆]→[PCメール]

PCメールにメールアカウントを1つも登録していない場合は、メールアカウントの登録画面が表示されます。

2 メールアドレス欄を選択→メールアドレスを入力

3 パスワード欄を選択→パスワードを入力

メール

■ メールサーバが自動的に設定される場合

4 [次へ]

メールサーバが自動的に設定されます。
メールアドレスによっては、メールサーバが自動的に設定されない場合があります。メールサーバが自動的に設定されない場合、または「手動セットアップ」を選択した場合は、ユーザー名やメールサーバを指定する操作を行います。詳しくは、「メールサーバが自動的に設定されない場合／手動で設定する場合」（▶P.107）をご参照ください。

5 アカウント名入力欄を選択→アカウント名を入力

複数のメールアカウントを登録した際に、メールアカウントを区別するための名前を設定します。省略した場合はメールアドレスがアカウント名として設定されます。

6 あなたの名前入力欄を選択→あなたの名前を入力

メールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名前を設定します。

7 [完了]

設定が完了すると受信トレイが表示されます。

■ メールサーバが自動的に設定されない場合／手動で設定する場合

4 [次へ]／[手動セットアップ]

アカウントのタイプを選択する画面が表示されます。

5 [POP3]／[IMAP]／[Exchange]

受信サーバの設定画面が表示されます。

6

項目	説明
ユーザー名／ドメイン\ユーザー名	必要な項目を入力します。 ※POP3サーバーで設定を行う場合、ご利用のプロバイダによってはIS11PT本体に保存されたメールが消失する場合があります。au one メール、Gmailを設定する場合は、IMAPサーバーで設定を行ってください。
パスワード	
POP3サーバー／IMAPサーバー／サーバー	
ポート	
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
サーバーからメールを削除	受信したメールをサーバに残すかどうかを設定します。
IMAPパスのプレフィックス	必要な場合に設定します。
安全な接続（SSL）を使用する	PCメールの受信時にSSLを使用するかどうかを設定します。
すべてのSSL証明書を承認	すべてのSSL証明書を承認する場合は有効にします。

※表示される項目はアカウントのタイプにより異なります。

7 [次へ]

送信サーバの設定画面が表示されます。

8

項目	説明
SMTPサーバー	必要な項目を入力します。
ポート	
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
ログインが必要	必要な場合に設定します。 有効に設定した場合は「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

※表示される項目はアカウントのタイプにより異なります。

9 [次へ]

アカウントのオプション画面が表示されます。

10

項目	説明
新着メール自動確認	新着メールが届いているかサーバに確認する間隔を設定します。
同期する量	IS11PT本体内にメールを保存する期間を設定します。
いつもこのアカウントでメールを送信	メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
メールの着信を知らせる	新着PCメール受信時にステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。

このアカウントから連絡先を同期します	サーバに保存されている連絡先を同期するかどうかを設定します。
このアカウントからカレンダーを同期	サーバに保存されているカレンダーを同期するかどうかを設定します。
このアカウントからタスクを同期化します	サーバに保存されているタスクを同期するかどうかを設定します。

※表示される項目はアカウントのタイプにより異なります。

11 [次へ]

12 アカウント名入力欄を選択→アカウント名を入力

複数のメールアカウントを登録した際に、メールアカウントを区別するための名前を設定します。省略した場合はメールアドレスが設定されます。

13 あなたの名前入力欄を選択→あなたの名前を入力

メールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名前を設定します。

14 [完了]

設定が完了すると受信トレイが表示されます。

memo

◎メールサーバが自動的に設定されない場合／手動で設定する場合の設定項目はアカウントのタイプなどにより異なります。
◎2つ目のメールアカウントを登録する場合は、操作1の後、MENU→[その他]→[アカウント]→MENU→[アカウントを追加]と操作してください。
◎3つ目以降のメールアカウントを登録する場合は、操作1の後、MENU→[アカウントを追加]と操作してください。
◎PCメールにExchangeアカウントを登録する際、設定途中や設定完了後にセキュリティのリモート管理に関する確認／設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。
◎「アカウントと同期」(▶P.191)でExchangeアカウントを設定すると、自動的にPCメールにExchangeアカウントが設定されます。

PCメールを送る

1 ホーム画面で[ ]→[PCメール]

受信トレイが表示されます。
PCメールにメールアカウントを1つも登録していない場合は、メールアカウントの登録画面(▶P.106)が表示されます。
複数のメールアカウントを登録している場合は、PCメール画面が表示されます。PCメール画面でアカウントを選択して受信トレイを表示してください。

2 [新規作成]

メール作成画面が表示されます。

3 宛先入力欄を選択→宛先を入力

メールアドレスを途中まで入力すると、電話帳に登録されている連絡先から自動的に候補を検索して表示します。
をタップすると、最近使用したメールアドレスや連絡先のメールアドレスを選択できます。
Exchangeアカウントの場合は、Exchangeアカウントに保存されている連絡先のリストも表示されます。

4 件名入力欄を選択→件名を入力

5 本文入力欄を選択→本文を入力

6 [送信]

memo

◎複数のメールアカウントを登録している場合は、メール作成画面で差出人欄をタップしてメールの差出人を変更できます。送信したメールは、差出人として選択したメールアカウントの「送信済みメール」に保存されます。
◎複数のメールアカウントを登録している場合は、PCメール画面でMENU→[新規作成]と操作すると優先アカウントに設定されているメールアカウントでPCメールを作成できます。

メール作成画面のメニューを利用する

1 メール作成画面で(MENU)

2

添付	メールにデータを添付します。 ・添付したデータを削除する場合は、「×」をタップします。
下書き保存	作成中のメールを「下書き」フォルダへ保存します。
テキスト挿入	メールの本文にブックマークのURLや便利メモのテキストを引用します。
Cc/Bccを追加	Cc/Bccの入力欄を追加します。
破棄	作成中のメールを破棄します。

PCメールを受け取る

1 PCメールを受信すると

PCメールを受信するとステータスバーにPCが表示され、PCメール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下へスライド

通知/ステータスパネルが表示されます。

3 PCメールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。
複数のメールアカウントを登録していて、複数のメールアカウントに新着PCメールがある場合は、統合受信トレイが表示されます。

4 受信したPCメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

新着メールを問い合わせて受信する

「新着メール確認の頻度」を「自動確認しない」に設定した場合や、PCメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 受信トレイ画面で(MENU)→[更新]

新着のPCメールがあるかどうかを確認します。

memo

◎複数のメールアカウントを登録している場合は、メールを受信したいメールアカウントの受信トレイを表示して(MENU)→[更新]と操作してください。

PCメールを確認する

送信・受信したPCメール、送信せずに保存したPCメールなどは、各メールボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[⬆]→[PCメール]

受信トレイが表示されます。
PCメールにメールアカウントを1つも登録していない場合は、メールアカウントの登録画面(▶P.106)が表示されます。
複数のメールアカウントを登録している場合は、PCメール画面が表示されます。PCメール画面でアカウントを選択して受信トレイを表示してください。

2 (MENU)→[メールボックス]

メールボックス画面が表示されます。

① **フォルダ**
② **未読メールなどの件数**

※表示される項目や内容は、アカウントのタイプやサーバに保存されているアカウントの設定などにより異なります。

《メールボックス画面》

3 フォルダを選択

メール一覧画面が表示されます。

① **メール**
　スライドするとIS11PTで受信したすべてのメールを表示できます。
　「さらにメールを読み込む」と表示されている場合は、タップするとメールを読み込み表示します。
　既読のメールは、背景が灰色で表示されます。
② **アカウント名**
　表示しているメール一覧画面のアカウント名を表示します。
③ **添付ファイル**
　ファイルが添付されているメールに表示されます。
④ **差出人**
⑤ **件名**
⑥ **受信日時**

《受信トレイのメール一覧画面》

⑦ **スター**
　スターが付いているメールに表示されます。

※受信トレイのメール一覧画面を例に説明しています。表示される項目や内容は、フォルダにより異なります。

4 PCメールを選択

メール内容表示画面が表示されます。

① **前のメールを表示**
② **次のメールを表示**
③ **返信**
④ **全員に返信**
⑤ **転送**
⑥ **件名**
　件名の右の▼をタップすると、受信日時や差出人／宛先／Cc、スターを付ける／外すなどの詳細が表示されます。
⑦ **本文**
⑧ **添付ファイル**
　▲をタップして「保存」／「開く」を選択すると添付ファイルを保存／開くことができます。

《受信メール内容表示画面》

※受信メール内容表示画面を例に説明しています。表示される項目や内容はメール内容表示画面により異なります。

memo

◎本文中のメールアドレスを選択すると選択したメールアドレスを宛先にしたEメール／PCメール／Gmailの送信、メールアドレスをコピー、電話帳に登録ができます。
◎本文中のURLを選択するとブラウザを起動しURLに接続／URLをコピー／ブックマークに追加／電話帳に登録ができます。

PCメールのメニューを利用する

PCメール画面のメニューを利用する

複数のメールアカウントを登録している場合は、PCメールを起動するとPCメール画面が表示されます。メールアカウントが1つのみ登録されている場合は、受信トレイで(MENU)→[その他]→[アカウント]と操作するとPCメール画面を表示できます。

■ オプションメニューの場合

1 PCメール画面で(MENU)

2

新規作成	▶P.108「PCメールを送る」 • 複数のメールアカウントを登録している場合は、優先アカウントに設定されているアカウントからPCメールを作成できます。
アカウントを追加	▶P.106「PCメールのアカウントを登録する」

■ コンテキストメニューの場合

1 PCメール画面でアカウントをロングタッチ

2

開く	メールボックス画面を表示します。
新規作成	▶P.108「PCメールを送る」
更新	メールを更新します。
アカウントの設定	▶P.112「PCメールのアカウントの設定をする」
アカウントを削除	アカウントを削除します。

メールボックス画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 メールボックス画面で(MENU)

2

更新	メールを更新します。
新規作成	▶P.108「PCメールを送る」
アカウント	PCメール画面を表示します。
アカウントの設定	▶P.112「PCメールのアカウントの設定をする」

■ コンテキストメニューの場合

1 メールボックス画面でフォルダをロングタッチ

2

開く	フォルダを表示します。
更新	メールを更新します。

メール一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 メール一覧画面で(MENU)

2

更新	メールを更新します。	
削除	メールを選択して削除します。	
メールボックス	メールボックス画面を表示します。	
Star	メールを選択してスターを付けます。	
既読／未読	メールを選択して既読／未読にします。	
その他	検索	入力した文字列が件名に含まれるメールのみを一覧表示します。
	ソート	時間順／タイトル順／送信者順でメールを並び替えます。
	タスク	Exchangeアカウントのタスクを利用できます。
	ノート	Exchangeアカウントのノートを利用できます。
	アカウント	PCメール画面を表示します。
	アカウントの設定	▶P.112「PCメールのアカウントの設定をする」

※表示される項目はアカウントのタイプなどにより異なります。

■コンテキストメニューの場合

1 メール一覧画面でメールをロングタッチ

2

開く	選択したメールを開きます。
返信	返信メールを作成します。
全員に返信	同報されている全員宛に返信メールを作成します。
転送	選択したメールを転送します。
削除	選択したメールを削除します。
未読にする／既読にする	選択したメールを未読／既読にします。
スターを付ける／スターをはずす	選択したメールにスターを付けます／外します。
移動	他のフォルダに移動します。

※表示される項目は選択したメールにより異なります。

メール内容表示画面のメニューを利用する

1 メール内容表示画面で MENU

2

削除	メールを削除します。
未読にする	メールを未読にします。

PCメールのアカウントの設定をする

1 受信トレイ画面で MENU →[その他]→[アカウントの設定]

アカウントの設定画面が表示されます。

2

アカウント名	アカウント名を設定します。
名前	メールを送信したときに相手の方に差出人として表示される名前を設定します。
新着メール確認の頻度	新着メールが届いているかサーバに確認する間隔を設定します。
ダウンロード設定	差出人･件名のみを受信するか、差出人･件名と本文を受信するかを設定します。
同期する量	PCメールを同期する期間を設定します。
スケジュール同期化	サーバに保存されているスケジュールを同期するかどうかを設定します。
高級設定	スケジュールを同期する期間や受信メールサイズなどの高度な設定をします。
優先アカウントにする	メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
署名作成	本文の末尾に挿入する文を作成します。
自動添付	署名を自動で挿入するかどうかを設定します。
メール着信通知	PCメール受信時にステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	PCメール受信時の着信音を選択します。
バイブレーション	PCメール受信時のバイブレータを設定します。
受信設定	受信メールサーバの設定をします。
送信設定	送信メールサーバの設定をします。
連絡先を同期	サーバに保存されている連絡先を同期するかどうかを設定します。
カレンダーを同期	サーバに保存されているカレンダーを同期するかどうかを設定します。
タスク同期化	サーバに保存されているタスクを同期するかどうかを設定します。
アカウント削除	アカウントを削除します。

※表示される項目はアカウントのタイプなどにより異なります。

au one メールをブラウザで利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメールの自動保存や、携帯絵文字の送受信を行うこともできます。
また、PCメール（▶P.106）でau one メールを利用することができます。PCメールでau one メールを利用する場合は、以下の設定を事前に行ってください。

- au one メールの「設定」の「メール転送とPOP／IMAP」で「IMAPを有効にする」（初期値）に設定する
  ※au one メールのPOPダウンロードの設定を有効にしてIS11PTのPCメールにPOP3サーバーで設定するとIS11PT本体内に保存されたメールが消失する場合があります。
- au one メールのメールパスワードを設定する
  ※設定方法については、ホーム画面で[ ]→[au one]→[サポート]→[au one メールヘルプ]と操作し、ヘルプ内容をご確認ください。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初に会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「○○@auone.jp」のアドレスを取得できます。

1 au one-IDを設定する

「au one-IDを設定する」（▶P.197）を参照して、IS11PTにau one-IDを設定してください。au one-IDが設定済みの場合は、この操作は不要です。

2 ホーム画面で[ ]→[au one]

au one ホームページが表示されます。

3 [メール]

ログイン認証画面が表示されます。

4 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

会員登録画面が表示されます。

5 希望するメールアドレスと差出人名（姓・名）を入力→[規約に同意して登録する]

会員登録の内容確認画面が表示されます。

6 [上記の内容で登録する]

会員登録が完了します。

memo

◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
◎au one メールを解約した場合や、au電話を解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

1 ホーム画面で[ ]→[au one]

au one ホームページが表示されます。

2 [メール]

ログイン認証画面が表示されます。

3 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

au one メールの受信トレイが表示されます。

memo

◎前回のログイン状態を維持している場合は、上記操作3は不要です。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。IS11PTからGmailの送信・受信などができます。
パソコンやIS11PTのブラウザからもGmailを利用し、メール情報を共有することができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.39)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

メール

Gmailを送る

1 ホーム画面で[ ]→[Gmail]

受信トレイが表示されます。
Googleアカウントを1つも登録していない場合は、Googleアカウントのセットアップ画面(▶P.39)が表示されます。

2 (MENU)→[新規作成]

メール作成画面が表示されます。

3 宛先入力欄を選択→宛先を入力

メールアドレスを途中まで入力すると、電話帳に登録されている連絡先から自動的に候補を検索して表示します。

4 件名入力欄を選択→件名を入力

5 本文入力欄を選択→本文を入力

6 [ ]

memo

◎複数のGoogleアカウントを登録してGmailと同期した場合は、前回表示していたGoogleアカウントの受信トレイが表示されます。アカウントを切り替えるには(MENU)→[アカウント]→アカウントを選択と操作してください。
◎複数のGoogleアカウントを登録してGmailと同期した場合は、メール作成画面で差出人欄をタップしてメールの差出人を変更できます。送信したメールは、差出人として選択したGoogleアカウントの「送信済みメール」に保存されます。
◎メール作成画面で[ ]と操作するとメールを送信せずに「下書き」に保存できます。
◎メール作成画面で(BACK)を押すと作成中のメールを破棄するかどうかを確認するメッセージが表示されます。破棄する場合は[OK]と操作してください。

Gmailを受け取る

1 Gmailを受信すると

Gmailを受信するとステータスバーに が表示され、Gmail受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下へスライド

通知／ステータスパネルが表示されます。

3 Gmailの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。
複数のGoogleアカウントを登録してGmailと同期している場合、複数のメールアカウントに新着Gmailがあったときはアカウントの選択画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

新着メールを問い合わせて受信する

「Gmailを同期」を無効に設定した場合や、Gmailの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 受信トレイ画面で MENU →[更新]

新着のGmailがあるかどうかを確認します。

memo

◎複数のGoogleアカウントを登録している場合は、メールを受信したいGoogleアカウントの受信トレイを表示して MENU →[更新]と操作してください。

Gmailを確認する

送信･受信したGmail、送信せずに保存したGmailなどは、各ラベルで保存･管理されます。

1 ホーム画面で[]→[Gmail]

受信トレイが表示されます。

Googleアカウントを1つも登録していない場合は、Googleアカウントのセットアップ画面（▶P.39）が表示されます。

複数のGoogleアカウントを登録してGmailと同期している場合は、前回表示していたGoogleアカウントの受信トレイが表示されます。アカウントを切り替えるには MENU →[アカウント]→アカウントを選択と操作してください。

2 MENU →[ラベルを表示]

ラベルの一覧画面が表示されます。

※表示される項目はサーバに保存されているGoogleアカウントの設定などにより異なります。

3 ラベルを選択

メール一覧画面が表示されます。

《受信トレイのメール一覧画面》

① **ラベル名**

② **未読メールの件数**

③ **アカウント名**

表示しているメール一覧画面のGoogleアカウント名を表示します。タップするとアカウントの選択画面が表示されます。

④ **メール**

スライドするとIS11PTで受信したすべてのメールを表示できます。既読のメールは、背景が灰色で表示されます。

⑤ **件名**

⑥ **差出人の名前／メールアドレス**

返信した場合は自分の名前も表示されます。

⑦ **スレッド内のメール件数**

件名が同じメールは、1つのスレッドにまとめて表示されます。

⑧ **チェックボックス**

選択するとチェックが入り「アーカイブ」「削除」「ラベル」などのメニューを利用できます。

⑨ **添付ファイル**

ファイルが添付されているメールの場合に表示されます。

⑩ **スター**

選択するとスターを付ける／スターを外すことができます。

⑪ **受信日時**

※受信トレイのメール一覧画面を例に説明しています。表示される項目や内容はラベルにより異なります。

4 メールを選択

メール内容表示画面が表示されます。

Gmailを検索する

入力した文字列が宛先／差出人や件名、本文に含まれるメールのみを検索して一覧表示します。

1 受信トレイ画面でMENU→[検索]

2 検索する文字列を入力→[ ]

Gmailを返信／転送する

1 受信メール内容表示画面で[ ]→[返信]／[全員に返信]／[転送]

Gmailを受信したときの動作を設定する

1 受信トレイ画面でMENU→[その他]→[設定]→アカウントを選択

2

メール着信通知	Gmail受信時にステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
通知するラベル	ラベルごとにメール着信通知、受信音などの設定をします。

memo

◎ 上記は、設定項目の一部です。他の設定項目など詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

メール

インターネット

インターネットに接続する

IS11PTでは、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。
- パケット通信（IS NET／au.NET）（▶P.118「データ通信サービスを利用する」）
- Wi-Fi（▶P.201「アクセスポイント（無線LAN親機）を登録し、接続する」）

memo

◎IS NETにお申し込みされていない場合は、au.NETでのご利用となりau.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。

データ通信サービスを利用する

IS11PTは、パケット通信方式を採用したCDMA EVDOマルチキャリアのデータ通信サービスで、最大通信速度受信9.3Mbps／送信5.4Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続を行うことができます。

※ご使用の通信環境により、最大通信速度は受信3.1Mbpsまたは2.4Mbps、144kbps／送信1.8Mbpsまたは144kbps、64kbpsとなる場合があります。

IS11PTでは「IS NET（アイエスネット）」や「au.NET（エーユードットネット）」のご利用により、手軽にインターネットに接続し、パケット通信を行うことができます。また、ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- IS NETにお申し込みされていない場合は、au.NETでのご利用となります。
- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。定額サービスへのご加入をおすすめします。
- コンピュータウィルスなどの影響により、お客様が意図しない通信が継続的に発生するおそれがあります。ご利用にあたりましては、ウィルス予防･対処策を講じていただくと共に、ご利用方法につきましてもご配慮いただきますようお願い申し上げます。
- ご使用中の通信環境により、最大通信速度は受信3.1Mbpsまたは2.4Mbps、144kbps／送信1.8Mbpsまたは144kbps、64kbpsとなる場合があります。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）
※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※	有料

※通信料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

インターネット

ブラウザを利用する

ブラウザでは、パソコン向けのウェブサイトを閲覧できます。サイトによっては、画面サイズなどがスマートフォン用に自動的に最適化されたり、スマートフォン専用サイトが用意されている場合があります。

サイトを表示する

1 ホーム画面で[ ]→[ウェブ]

お買い上げ時は、Android向けのau oneホームページが表示されます。
また、ホーム画面で[ ]→[au one]と操作すると、常にAndroid向けのau oneホームページが表示されます。

① **アドレスバー**
▶P.119「アドレスバーを利用する」
② **再読み込み**
表示中のサイトを再読み込みします。

《ブラウザ画面》

memo

◎非常に大きなウェブページをブラウザで表示した場合など、アプリケーションが自動的に終了する場合があります。

ブラウザでの基本操作

- タップ：リンクやキーを選択／実行します。
- スライド：画面をスクロールします。
- ピンチイン／ピンチアウト：画面を縮小／拡大します。
  ダブルタップや「 」／「 」をタップしても操作できます。（「 」／「 」は画面をスライドすると表示されます。）

※ウェブページによっては、一部の操作ができなかったり、操作方法が異なる場合があります。

アドレスバーを利用する

キーワードを入力してウェブサイトを検索したり、URLを入力してウェブサイトを表示することができます。

1 ブラウザ画面でアドレスバーを選択

2 キーワード／URLを入力

アドレスバーの下に入力したキーワードを含む検索候補などのリストが表示されます。

3 検索候補などのリストから項目を選択／アドレスバー右側の[ ]

memo

◎操作1の後、アドレスバー右側の「 」をタップすると、Google音声検索が利用できます。

ブラウザ画面のメニューを利用する

■ **オプションメニューの場合**

1 ブラウザ画面で (MENU)

2

戻る	1つ前に表示していたページに戻ります。
進む	表示しているページが「戻る」の操作で表示している場合に、「戻る」の操作前に表示していたページに進みます。
新しいウィンドウ	新しいウィンドウとしてホームページ（初期値：au one ホームページ）を開きます。
ブックマーク	▶P.121「ブックマーク／履歴を利用する」
ウィンドウ	表示しているページの一覧を表示します。ページを選択すると選択したページを表示します。 「×」をタップするとページを閉じます。 「+」をタップすると新しいウィンドウを開きます。

その他	ホームページ	ホームページ(ブラウザ起動時に表示するウェブページ)を表示します。
	ブックマークに追加	▶P.121「ブックマークに追加する」
	ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
	テキストを選択してコピー	表示しているページ内のテキストを選択してコピーします。 ・文字列をドラッグして指を離すとコピーされます。
	ページ情報	表示しているページの情報を表示します。
	ページを共有	表示しているページのURLをBluetooth®やメールの本文などで送信したり、Facebookやjibeなどにアップロードします。
	ダウンロード履歴	▶P.120「ダウンロードしたデータを利用する」
	設定	▶P.122「ブラウザの設定をする」

■ コンテキストメニューの場合

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2

開く	選択したリンク先を表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したリンク先を新しいウィンドウで表示します。
リンクをブックマーク	▶P.121「ブックマークに追加する」
リンクを保存	選択したリンク先をmicroSDメモリカードに保存します。
リンクを共有	選択したリンク先のURLをBluetooth®やメールの本文などで送信したり、Facebookやjibeなどにアップロードします。
URLをコピー	選択したリンク先のURLをコピーします。
画像を保存	選択した画像をmicroSDメモリカードに保存します。
画像を表示	選択した画像を表示します。
壁紙として設定	選択した画像を壁紙に設定します。
メールを送信	選択したメールアドレスにメールを送信します。
コピー	選択したメールアドレスをコピーします。

※表示される項目は選択した項目やIS11PTの設定などにより異なります。

memo

◎表示している画面や選択した項目によっては、操作できない項目があります。

◎壁紙に設定した画像は保存されないため、壁紙を別の画像に変更すると元に戻すことはできません。また、他の機能で画像を使用することもできません。

ダウンロードしたデータを利用する

1 ブラウザ画面で MENU →[その他]→[ダウンロード履歴]

ダウンロード履歴画面が表示されます。

ホーム画面で[]→[ダウンロード]と操作してもダウンロード履歴を表示できます。

2 データを選択

ダウンロードしたデータの表示、再生などができます。

memo

◎ダウンロード履歴画面でデータの左側のチェックボックスをタップ→[削除]と操作するとダウンロード履歴から項目を削除できます。この操作ではmicroSDメモリカードに保存されたデータ自体は削除されません。

◎ダウンロード履歴画面で MENU →[サイズ順]/[時間順]と操作すると項目をサイズ順/時間順に並び替えできます。

ブックマーク／履歴を利用する

ブックマークに追加する

1 ブラウザ画面で MENU →[その他]→[ブックマークに追加]

ブックマークに追加画面が表示されます。
名前とURLを編集することができます。

2 [OK]

ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザ画面で MENU →[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

① **ブックマーク**
ブックマークの一覧が表示されます。直前に表示していたページには、「＋追加」が表示されます。「＋追加」をタップするとブックマークに追加できます。

② **よく使用**
ウェブページの閲覧履歴を閲覧回数が多い順に表示します。

③ **履歴**
ウェブページの閲覧履歴を表示します。

《ブックマーク／よく使用／履歴画面》

2 [ブックマーク]／[よく使用]／[履歴]

ブックマーク／よく使用／履歴の一覧が表示されます。

3 ブックマーク／履歴を選択

選択したウェブページを表示します。

memo

◎よく使用／履歴表示中に、「★(オレンジ色)」／「★(灰色)」をタップすると選択したウェブページをブックマークに登録／削除できます。

ブックマーク／よく使用／履歴画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 ブックマーク／履歴画面で MENU

2

最後に表示したページをブックマークする	▶P.121「ブックマークに追加する」
リスト表示／サムネイル表示	ブックマークの表示方法を切り替えます。
赤外線で全送信	すべてのブックマークを赤外線で送信します。
履歴を全件削除	ブラウザの閲覧履歴をすべて消去します。

※表示される項目は画面により異なります。

■コンテキストメニューの場合

1 ブックマーク／よく使用／履歴画面でブックマーク／履歴をロングタッチ

2

開く	選択したブックマーク／履歴のウェブサイトを表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したブックマーク／履歴のウェブサイトを新しいウィンドウで表示します。
編集	選択したブックマークを編集します。

ブックマークに追加	▶P.121「ブックマークに追加する」
ブックマークから削除	選択した履歴をブックマークから削除します。
ショートカットを作成	選択したブックマークのショートカットをホーム画面に作成します。
リンクを共有	選択したブックマーク/履歴のURLをBluetooth®やメールの本文などで送信したり、Facebookやjibeなどにアップロードします。
URLをコピー	選択したブックマーク/履歴のURLをコピーします。
削除	選択したブックマークを削除します。
履歴から消去	選択した履歴を削除します。
ホームページとして設定	選択したブックマーク/履歴をホームページに設定します。 • ホームページは、ブラウザを起動したときや新しいウィンドウを開いたときに表示されます。
赤外線で送信	ブックマークを赤外線で送信します。

※表示される項目は画面や選択した項目により異なります。

ブラウザの設定をする

1 ブラウザ画面で MENU →[その他]→[設定]

2

テキストサイズ	ブラウザ画面に表示される文字サイズを設定します。
デフォルトの倍率	ブラウザ画面を表示したときのウェブページの解像度を設定します。
ページを全体表示で開く	画面に合わせてウェブページを全体表示するかどうかを設定します。
テキストエンコード	文字コードを選択します。
ポップアップウィンドウ	ポップアップウィンドウを表示するかどうかを設定します。
画像の読み込み	ウェブページ内の画像を表示するかどうかを設定します。
ページの自動調整	画面にあわせてウェブページの表示やサイズを自動調整するかどうかを設定します。
常に横向きに表示	ウェブページの表示を横表示で固定するかどうかを設定します。
JavaScriptを有効にする	JavaScriptが使用されているウェブページでプログラムを実行させるかどうかを設定します。
プラグインを有効にする	プラグインを有効にするかどうかを設定します。
バックグラウンドで開く	リンクを新しいウィンドウで開くときに、現在のウィンドウの後ろ側で開くかどうかを設定します。
ホームページ設定	ブラウザを起動したときや新しいウィンドウを開いたときに表示されるページを設定します。
キャッシュを消去	ウェブページの閲覧時に保存したキャッシュを削除します。
履歴消去	ブラウザの閲覧履歴をすべて消去します。
Cookieを受け入れる	Cookieの保存と読み取りを許可するかどうかを設定します。
Cookieをすべて消去	IS11PTに保存されているCookieをすべて削除します。
フォームデータを保存	フォームデータを保存するかどうかを設定します。
フォームデータを消去	IS11PTに保存されているフォームデータをすべて削除します。
位置情報を有効にする	位置情報のアクセスを有効にするかどうかを設定します。

位置情報をクリア	ウェブページからの位置情報アクセスをすべて削除します。
パスワードを保存	ウェブページの閲覧中に入力したユーザー名とパスワードを保存するかどうかを設定します。
パスワードを消去	IS11PTに保存されているユーザー名とパスワードをすべて削除します。
セキュリティ警告	安全性に問題があるウェブページを開くときに警告を表示するかどうかを設定します。
検索エンジンの設定	アドレスバーのキーワード検索で使用する検索エンジンを選択します。
ウェブサイト設定	サイトごとに、位置情報アクセスやダウンロードしたデータの削除をします。
初期設定にリセット	ブラウザのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。 • ブックマークや閲覧履歴、キャッシュなどのIS11PT本体に保存されたデータは削除されません。

有害サイトをブロックする

フィルタリング機能を利用して、青少年に不適切な出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断できます。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[無線とネットワーク]→[Webフィルタリング設定]

フィルタリング設定画面が表示されます。

2 [はい]

3 パスワード入力欄を選択→パスワードを入力→[OK]

4 パスワード入力欄を選択→パスワードを再入力→[OK]

削除いたします。

memo

◎フィルタリング機能は、Wi-Fi接続時は無効となります。

◎~~フィルタリング機能は、au.NET接続時のみ有効です。IS NET接続時は無効となります。~~

◎Webフィルタリング設定を有効にするときに入力したパスワードは、Webフィルタリング設定を無効にするときに必要です。お忘れにならないようにご注意ください。

◎フィルタリング設定が無効のときに表示したサイトは、Webフィルタリング設定を有効にしても表示されます。表示されないようにするには「キャッシュを消去」(▶P.122)を行ってください。

マルチメディア

カメラを利用する

このカメラでできること

IS11PTは、有効画素数約500万画素のCMOSカメラを搭載し、写真や動画の撮影ができます。
撮影した写真や動画はmicroSDメモリカードに保存されます。ギャラリー（▶P.133）で表示・再生したり、Bluetooth®やメール添付で送信したり、共有サイトにアップロードできます。

memo

◎ カメラを利用するときは、microSDメモリカードをIS11PTにセットしてください。（▶P.42「microSDメモリカードをセットする」）

■撮影できる写真のサイズ

用途に合わせて画像サイズを選択できます。

解像度	容量（目安）
5M（2560×1920）	2MB程度
4M（2240×1680）	1.5MB程度
3M（2048×1536）	1.2MB程度
2M（1600×1200）	800KB程度
1M（1280×960）	400KB程度
WVGA（800×480）	300KB程度
VGA（640×480）	240KB程度

■録画できる動画のサイズ

用途に合わせて録画モードを選択できます。

解像度	録画可能時間
720P（1280×720）	最大約60分
WVGA（800×480）	最大約60分
VGA（640×480）	最大約60分
QVGA（320×240）	最大約60分

memo

◎ microSDメモリカードの容量により録画時間が短くなる場合があります。

■プリントできます

microSDメモリカードに保存した画像をプリンターやDPEショップでプリントできます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- IS11PTを暖かい場所に長時間置いていて画像を撮影したり、保存したときは画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりますのでご注意ください。

- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- IS11PTのカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 自動でピントを合わせるオートフォーカスの他に、マクロ固定、無限遠固定への切り替えができます。マクロ固定は手元に、無限遠固定は風景など遠くにピント位置を固定できます。ピントを合わせにくい場合や、ピント合わせの時間をとることなくすばやく撮影したい場合は、マクロ固定、無限遠固定にしてください。また、マクロ固定を設定したまま通常の撮影は行わないでください。画像がぼやける場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - ・強い逆光のもとにある被写体
  - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - ・暗い場所にある被写体
  - ・動きが速い被写体
- モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、写真撮影時には、シャッター音が鳴ります。動画録画時も、録画開始時、終了時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な連続音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
- 写真撮影で写真モニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体の一部分が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 被写体によっては、うすい縞模様が入ることがありますが、保存する画像には影響ありません。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた写真などになる可能性があります。
- 不安定な場所にIS11PTを置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてIS11PTが落下するおそれがあります。
- プレビュー画面を表示したり、カメラを切り替えたり、カメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様がIS11PTのカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例/迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

写真を撮影する

1 ホーム画面で[ ]→[カメラ]

写真モニター画面が表示されます。

2 [ ]

自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴り、写真プレビュー画面が表示されます。
撮影したデータは自動的に保存されます。

memo

◎「フォーカスモード」(▶P.132)でオートフォーカスから無限遠固定/マクロ固定に変更できます。
◎写真モニター画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。
◎写真プレビュー画面で約2分間何も操作しないと写真モニター画面に戻ります。

動画を録画する

1 ホーム画面で[ ]→[動画撮影]

動画モニター画面が表示されます。

2 [ ]

録画中画面が表示されます。

3 [ ]/録画時間経過

動画プレビュー画面が表示されます。
録画したデータは自動的に保存されます。

memo

◎動画録画中に BACK を押すと、録画をキャンセルします。
◎録画中に録画可能時間を超えた場合、および電池残量が約5%以下になった場合は自動的に録画が停止しカメラを終了します。この場合、停止前までの動画は保存されます。
◎着信などにより録画が中断された場合は、着信前までの動画が保存されます。通話などの終了後に動画プレビュー画面が表示されます。
◎動画モニター画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。
◎動画プレビュー画面で約2分間何も操作しないと動画モニター画面に戻ります。

カメラ画面の見かた

画面をタップすると各種機能アイコンが表示されます。

《写真モニター画面》

《写真モニター画面》
(機能アイコン表示中)

マルチメディア

《動画モニター画面》　《動画モニター画面》(機能アイコン表示中)

① **特殊効果アイコン**:(連写撮影)　(インスタント)　(自動分割4枚)　(自動分割9枚)　(手動分割2枚)　(手動分割4枚)　(手動分割6枚)

② **電池残量アイコン**

電池残量が約15%以下になると表示されます。

③ **解像度アイコン**:(5M(2560×1920))　(4M(2240×1680))　(3M(2048×1536))　(2M(1600×1200))　(1M(1280×960))　(720P(1280×720))　(WVGA(800×480))　(VGA(640×480))　(QVGA(320×240))

④ **フォーカスモードアイコン**:(自動)　(無限遠(∞))　(マクロ)

⑤ **ホワイトバランスアイコン**:(屋外)　(曇りの日)　(蛍光灯)　(白熱灯)

⑥ **フィルターアイコン**:(モノクロ)　(セピア)　(ネガティブ)

⑦ **セルフタイマーアイコン**:(3秒)　(5秒)　(10秒)

⑧ **録画時間アイコン**:(10秒)　(30秒)　(1分)　(5分)　(10分)

⑨ **位置情報(GPS情報)アイコン**:(取得中)　(取得成功)　(取得失敗)

⑩ **撮影可能枚数(目安)**

⑪ **録画可能時間(目安)**

⑫ **オートフォーカス枠**

⑬ **写真撮影**

⑭ **動画録画開始/録画停止**:(録画開始)　(録画停止)

⑮ **カメラモード切替**

タップすると写真モード/動画モードを切り替えます。

⑯ **ズーム**

▶P.130「ズームイン/ズームアウトする」

⑰ **明るさ調整**

▶P.130「明るさを調整する」

⑱ **特殊効果設定**

▶P.130「連写/インスタント/分割撮影をする」

⑲ **機能設定**

▶P.131「ホワイトバランス/フィルター/セルフタイマー/録画時間を設定する」

⑳ **設定**

▶P.132「カメラを設定する」

㉑ **ギャラリー**

▶P.133「ギャラリーを利用する」

memo

◎表示される項目はカメラモードや画像サイズ、カメラの設定などにより異なります。
◎動画撮影の機能アイコンなどは、横表示のみ対応しています。
◎録画時間を「1時間」に設定した場合、録画時間アイコンは表示されません。

モニター画面でできること

ズームイン／ズームアウトする

1 写真モニター画面／動画モニター画面で画面をタップ→[ ]

ズームバーが表示されます。

2 ズームバーを左右にスライド

明るさを調整する

1 写真モニター画面／動画モニター画面で画面をタップ→[ ]

明るさ調整バーが表示されます。

2 明るさ調整バーを左右にスライド

連写／インスタント／分割撮影をする

画像サイズが「VGA（640×480）」のときは、連写／インスタント／分割撮影ができます。

1 写真モニター画面で画面をタップ→[ ]

撮影効果メニューが表示されます。

■ 連写をする場合

2 [連写撮影]

3 [ ]

自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴り、3枚の写真を連続撮影します。
写真プレビュー画面が表示されます。写真プレビュー画面で左右にフリックすると3枚の写真を確認できます。
撮影したデータはすべて自動的に保存されます。

■ インスタント撮影をする場合

2 [インスタント]

3 [ ]

自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴ります。
インスタント写真のようにゆっくりと画像が表示されます。表示が完了するとバイブレータでお知らせします。
画像の表示が完了した後、「 」／「 」をタップすると写真に文字やイラストを書いたり消したりすることができます。

4 [完了]

写真プレビュー画面が表示されます。
撮影したデータは自動的に保存されます。

■分割撮影をする場合

2 [分割撮影]

3 [自動分割4枚]／[自動分割9枚]／[手動分割2枚]／[手動分割4枚]／[手動分割6枚]

4 [完了]

5 [ ]

自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴り、分割撮影が開始されます。
「自動分割4枚」／「自動分割9枚」を選択した場合は、自動的に4枚／9枚の写真が連写されます。
「手動分割2枚」／「手動分割4枚」／「手動分割6枚」を選択した場合は、2枚／4枚／6枚の写真を1枚ずつ撮影できます。
分割撮影が完了すると、写真プレビュー画面が表示されます。
撮影したデータは自動的に保存されます。

memo

◎「分割撮影」で「手動分割2枚」／「手動分割4枚」／「手動分割6枚」を選択した場合、撮影途中で「」／「」をタップすると、撮影した写真をすべて／1枚ずつキャンセルできます。
◎「インスタント」で写真を撮影後、IS11PT本体を振ると早く画像が表示されます。振るときにIS11PT本体を落としたり、人や物に当てたりしないようにご注意ください。
◎「インスタント」で写真を撮影後、画面をタップするとすぐに画像が表示されます。
◎「フォーカスモード」(▶P.132)でオートフォーカスから無限遠固定／マクロ固定に変更できます。

ホワイトバランス／フィルター／セルフタイマー／録画時間を設定する

1 写真モニター画面／動画モニター画面で画面をタップ→[]

2

ホワイトバランス	自動	ホワイトバランスをオートに設定します。
	屋外	太陽光下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	曇りの日	曇りの日の屋外での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	蛍光灯	蛍光灯下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
	白熱灯	白熱灯下での撮影に適したホワイトバランスに設定します。
フィルター	一般	フィルターを無効にします。
	モノクロ	白黒写真が撮影できます。
	セピア	セピア写真が撮影できます。
	ネガティブ	色を反転した写真が撮影できます。
タイマー	Off	セルフタイマーをOFFにします。
	3秒	「」をタップしてから3秒後に撮影開始します。
	5秒	「」をタップしてから5秒後に撮影開始します。
	10秒	「」をタップしてから10秒後に撮影開始します。
録画時間	1時間	動画の録画時間を1時間に設定します。
	10秒	動画の録画時間を10秒に設定します。
	30秒	動画の録画時間を30秒に設定します。
	1分	動画の録画時間を1分に設定します。
	5分	動画の録画時間を5分に設定します。
	10分	動画の録画時間を10分に設定します。

3 [完了]をタップ

設定が完了します。

memo

◎「タイマー」は写真撮影のみ設定できます。
◎「録画時間」は動画撮影のみ設定できます。

写真に位置情報を付加して撮影する

1 写真モニター画面で画面をタップ→[]→[位置測位]

写真に現在地の位置情報(GPS情報)を付加する機能が有効になります。

GPS情報の取得中はが表示されます。
GPS情報の取得が完了するとが表示されます。
GPS情報の取得に失敗するとが表示されます。

2 [GPSアイコン]が表示されている状態で[カメラアイコン]

自動でピントを合わせた後、シャッター音が鳴り、写真プレビュー画面が表示されます。
GPS情報が付加された撮影データが自動的に保存されます。

memo

◎ 位置情報の取得後／取得失敗時に[アイコン]／[アイコン]→[GPS検索]と操作すると位置情報を再取得できます。

カメラを設定する

1 写真モニター画面／動画モニター画面で画面をタップ→[設定アイコン]

2

画像サイズ／動画サイズ	写真の解像度を設定します。 「5M(2560×1920)」「4M(2240×1680)」「3M(2048×1536)」「2M(1600×1200)」「1M(1280×960)」「WVGA(800×480)」「VGA(640×480)」 動画の解像度を設定します。 「720P(1280×720)」「WVGA(800×480)」「VGA(640×480)」「QVGA(320×240)」
フラッシュ	撮影時にモバイルライトを点灯するかどうかを設定します。
手ぶれ防止	撮影時に手ブレを軽減するかどうかを設定します。
フォーカスモード	ピント位置を設定します。 「自動」「無限遠(∞)」「マクロ」
周波数補正	蛍光灯の近くなどで撮影する場合、現在の地域の周波数を設定して、画面のちらつき(フリッカー)などを軽減することができます。 「自動」「50Hz」「60Hz」
位置測位	写真に位置情報を付加するかどうかを設定します。 ▶P.131「写真に位置情報を付加して撮影する」

※表示される項目はカメラモードにより異なります。

プレビュー画面でできること

写真プレビュー画面でできること

① **位置情報(GPS情報)アイコン**
写真に位置情報が付加されているときに表示されます。

② **ファイル名**

③ **ギャラリー**
▶P.133「ギャラリーを利用する」

④ **共有**
撮影した写真をBluetooth®やメール添付などで送信したり、Facebookやjibe、Picasaなどにアップロードします。

⑤ **設定**
撮影した写真をホーム画面の壁紙や電話帳の連絡先の画像に設定できます。

⑥ **削除**
撮影した写真を削除します。

《写真プレビュー画面》

マルチメディア

動画プレビュー画面でできること

《動画プレビュー画面》

① ファイル名
② ギャラリー
▶P.133「ギャラリーを利用する」
③ 共有
撮影した動画をBluetooth®やメール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
④ 再生
撮影した動画を再生します。
⑤ 削除
撮影した動画を削除します。

memo

◎写真プレビュー画面では、ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大ができます。（画像サイズが「WVGA（800×480）」／「VGA（640×480）」の場合は、縮小／拡大ができません。）
◎写真プレビュー画面／動画プレビュー画面で約2分間何も操作しないと写真モニター画面／動画モニター画面に戻ります。
◎使用できる機能はIS11PTの設定などにより異なります。
◎写真や動画のサイズにより、Bluetooth®やメール添付などでの送信、Facebookやjibe、Picasa、YouTubeなどへのアップロードができない場合があります。

ギャラリーを利用する

ギャラリーでは、microSDメモリカードに保存した画像や動画の表示や再生、共有、画像の編集などができます。

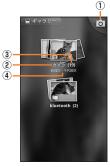
ギャラリーで画像や動画を表示／再生する

1 ホーム画面で[⬆]→[ギャラリー]

アルバム選択画面が表示されます。

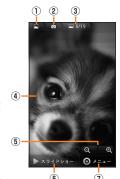
《アルバム選択画面》

① カメラ
タップするとカメラを起動します。
② アルバム名
③ アルバム内のデータ数
④ 撮影場所
撮影場所の位置情報が含まれるデータがある場合、撮影場所が表示されます。

マルチメディア

2 アルバムを選択

サムネイル表示画面が表示されます。

① **ギャラリー**
タップするとアルバム選択画面に戻ります。
② **アルバム名**
③ **サムネイル表示／日付表示切替**
タップするとサムネイル表示／日付表示を切り替えます。
④ **ページ切替**
左右にスライド／フリックするとサムネイルのページを切り替えます。

《サムネイル表示画面》

3 画像／動画を選択

画像を選択した場合は、画像1件表示画面が表示されます。
動画を選択した場合は、ビデオプレーヤー（▶P.136）が起動し、動画が再生されます。

① **ギャラリー**
タップするとアルバム選択画面に戻ります。
② **アルバム**
タップするとサムネイル表示画面に戻ります。
③ **件数／総データ数／ファイル名**
アルバム内の何枚目の画像か／アルバム内の総データ数を表示します。タップするとファイル名を表示します。

《画面1件表示画面》

④ **画像**
左右にフリックすると次の画像／前の画像を表示できます。
⑤ **縮小／拡大**
タップすると縮小／拡大します。ピンチイン／ピンチアウト、ダブルタップでも縮小／拡大できます。
⑥ **スライドショー**
▶P.134「画像をスライドショー表示する」
⑦ **メニュー**
▶P.135「画像1件表示画面のメニューを利用する」

※画面をタップすると①～③、⑤～⑦のアイコン／メニューを表示／非表示にできます。

画像をスライドショー表示する

1 画像1件表示画面で［スライドショー］

選択していた画像からアルバム内の最後の画像まで、順番にスライドショーで表示されます。
最後の画像を表示するとスライドショーは自動的に停止します。スライドショー表示中に画面をタップするとスライドショーを途中で停止できます。

memo

◎アルバム内の動画ファイルもサムネイル画像がスライドショー表示されます。

ギャラリーのメニューを利用する

アルバム選択画面のメニューを利用する

1 アルバム選択画面でアルバムをロングタッチ

ロングタッチしたアルバムのチェックボックスが有効になります。
別のアルバムをタップして複数のアルバムを選択することもできます。

2

全件選択	すべてのアルバムを選択します。	
全件解除	すべての選択を解除します。	
共有	選択したデータをBluetooth®やメール添付などで送信したり、Facebookやjibe、Picasa、YouTubeなどにアップロードします。	
削除	選択したアルバムを削除します。	
その他	詳細情報	選択したアルバムとアルバム内の画像／動画の詳細情報を表示します。

サムネイル表示画面のメニューを利用する

1 **サムネイル表示画面で画像／動画をロングタッチ**

ロングタッチした画像／動画のチェックボックスが有効になります。別の画像／動画をタップして複数のデータを選択することもできます。

2

全件選択	すべてのデータを選択します。	
全件解除	すべての選択を解除します。	
共有	選択したデータをBluetooth®やメール添付などで送信したり、Facebookやjibe、Picasa、YouTubeなどにアップロードします。	
削除	選択したデータを削除します。	
その他	詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。
	地図に表示	Googleマップで写真の撮影場所の地図を表示します。
	登録	選択した画像をホーム画面の壁紙や電話帳の連絡先の画像に設定できます。
	トリミング	選択した画像をトリミングします。
	左に回転	選択した画像を左に回転します。
	右に回転	選択した画像を右に回転します。

※表示される項目は選択したデータにより異なります。

画像1件表示画面のメニューを利用する

1 **画像1件表示画面で** (MENU)

2

共有	選択している画像をBluetooth®やメール添付などで送信したり、Facebookやjibe、Picasaなどにアップロードします。	
削除	選択している画像を削除します。	
その他	詳細情報	選択している画像の詳細情報を表示します。
	地図に表示	Googleマップで写真の撮影場所の地図を表示します。
	登録	選択している画像をホーム画面の壁紙や電話帳の連絡先の画像に設定できます。
	トリミング	選択している画像をトリミングします。
	左に回転	選択している画像を左に回転します。
	右に回転	選択している画像を右に回転します。

ビデオプレーヤーを利用する

ビデオプレーヤーでは、microSDメモリカードに保存した動画の再生ができます。
ビデオプレーヤーで再生できるファイル形式は、avi、divx、mp4、wmv、3gp、mkv、asf、3g2、m4v、webmです。

◎ウェブサイトやメール本文中の動画へのリンクをタップ→[ビデオプレーヤー]と操作してネットワーク上の動画をストリーミング再生することもできます。
◎データによっては再生できない場合があります。

動画を再生する

1 ホーム画面で[ ]→[ビデオプレーヤー]

ビデオプレーヤーが起動してすべての動画一覧画面が表示されます。

① **全てのファイル**
すべての動画一覧画面を表示します。

② **フォルダ**
フォルダ一覧画面を表示します。
フォルダ一覧画面で各フォルダをタップするとフォルダ内の動画一覧画面を表示します。

③ **ファイル名**

④ **サムネイル**

⑤ **再生時間**

⑥ **データサイズ**

《動画一覧画面》
（全てのファイル）

2 動画を選択

動画が再生されます。
動画の再生中に画面をタップするとコントローラーが表示されます。
動画の再生が完了すると動画一覧画面に戻ります。

《動画再生画面》
（コントローラー表示中）

① **ファイル名**

② **コントローラー**

③ **プログレスバー**
動画の再生位置が表示されます。
タップ／ドラッグして再生位置を指定できます。

④ **スキップ**
タップすると2分間隔のサムネイルが表示されます。サムネイルをタップするとその位置へスキップできます。

⑤ **前の動画／巻き戻し**
タップ：前の動画に移動します。
ロングタッチ：巻き戻しします。

⑥ **再生／一時停止**

⑦ **次の動画／早送り**
タップ：次の動画に移動します。
ロングタッチ：早送りします。

⑧ **表示サイズ切替**
表示サイズを切り替えます。
：オリジナルサイズ
：縦横比を保持して画面幅に合わせる
：全画面表示

◎ビデオプレーヤーの動画再生画面は、横表示のみ対応しています。
◎再生音量の調整は を押して操作してください。
◎前回再生時に10秒以上再生して途中で停止したファイルを選択した場合、続きから再生するかどうかの確認画面が表示されます。

◎字幕付きの動画の場合、自動的に字幕が表示されます。コントローラーの「Off」をタップすると字幕を非表示にできます。コントローラーの「同期」をタップすると字幕の表示タイミングを調節できます。
◎ネットワーク上の動画のストリーミング再生中は、プログレスバーにデータのダウンロード状況も表示されます。

ビデオプレーヤーのメニューを利用する

動画一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 動画一覧画面で MENU

2

選択データ再生	データを選択して再生します。複数の動画を選択することもできます。
共有	データを選択してBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
削除	データを選択して削除します。
設定	▶P.138「ビデオプレーヤーを設定する」
DivX VOD	DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するための製品登録コードと、登録解除コードを表示します。

■コンテキストメニューの場合

1 動画一覧画面で動画をロングタッチ

2

再生	選択したデータを再生します。
共有	選択したデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
削除	選択したデータを削除します。
詳細	選択したデータの詳細情報を表示します。

フォルダ一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 フォルダ一覧画面で MENU

2

選択データ再生	フォルダを選択してデータを再生します。複数のフォルダを選択することもできます。
共有	フォルダを選択してデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
削除	フォルダを選択して削除します。
設定	▶P.138「ビデオプレーヤーを設定する」
DivX VOD	DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するための製品登録コードと、登録解除コードを表示します。

■コンテキストメニューの場合

1 フォルダ一覧画面でフォルダをロングタッチ

2

再生	選択したフォルダのデータを再生します。
共有	選択したフォルダのデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
削除	選択したフォルダを削除します。
詳細	選択したフォルダの詳細情報を表示します。

動画再生画面のメニューを利用する

1 動画再生画面で MENU

2

共有	再生中のデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、YouTubeなどにアップロードします。
詳細	再生中のデータの詳細情報を表示します。
設定	▶P.138「ビデオプレーヤーを設定する」

ビデオプレーヤーを設定する

1 動画一覧画面／フォルダ一覧画面／動画再生画面で (MENU)→[設定]

2

字幕言語	字幕で表示する言語を選択します。	
リピート	リピートOFF	リピート再生を無効にします。
	1件リピート	選択した動画／再生中の動画をリピート再生します。
	全件リピート	すべての動画／フォルダ内のすべての動画をリピート再生します。
サウンド効果	▶P.186「NASHサウンド効果を設定する」	

◎「字幕言語」は、字幕に対応したデータの場合のみ選択できます。
◎「サウンド効果」は、イヤホン接続時やBluetooth®対応のヘッドセット･オーディオ機器などの使用時のみ有効になります。

ミュージックを利用する

ミュージックでは、microSDメモリカードに保存した音楽を再生できます。アルバム別、アーティスト別、ジャンル別、自分で作成したプレイリストなどの再生方法が選べます。
ミュージックで再生できるファイル形式は、mp3、m4a、wav、amr、awb、wma、ogg、aac、mka、3gpa、ac3、qcp、mid、midi、smf、imyです。

◎データによっては再生できない場合があります。

音楽を再生する

1 ホーム画面で[⬆]→[ミュージック]

すべての曲の再生リスト画面が表示されます。

《再生リスト画面》（すべての曲）

① **ソート切替キー**
タップすると曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／プレイリスト／ランキング／ムード／最多再生曲で楽曲をソートして再生リストを表示できます。
▶P.140「再生リストを切り替える」

② **現在再生中**
タップすると現在再生中の楽曲の楽曲再生画面が表示されます。

③ **楽曲情報**
楽曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されます。
再生中の楽曲の左側には▶が表示されます。

※すべての曲の再生リスト画面を例に説明しています。表示される項目や内容はソート方法や楽曲により異なります。

マルチメディア

2 楽曲を選択

楽曲が再生されます。

《楽曲再生画面》

① **ランキング**
タップして楽曲のランキング(お気に入り度)を設定します。
ランキングごとの再生リストが利用できます。

② **ジャケット表示**
アルバムジャケットを表示します。
左右にフリックするとアルバムを切り替えます。

③ **再生楽曲位置バー**
アルバム／アーティスト／ジャンルなどの再生リスト中の何曲目を再生しているかを表示します。
タップ／スライドすると別の曲に移動できます。

④ **楽曲情報**
楽曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されます。
ロングタッチするとYouTubeなどから楽曲を検索できます。
▶P.140「楽曲を検索する」

⑤ **プログレスバー**
楽曲の再生位置が表示されます。
タップ／スライドして再生位置を指定できます。

⑥ **ランダム再生**
(白色):ランダム再生を無効にします。
(水色):再生リスト中の楽曲をランダムに再生します。

⑦ **前の楽曲／巻き戻し**
タップ:前の楽曲に移動します。
ロングタッチ:巻き戻しします。

⑧ **再生／一時停止**

⑨ **次の楽曲／早送り**
タップ:次の楽曲に移動します。
ロングタッチ:早送りします。

⑩ **リピート再生**
: リピート再生を無効にします。
: 再生リスト中の全曲をリピート再生します。
: 再生中の1曲をリピート再生します。

memo

◎再生音量の調整は を押して操作してください。

BGMとして音楽を再生する

BGMとして音楽の再生を続けたまま、別のアプリケーションを使用できます。

1 楽曲再生画面で楽曲を再生中に(HOME)

楽曲が再生されたままホーム画面が表示されます。ステータスバーには▶が表示されたままになります。
この状態で別のアプリケーションを起動することができます。
ミュージックを再度表示するには、ホーム画面で[ ]→[ミュージック]と操作してください。

memo

◎楽曲再生画面で(BACK)を数回押してホーム画面に戻った場合も音楽をBGM再生できます。
◎音楽をBGM再生中にステータスバーを下へスライド→通知／ステータスパネルの楽曲情報をタップと操作してもミュージックを再表示できます。
◎ホーム画面にミュージックウィジェットを追加すると、ホーム画面でBGM再生を操作できます。
◎スイッチ付きのステレオイヤホン(別売)を接続して再生の操作を行うと楽曲がBGM再生されます。ステレオイヤホン(別売)によっては、操作できない場合があります。
◎ビデオプレーヤーなど、起動するアプリケーションによっては、BGM再生が停止する場合があります。

楽曲を検索する

アーティスト名/アルバム名/楽曲名を指定して、microSDメモリカードに保存されている楽曲やYouTube、インターネット上などの情報を検索できます。

1 楽曲再生画面でアーティスト名/アルバム名/楽曲名をロングタッチ

検索するアプリケーションの選択画面が表示されます。

2 検索するアプリケーションを選択

検索結果が表示されます。

再生リストを切り替える

再生リスト画面上部のソート切替キーをタップすると、再生リストの表示内容を切り替えることができます。アルバム/アーティスト/ジャンルなどで絞り込んで楽曲を再生することができます。

1 再生リスト画面でソート切替キーをタップ

2

曲	すべての曲が再生リストに表示されます。
アルバム	アルバム一覧画面が表示されます。アルバムを選択するとアルバム内の楽曲のみが再生リストに表示されます。
アーティスト	アーティスト一覧画面が表示されます。アーティストを選択すると同一アーティストの楽曲のみが再生リストに表示されます。
ジャンル	ジャンル一覧画面が表示されます。ジャンルを選択すると同一ジャンルの楽曲のみが再生リストに表示されます。
プレイリスト	プレイリスト一覧画面が表示されます。プレイリストを選択するとプレイリストに登録した楽曲のみが再生リストに表示されます。 ・プレイリストの作成などの方法については「プレイリストを利用する」(▶P.140)をご参照ください。
ランキング	ランキング一覧画面が表示されます。ランキングを選択すると同一ランキングレベルの楽曲のみが再生リストに表示されます。
ムード	ムード一覧画面が表示されます。ムードを選択すると同じ雰囲気の楽曲のみが再生リストに表示されます。
最多再生曲	再生回数が多い順に、上位50曲が再生リストに表示されます。

プレイリストを利用する

自分で選んだ曲を組み合わせてオリジナルのプレイリストを作成できます。

プレイリストを作成する

1 再生リスト画面でソート切替キーをタップ→[プレイリスト]

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 MENU→[プレイリスト作成]

3 プレイリスト名を入力→[完了]

4 プレイリストに追加する楽曲を選択→[追加]

■プレイリストに楽曲を追加する

1 プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択

2 MENU→[追加]

3 プレイリストに追加する楽曲を選択→[追加]

■プレイリストから楽曲を削除する

1 プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択

2 (MENU)→[除去]

3 プレイリストから削除する楽曲を選択→[完了]

プレイリストを削除する

1 プレイリスト一覧画面で(MENU)→[削除]

2 削除するプレイリストを選択→[完了]

memo

◎アルバム／アーティスト／ジャンル／ランキング／ムードを選択してプレイリストに追加した場合は、これらに含まれるすべての曲がプレイリストに追加されます。
◎プレイリストから楽曲を削除したり、プレイリストを削除しても、microSDカード内の楽曲データは削除されません。

ミュージックのメニューを利用する

アルバム／アーティスト／ジャンル／ランキング／ムード一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 アルバム／アーティスト／ジャンル／ランキング／ムード一覧画面で(MENU)

2

削除	項目を選択して削除します。
設定	▶P.143「ミュージックを設定する」

※表示される項目は画面により異なります。

■コンテキストメニューの場合

1 アルバム／アーティスト／ジャンル／ランキング／ムード一覧画面で項目をロングタッチ

2

全曲再生	選択した項目を全曲再生します。
削除	選択した項目を削除します。
プレイリスト	選択した項目をプレイリストに追加します。

※表示される項目は画面により異なります。

アルバム／アーティスト／ジャンル／ランキング／ムード／最多再生曲の再生リスト画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 アルバム／アーティスト／ジャンル／ランキング／ムード／最多再生曲の再生リスト画面で(MENU)

2

削除	楽曲を選択して削除します。
設定	▶P.143「ミュージックを設定する」

※表示される項目は画面により異なります。

■コンテキストメニューの場合

1 アルバム／アーティスト／ジャンル／ランキング／ムード／最多再生曲の再生リスト画面で楽曲をロングタッチ

2

再生	選択した楽曲を再生します。
着信音設定	選択した楽曲を着信音に設定します。
プレイリスト	選択した楽曲をプレイリストに追加します。
共有	選択した楽曲をBluetooth®やメール添付などで送信します。
削除	選択した楽曲を削除します。
曲情報	選択した楽曲の詳細情報を表示します。

※表示される項目は画面により異なります。

プレイリスト一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 プレイリスト一覧画面でMENU

2

削除	プレイリストを選択して削除します。
設定	▶P.143「ミュージックを設定する」
プレイリスト作成	▶P.140「プレイリストを作成する」

■ コンテキストメニューの場合

1 プレイリスト一覧画面でプレイリストをロングタッチ

2

全曲再生	選択したプレイリストを全曲再生します。
削除	選択したプレイリストを削除します。
プレイリストに追加	選択したプレイリストに楽曲を選択して追加します。
プレイリストから除去	選択したプレイリストから楽曲を選択して削除します。
プレイリスト名変更	選択したプレイリストの名前を変更します。

プレイリストの再生リスト画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 プレイリストの再生リスト画面でMENU

2

追加	選択しているプレイリストに楽曲を選択して追加します。
除去	選択しているプレイリストから楽曲を選択して削除します。
プレイリスト名変更	選択しているプレイリストの名前を変更します。
並び変え	選択しているプレイリストの楽曲を並び替えます。
設定	▶P.143「ミュージックを設定する」

■ コンテキストメニューの場合

1 プレイリストの再生リスト画面で楽曲をロングタッチ

2

再生	選択した楽曲を再生します。
共有	選択した楽曲をBluetooth®やメール添付などで送信します。
リストから除去	選択した楽曲をプレイリストから削除します。
曲情報	選択した楽曲の詳細情報を表示します。

楽曲再生画面のメニューを利用する

1 楽曲再生画面で(MENU)

2

項目	説明
現在プレイリスト	再生中の楽曲が含まれる再生リスト画面を表示します。
プレイリストに追加	再生中の楽曲をプレイリストに追加します。
設定	▶P.143「ミュージックを設定する」
曲情報	再生中の楽曲の詳細情報を表示します。

ミュージックを設定する

1 再生リスト画面／楽曲再生画面で(MENU)→[設定]

2

項目		説明
シャッフル	再生リスト中の楽曲のランダム再生の有効／無効を設定します。	
リピート	リピートなし	リピート再生を無効にします。
	1曲リピート	1曲をリピート再生します。
	全曲リピート	再生リスト中の全曲をリピート再生します。
サウンド効果	▶P.186「NASHサウンド効果を設定する」	

memo

◎アルバム／アーティスト／ジャンル／プレイリスト／ランキング／ムード一覧画面で(MENU)→[設定]と操作しても設定画面を表示できます。

◎「サウンド効果」は、イヤホン接続時やBluetooth®対応のヘッドセット・オーディオ機器などの使用時のみ有効になります。

アプリケーション

Googleマップを利用する

Googleが提供するオンライン地図サービスです。地図上で現在地を確認したり、目的地までの経路を確認したりできます。また、航空写真や渋滞情報などのレイヤを地図に重ねて表示できます(データ提供エリアのみ)。

- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページや、Googleマップ画面で MENU →[その他]→[ヘルプ]と操作して、Googleマップのヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面で[ ]→[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。
マップの新機能画面が表示された場合は、「OK」をタップするとGoogleマップ画面が表示されます。
IS11PTの「現在地情報とセキュリティ」で、「無線ネットワークを使用」や「GPS機能を使用」が無効に設定されていたり、「Wi-Fi」が無効に設定されていると、「現在地機能を改善」画面が表示されます。できるだけ正確な現在位置を取得するためには「設定」をタップしてください。「現在地情報とセキュリティ」(▶P.187)または「無線とネットワークの設定」(▶P.182)が表示されます。

memo

◎「GPS機能を使用」を有効にすると、電池の消耗が激しくなります。Googleマップなど GPS機能を利用するアプリケーションを終えたら、無効に設定し直すことをおすすめします。

Google Latitudeを利用する

Googleが提供する、「Googleマップ」と連携したオンライン位置情報サービスです。友だちと位置を確認しあったり、メールを送信したりできます。また、友だちの位置までの移動経路を検索することもできます。

- Google Latitudeの利用にはGoogleアカウントが必要です。(▶P.192「アカウントを追加する」)
- Google Latitudeを利用するには、「現在地情報とセキュリティ」で「GPS機能を使用」や「無線ネットワークを使用」を有効にする必要があります。(▶P.187)
- 現在地情報を共有するには、Latitudeに参加して現在地情報を共有する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

Latitudeに参加する

1 ホーム画面で[ ]→[Latitude]

Latitude画面が表示されます。
現在地の共有を許可するかどうかのリクエスト通知があった場合は、項目を選択します。
Latitude起動時にGoogleマップ画面が表示された場合は、MENU →[Latitude]と操作すると、Latitude画面が表示されます。

友だちを招待する

現在地情報を共有する友だちを招待します。自分が招待した友だち、または自分を招待した友だちとのみ、現在地情報の共有ができます。

1 Latitude画面で MENU →[友だちを追加]

■ 連絡先から選択して追加する場合

2 [連絡先から選択]→相手を選択→[はい]

■ メールアドレスを入力して追加する場合

2 [メールアドレスから追加]→メールアドレスを入力→[送信]→[はい]

招待に応じる

友だちからLatitudeで現在地情報を共有する招待を受けたときには、共有方法を設定できます。

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの現在地情報を地図上に表示して確認できるように設定します。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分の現在地情報は共有せず、友だちの現在地情報のみ確認できるように設定します。
承認しない	招待を辞退し、お互いの現在地情報を共有しません。

友だちの現在地情報を確認する

■友だちの詳細情報／接続オプションを表示する

1 Latitude画面で友だちを選択

友だちのプロフィール画面が表示されます。

■友だちの位置を地図に表示する

1 Latitude画面で友だちを選択→MENU→[地図を表示]

共有情報などを管理する

1 Latitude画面で自分を選択

2

チェックイン	チェックインする場所を一覧から選択したり、自分で検索できます。
ロケーション履歴の表示	自宅／職場／外出として過ごした先週の時間や週平均時間を表示します。ロケーション履歴は非公開情報です。
現在地を他のユーザーに送信する	現在地をBluetooth®やメールなどで送信します。
プライバシー設定を編集	現在地の設定方法や、ロケーション履歴の有効／無効、チェックインの各種設定を行います。またLatitudeのログアウトが行えます。
写真を変更	自分の写真を撮影したり、ギャラリーから選択して変更します。

Googleトークを利用する

Googleが提供するオンラインチャットサービスです。友だちとして登録した相手とチャットすることができます。

- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です。(▶P.192「アカウントを追加する」)
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面で[]→[トーク]

トーク画面が表示されます。

memo

◎自分のGmailアドレスをタップすると、自分のステータス(オンライン／取り込み中／非表示)を変更できます。

友だちを追加する

■友だちを招待する

Googleアカウントを持っている相手を招待し、友だちとして追加します。

1 トーク画面でMENU→[友だちを追加]

2 招待状を送る友だちのGmailアドレスを入力→[招待状を送信]

memo

◎ トーク画面で(MENU)→[その他]→[招待]と操作すると、返信待ちの相手を確認できます。

■招待状を表示／承認する

招待状を受信すると、ステータスバーにお知らせアイコンが表示されます。

1 ステータスバーを下にスライド→招待状を選択

招待状が表示されます。

2 [承諾]

memo

◎ トーク画面で「チャットへの招待」をタップしても、未返信の招待状が表示されます。

◎「キャンセル」をタップすると招待を断ることができます。「ブロック」をタップすると相手を拒否できます。

チャットする

■チャットを開始する

1 トーク画面でチャットする友だちを選択

チャット画面が表示されます。

2 メッセージを入力→[送信]

■チャットを終了する

1 チャット画面で(MENU)→[チャット終了]

Googleトークの設定を変更する

1 トーク画面で(MENU)→[設定]

2

自動ログイン	IS11PTの電源を入れたときに自動的にGoogleトークにログインするかどうかを設定します。
モバイルインジケーター	Android端末からのメッセージ送信であることを相手に表示するかどうかを設定します。
不在への自動切り替え	ディスプレイ消灯時にステータスを不在に切り替えるかどうかを設定します。
検索履歴を消去	以前のチャット検索を消去します。
チャットの通知	チャット受信時にステータスバーのアイコンと受信音、バイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。
着信音を選択	「チャットの通知」が有効な場合、メッセージ受信音を設定します。
バイブレーション	「チャットの通知」が有効な場合、メッセージ受信時のバイブレータの動作条件を設定します。
招待通知	友だちからの招待を受信したときに、ステータスバーでお知らせするかどうかを設定します。
利用規約とプライバシー	Google利用規約などを表示します。

Googleプレイスを利用する

Googleが提供するオンライン情報サービスです。現在地周辺のお店や施設を検索して、場所に関する詳細情報を得ることができます。電話をかけたり、地図上に表示したり、経路検索もできます。

- Googleプレイスを利用するには、Googleアカウントが必要です。（▶P.192「アカウントを追加する」）

- Googleプレイスを利用するには、「現在地情報とセキュリティ」で「GPS機能を使用」や「無線ネットワークを使用」を有効にする必要があります。（▶P.187）
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

ジャンルから周辺の施設を検索する

1 ホーム画面で[⬆]→[プレイス]

検索画面が表示されます。

2 ジャンルを選択

検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補を選択

詳細画面が表示されます。

memo

◎ 検索結果一覧画面で MENU →[地図を表示]と操作すると、検索結果一覧を地図上に表示します。

検索するジャンルを追加する

検索画面に、ジャンルを追加することができます。

1 検索画面で[追加]

2 ジャンルを入力→[追加]

追加したジャンルでの検索が可能になります。

キーワードで検索する

お店の名前や施設名などを入力して、検索できます。

1 検索画面で[場所を検索]

2 キーワードを入力→[🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補を選択

詳細画面が表示されます。

Googleマップ ナビを利用する

Googleが提供する、「Googleマップ」と連携した音声ガイダンス付きのオンラインナビゲーションサービスです。現在地から設定した目的地までのカーナビゲーションが利用できます。

- Googleマップ ナビを利用するには、Googleアカウントが必要です。（▶P.192「アカウントを追加する」）
- Googleマップ ナビを利用するには、「現在地情報とセキュリティ」で「GPS機能を使用」や「無線ネットワークを使用」を有効にする必要があります。（▶P.187）
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

ルートを検索する

1 ホーム画面で[⬆]→[ナビ]

初めて利用する場合は、利用の注意・確認画面が表示されます。「同意する」をタップしてください。
ナビ画面が表示されます。

2

目的地を音声入力	目的地を送話口(マイク)に向かって話します。音声認識結果が正しい場合は「開始」をタップすると、運転経路の検索を開始します。
目的地を入力	キーワードを入力します。複数候補がある場合は、一覧から選択すると、運転経路の検索を開始します。
連絡先	住所が登録されている連絡先を選択して、目的地を選択します。
スター付きの場所	Googleマップなどでスターを付けた場所の一覧から、目的地を選択します。

memo

◎お客様が自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中は、大変危険を伴いますので、携帯電話の操作(注視を含む。以下同じ)をしないでください。携帯電話の操作を行う場合は、安全な場所に自動車などを停止させてください。
◎自動車または原動機付自転車の運転中に携帯電話の操作をしたり画面を注視することは法律で禁止されています。
◎お客様がau電話操作中に事故を起こした場合であっても、当社は一切の責任を負いません。
◎スター付きの場所は、GoogleマップやGoogleプレイスで場所や施設の情報表示時に、☆をタップするとスター付きの場所として登録できます。

Googleカレンダーを利用する

Googleが提供するオンラインカレンダーサービスです。スケジュールの管理ができます。
ホーム画面にカレンダーウィジェットとして表示することもできます(▶P.52「ウィジェットを利用する」)。ウィジェット設定時に、カレンダーのスタイルを3タイプから選択できます。

- Googleカレンダーを利用するには、Googleアカウントが必要です。(▶P.192「アカウントを追加する」)
- 「アカウントと同期」(▶P.191)を利用して、サーバに保存されたカレンダーとIS11PTのカレンダーを同期してスケジュール管理ができます。
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で[⬆]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

1ヶ月表示の場合：　画面を上／下にスライドさせると、次月／前月を表示します。
1週間／1日表示の場合：画面を左／右にスライドさせると、次週／前の週または次の日／前日を表示します。

■カレンダーの内容について

① **今日の日付**
背景が濃い灰色で表示されます。
② **選択されている日付**
背景がオレンジ色で表示されます。
③ **予定が登録されている日付**
登録した予定がある場合、予定の時間帯に青い帯が表示されます。

《1ヶ月表示の場合》

memo

◎1週間／1日表示の場合、現在時刻が赤い線で表示され、予定の時間帯にタイトルが表示されます。

■表示単位を変更する

1 カレンダー画面で MENU

2 ［日］／［週］／［月］

予定を登録する

1 カレンダー画面で登録したい日付／時間をロングタッチ

2 ［予定を作成］

3

タイトル	予定のタイトルを入力します。
開始	開始日時を設定します。
終了	終了日時を設定します。（初期値は開始時の1時間後に設定されます。）
タイムゾーン	「開始」および「終了」の時間のタイムゾーンを設定します。
終日	「開始」「終了」を設定せず、予定を終日にします。
場所	予定の場所を入力します。
内容	予定の詳細な内容を入力します。
カレンダー	複数のアカウント／カレンダーがある場合は、予定を登録するアカウント／カレンダーを設定します。
ゲスト	予定に招待する人のメールアドレスを入力します。「,」（カンマ）で区切って複数入力できます。予定の登録が完了すると、ゲスト宛に招待状メールが自動送信されます。
繰り返し	予定の繰り返しを設定します。
通知	開始日時のどれくらい前にアラーム音やステータスバー（通知／ステータスパネル）で予定を通知するかを設定します。「通知を追加＋」をタップすると複数設定できます。「－」をタップすると通知設定を削除できます。

4 ［完了］

memo

◎カレンダー画面で MENU →［その他］→［予定を作成］と操作しても、予定を登録できます。
◎予定の登録画面で MENU →［詳細項目を表示］と操作すると、外部向け表示（予定あり／予定なし）、公開設定（既定／限定公開／一般公開）の設定ができます。

登録した予定を確認／編集する

1 カレンダー画面で MENU →［予定リスト］

予定リストが表示されます。

2 予定を選択

予定の詳細画面が表示されます。

3 MENU

4

通知を追加	通知を追加します。
予定を編集	登録した予定を編集します。
予定を削除	登録した予定を削除します。
共有	予定をBluetooth®やメール添付などで送信します。

memo

◎1ヶ月表示カレンダー画面で、予定が登録されている日付をタップしても、予定リストが表示されます。
◎1週間／1日表示カレンダーでは、予定をタップするだけで、予定の詳細画面が表示されます。

カレンダーの設定をする

通知音などの設定変更ができます。

1 カレンダー画面で MENU →[その他]→[設定]

2

辞退した予定を非表示	辞退した予定を非表示にします。
自宅タイムゾーン	海外旅行中も自宅のタイムゾーンで予定日時を表示します。
自宅タイムゾーン	上の「自宅タイムゾーン」が有効の場合、自宅のタイムゾーンを設定します。
通知方法	予定の通知方法を選択します。
着信音を選択	予定通知時のアラーム音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレータの動作条件を設定します。
デフォルトの通知時間	「通知」設定·追加時のデフォルトの時間を設定します。
ビルドバージョン	ソフトウェアのバージョンが表示されています。

ニュースと天気を利用する

Googleが提供するニュースと天気予報のサービスです。

• 天気予報の地域設定の初期値は「現在地情報を使用」になっています。「現在地情報とセキュリティ」で「GPS機能を使用」や「無線ネットワークを使用」を有効にしてください。(▶P.187)

天気予報を見る

1 ホーム画面で[ ]→[ニュースと天気]

天気予報画面が表示されます。

memo

◎天気予報画面をタップすると、週間予報画面と24時間の予報グラフ画面を切り替えることができます。

ニュースを見る

1 天気予報画面で左にフリック

カテゴリ別にニュースが一覧表示されます。

左右フリックの他、「トップニュース」、「スポーツ」などのタブをタップして、カテゴリを選択することもできます。

2 記事を選択

ブラウザが起動し、ニュースの詳細が表示されます。

ニュースと天気の設定をする

1 天気予報画面またはニュースの一覧画面で MENU

2 [設定]

3

天気予報の設定	現在地情報を使用	天気予報の地域を現在地情報を元に設定するかどうかを設定します。
	位置情報の設定	「現在地情報を使用」しない場合に、都市名をアルファベット入力で設定します。(日本国内の郵便番号には対応していません。)
	メートル法を使用	気温や風速を摂氏/華氏、m/マイルのどちらで表示するか設定します。

ニュースの設定	ニューストピックの選択	表示するニュースのカテゴリを設定します。
	記事のプリフェッチ	短時間で表示するために、記事を事前に読み込むかどうかを設定します。
	画像のプリフェッチ	短時間で表示するために、画像を事前に読み込むかどうかを設定します。
	ニュース利用規約	ブラウザを起動してニュースの利用規約を表示します。
	モバイル版プライバシーポリシー	ブラウザを起動してモバイル版プライバシーポリシーを表示します。
更新の設定	自動更新	ニュースと天気予報を自動更新するかどうかを設定します。
	更新間隔	自動更新時の更新周期を設定します。
	ステータスの更新	最後に更新した日時を表示しています。
アプリケーションのバージョン		「ニュースと天気」アプリケーションのバージョンを表示しています。

アラーム／時計を利用する

「アラーム／時計」では、時刻の表示、天気予報、アラーム、スライドショー、ミュージックプレーヤーなど、卓上のアクセサリー機能が利用できます。

1 卓上ホルダにIS11PTを差し込む／ホーム画面で[⬆]→[アラーム／時計]

卓上時計画面が表示されます。

■ 卓上時計画面について

《卓上時計画面》

① **時刻・日付**

② **天気**
現在の天気、気温、最高気温、最低気温を表示します。
タップすると、「ニュースと天気」（▶P.152）が起動します。

③ **アラーム**
▶P.154「アラームを設定する」

④ **スライドショー**
ギャラリーの写真を拡大しながら次々と表示します。

⑤ **ミュージックプレーヤー**
▶P.138「ミュージックを利用する」

⑥ **ホーム**
ホーム画面に戻ります。

⑦ **アラームアイコン**
アラームを設定すると表示されます。

⑧ **画面を暗くする**
タップすると、画面の明るさを最小にします。画面のいずれかをタップすると、元の明るさに戻ります。

⑨ **電池残量　充電中アイコン**
充電中のみ表示します。

memo

◎ どの画面からも、卓上ホルダにIS11PTを差し込むと「アラーム／時計」が起動します（横長画面）。

◎ 卓上ホルダ使用時は、⑤のミュージックプレイヤー機能と⑥の「ホーム」メニューはありません。②の天気をタップしても「ニュースと天気」は起動しません。また、スライドショー画面やアラーム画面で(HOME)を押すと、卓上時計画面に戻ります。

◎卓上時計画面時は、「バックライト消灯」(▶P.187)の設定に従い消灯します。「バックライト消灯」が「常時点灯」に設定されている場合は、約5分経過すると、待受画面モード(時刻・日付のみを暗緑色で表示)になります。卓上ホルダ使用時は、「バックライト消灯」の設定にかかわらず、約5分経過すると待受画面モードになります。
◎スライドショー実行時は、バックライトが消灯したり、待受画面モードになることはありません。
◎IS11PTを卓上ホルダに差し込んだまま発信したり、電話を受けたり、通話をしないでください。

アラームを設定する

指定した時刻をアラーム音でお知らせします。アラームは5件まで登録できます。

1 卓上時計画面で[時計アイコン]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 「Off」状態のアラームを選択→時・分を設定

数字を直接入力、ドラムをフリック、[▲]／[▼]をタップ、のいずれかの方法で設定します。

3 [完了]

アラームが自動的に「On」になります。

memo

アラームを設定した時刻になると

◎アラーム音が鳴ります。「停止」をタップするか、約10分経過すると鳴り止みます。
◎アラームを設定した時刻に電源がOFFの場合は鳴りません。
◎アラームを設定した時刻になったときに通話中だった場合は、画面のみ表示されます。アラーム設定時刻から10分以内に通話を終了した場合は、通話終了後に鳴動します。

アラームON／OFFの設定

◎アラームを停止しても、「Off」にしない限り翌日もアラームが起動します。
◎アラーム一覧画面で、「On」／「Off」をタップすると、アラームの有効／無効が設定できます。

Androidマーケットを利用する

Googleが運営するアプリケーションの配信サービスです。IS11PTで動作するアプリケーションを有料または無料でダウンロードできます。

- Androidマーケットを利用するには、Googleアカウントが必要です。(▶P.192「アカウントを追加する」)
- 利用方法などの詳細についてはGoogleのホームページや、Androidマーケット画面で(MENU)→[ヘルプ]と操作して、Androidマーケットのヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面で[⬆]→[マーケット]

Androidマーケット画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意する」をタップしてください。

memo

◎microSDメモリカードをセットしていないと利用できないアプリケーションもあります。
◎アプリケーションの中には、動作中、スリープ状態に入らなくなったり、バックグラウンドで動作し電池の消耗が激しくなるものがあります。
◎アプリケーションが不要になったときは、アンインストールすることができます。(▶P.191「アプリケーションの管理」)

アプリケーションを検索する

Androidマーケット画面には、「注目」のアプリケーション一覧、「アプリケーション」「ゲーム」「au」カテゴリへのリンクが表示されます。
「注目」のアプリケーション一覧は、上下方向にスクロールして確認できます。「アプリケーション」「ゲーム」を選択したときは、ジャンルを選択後、「有料アプリケーション」「無料アプリケーション」「新着」から選択します。

無料アプリケーションをインストールする

1 Androidマーケット画面でダウンロードするアプリケーションを選択

2 アプリケーションの情報を確認→[無料]→[OK]

アプリケーションのダウンロードとインストールが開始されます。ステータスバーを下にスライドさせると、ダウンロード/インストールの状況が確認できます。

memo

◎インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

◎インストールが完了すると、ランチャーメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。

アプリケーションを購入する

有料のアプリケーションをダウンロードするには、Googleチェックアウトアカウントを作成する必要があります。

1 Androidマーケット画面で購入するアプリケーションを選択→価格をタップ→[OK]

アプリケーションの初回購入時には、Googleチェックアウト支払い請求サービスにログインする必要があります。画面の指示に従って操作してください。

- 購入するアプリケーションによって、操作方法が異なる場合があります。

memo

◎アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後にアンインストールしたアプリケーションの再ダウンロードには料金はかかりません。

◎IS11PTにはGoogleチェックアウトパスワードが記憶されます。画面ロック(▶P.189)を設定し、IS11PTのセキュリティを確保してください。

■返金を請求する

購入後、一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションはIS11PTからアンインストールされます。

- 詳細については、Androidマーケット画面でMENU→[ヘルプ]と操作して、Androidマーケットのヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

memo

◎返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

au one Marketを利用する

au one Marketは、KDDI(au)が運営するauのAndroid搭載スマートフォン用のアプリケーション配信サイトです。IS11PTで動作するアプリケーションを有料または無料でダウンロードできます。
目的のアプリケーションを、カテゴリやキーワードから検索したり、ランキングから探すことができます。

- 一部の機能を利用するには、au one-IDが必要になります。(▶P.197「au one-IDを設定する」)

1 ホーム画面で[ ]→[au one Market]

au one Market画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意」をタップしてください。「ご利用にあたっての注意点」が表示された場合は「OK」をタップしてください。

memo

◎au one Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリケーションの決済方法は、アプリケーションの配信元によって異なります。
◎microSDメモリカードをセットしていないと利用できないアプリケーションもあります。

GREEマーケットを利用する

GREEマーケットでは、au one GREEやGREEの無料ゲームなどを簡単に探すことができます。

1 ホーム画面で[ ]→[GREEマーケット]

GREEマーケットのトップ画面が表示されます。
画面内のコーナーから利用したいゲームなどを探すことができます。

memo

◎GREEマーケットで探したゲームを利用するには、au one GREEの会員登録が必要となる場合があります。

YouTubeを利用する

オンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生や撮影した動画のアップロードができます。動画の検索には、キーワード入力やカテゴリ別表示などが利用できます。

1 ホーム画面で[⬆]→[YouTube]

YouTube画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意する」をタップしてください。

2 再生する動画を選択

◎動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要です。ブラウザを使って、あらかじめYouTubeアカウントを取得してください。

Facebookを利用する

Facebookは実名登録が原則のソーシャルネットワークサービスです。友だちの近況をチェックしたり、同じ趣味の人を見つけたり、同級生や同僚などの知り合いと連絡を取り合うことができます。

- Facebookの利用には、メールアドレスが必要です。

Facebookのアカウントを取得する

1 ホーム画面で[⬆]→[Facebook]

初回起動時には、エンドユーザーライセンス契約が表示されますので「同意します」をタップしてください。
ログイン画面が表示されます。

2 [アカウントをお持ちでない場合 登録]

3 各項目を入力→[アカウント登録]

登録したメールアドレスに、Facebookからメールが届きます。

4 メール内のリンクをタップ

画面の指示に従って操作してください。

Facebookにログインする

1 ホーム画面で[⬆]→[Facebook]

初回起動時には、エンドユーザーライセンス契約が表示されますので「同意します」をタップしてください。
ログイン画面が表示されます。

2 メールアドレス、パスワードを入力→[ログイン]

Facebook画面が表示されます。

jibeを利用する

電話帳やTwitter、Facebookなどの複数の友だちリストを管理することができます。
複数のSNSの友だちの投稿やメッセージ、ブログなどをまとめて閲覧したり、一度に投稿したりできます。

- jibeの利用には、au one-IDもしくはメールアドレス(Eメールアドレス、PCメールアドレス)が必要です。au one-IDについては「au one-IDを設定する」(▶P.197)、Eメールアドレスについては「Eメールの初期設定をする」(▶P.88)をご参照ください。

1 ホーム画面で[⬆]→[jibeアドレス帳]

初回起動時には、許可画面と利用規約が表示されますので[同意する]→[同意する]と操作してください。

■ au one-IDを利用する場合

2 [au one-ID]

3 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

パスワードの保存確認画面が表示されます。

4 [今は保存しない]/[保存]/[保存しない]

ご利用の注意画面が表示されます。

5 [同意する]

■ メールアドレスを利用する場合

2 [新規登録はこちら]

3 各項目を入力

4 [新規登録]

Skype™ | auを利用する

Skype™ | auを利用した通話や、インスタントメッセージでチャットを行うことができます。

- 利用方法などの詳細については、Skype™やauのホームページ、もしくはSkype™ | auのメイン画面で MENU →[ヘルプ]と操作してSkype™ | auのヘルプをご参照ください。

memo

◎ 海外の一般電話に発信する場合は、別途Skype™クレジットが必要となります。

◎ 国内の一般電話に発信する場合は、通常のau電話として発信/課金されます。

1 ホーム画面で[ ]→[Skype]

初回起動時には説明画面が表示されますので、「同意する」→[続行]と操作してください。

2 Skype™のアカウントを入力

Skype™のアカウントをすでに取得されている場合は、Skype名とパスワードを入力して「サインイン」をタップします。

Skype™のアカウントをお持ちでない場合は、「アカウントの作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

初回起動時には、利用規約が表示されますので「承諾」をタップしてください。

ムードメッセージの設定や、コンタクトリストにIS11PTの電話帳を表示するかどうかの確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

メイン画面が表示されます。

コンタクトリストを追加する

1 Skype™ | auのメイン画面で[コンタクト]→ MENU →[コンタクトを追加]→[コンタクトを検索]

2 コンタクトリストに追加する相手の方のSkype名/氏名/メールアドレスなどを入力→[ ]

3 検索結果から追加する相手の方を選択

4 [コンタクトに追加する]→相手の方に送るメッセージを確認・入力→[送信]

相手の方に、コンタクトリスト追加のリクエストが送信されます。相手の方に承認されるとコンタクト画面で相手の方のステータスが切り替わります。

■コンタクトリスト追加のリクエストを受け取った場合

1 コンタクト画面で[新規コンタクト要求]→相手の方を選択

2 [承認]／[拒否]

コンタクトリストを利用する

1 コンタクト画面で相手の方を選択

2

コンタクト情報	発信	選択した相手の方に電話をかけます。
	IMを送信	選択した相手の方とのインスタントメッセージ画面を表示します。相手の方に送信するときは、入力欄にメッセージを入力し、「」をタップします。
プロフィール		選択した相手の方のプロフィールを表示します。

memo

◎国内の一般電話に発信する場合、注意画面が表示されますので、「続ける」をタップしてください。「次からは表示しない」を有効にすると、次回から表示されません。

◎着信時は、通常の音声着信と同様の操作で電話を受けることができます。(▶P.74「電話を受ける」)

◎通話中の操作については、「通話中のメニューを利用する」(▶P.73)をご参照ください。

インスタントメッセージを確認する

1 メイン画面で[最近]→相手の方を選択

インスタントメッセージ画面が表示され、送られてきたメッセージを表示します。

世界各地の天気を見る

世界各地の都市の中から最大15都市を指定して、現在の天気や今日から5日間の天気予報を表示･確認できます。

ホーム画面に天気ウィジェットとして表示することもできます(▶P.52「ウィジェットを利用する」)。

都市を指定する

1 ホーム画面で[]→[天気]

天気一覧画面が表示されます。

2 [都市追加]→都市を選択

「都市名を入力してください」欄に全角カタカナ／漢字を1文字以上入力すると、都市を絞り込むことができます。

ネットワークに接続して都市の天気情報を取得すると、指定した都市が追加されます。

都市の現在の天気／天気予報を見る

1 天気一覧画面で都市を選択

選択した都市の現在の天気の詳細画面が表示されます。

2 (MENU)→[予測]

今日から5日間の天気予報画面が表示されます。

memo

◎現在の天気の詳細画面および天気予報画面で「アップデート」をタップすると、選択した都市のみの天気情報を更新します。

天気一覧画面のメニューを利用する

1 **天気一覧画面で MENU**

2

全件アップデート	設定した都市すべての天気情報を更新します。
削除	設定した都市を削除します。
並べ替え	表示している都市の並べ替えを行います。 **移動させたい都市の右側の「◇」を任意の位置までドラッグ&ドロップ→[完了]→[保存]**
設定	気温を「摂氏」、「華氏」のどちらで表示するか設定します。

NHK G-Media動画on!を利用する

NHKグローバルメディアサービス提供の動画配信サービスです。「NHKニュース&スポーツ」の最新ニュースのほか、報道、スポーツ、ドキュメンタリー、教養、趣味など、さまざまなジャンルのNHK動画が、情報料無料(一部有料)で視聴できます。

- NHK G-Media動画on!のサービスご利用時には、会員登録(無料)が必要です。会員登録には、@auone.jpまたは@ezweb.ne.jpのメールアドレスが必要です。
- au one-ID(▶P.197)を設定することにより、かんたん決済のご利用が可能です。

memo

◎「NHKニュース&スポーツ」最新ニュース
「NHKニュース&スポーツ」が提供する最新ニュース映像と記事の見出しを視聴できます(一部情報料無料)。
ニュースのほか、スポーツ、天気など、「NHKニュース&スポーツ」のすべてのサービスをご利用いただくためには、「NHKニュース&スポーツ」アプリをダウンロード後、「有料会員登録」が必要です。

◎豊富なNHK動画
スポーツ、ドキュメンタリー、教養、趣味など、さまざまなジャンルのNHK動画を視聴できます(一部情報料無料)。
ジャンル別、新着順、五十音順など見たい動画を簡単に探し出せます。
かんたん決済を利用して購入された動画は「マイ動画」にまとめて表示されて便利です。

会員登録(無料)を行う

1 **ホーム画面で[⬆]→[NHK動画on!]**
初回起動時には、アプリケーション情報の許可や利用規約が表示されますので、[同意する]→[同意する]と操作してください。
NHK G-Media動画on!のトップ画面が表示されます。

2 **MENU→[設定]→[入会]**

3 **@auone.jpまたは@ezweb.ne.jpのメールアドレスを入力→表示されている数字を入力→[会員登録]**

4 **[登録決定]→[ログイン]**
会員登録(無料)後、ログインすると、サービスが利用可能になります。
MENU→[トップへ]でトップ画面に戻ります。

便利な機能

マナーモードを設定する

ドライブ中や公共の場所では、着信音やメール受信音が鳴らないようにマナーモードを設定してください。
マナーモードを有効にすると、音楽や動画などのメディア音、アラーム音以外の音量が0となります。

1 **（電源キー）（0.5秒以上長押し）**

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 **[マナーモード]**

解除するには、もう一度、携帯電話オプション画面が表示されるまで（電源キー）を長押しし、「マナーモード」をタップします。

memo

◎ 自動車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。運転中はマナーモードに設定してください。
◎ ホーム画面で[ ]→[設定]→[音]→[マナーモード]と操作するか、ホーム画面で[ ]→「⁎」をロングタッチしても、マナーモードを設定できます。
◎ バイブレータの設定は、ホーム画面で[ ]→[設定]→[音]→[バイブ]で設定します。

通話中の音声を録音する

通話中に相手の声や自分の声を録音できます。

- 通話録音には、microSDメモリカードの装着が必要です。

通話を録音する

1 **通話中に（MENU）→[通話録音]**

録音を開始します。

2 **[保存]／[切断]**

録音のみを終了し通話を続ける場合は「保存」、録音と通話を同時に終了する場合は「切断」をタップします。

memo

◎ 通話中に録音した音声は、microSDメモリカードの「voicerecorder¥voicecallrec」フォルダに保存されます。ファイル名は“相手電話番号_MMDDYY_hhmmss.3gp”です。
◎ 録音できる時間や件数は、microSDメモリカードの空き容量に依存します。

通話録音を再生する

録音した音声は、「ミュージック」（▶P.138）または「音声メモ」（▶P.162）で再生します。

memo

◎「ミュージック」ではファイル名が曲名として表示されます。

音声メモを利用する

自分の声などを録音できます。録音した音は、microSDメモリカードに保存され、着信音として設定することもできます。

- 音声メモの利用には、microSDメモリカードの装着が必要です。

音声などを録音する

1 ホーム画面で[ ]→[音声メモ]

音声メモの起動画面が表示されます。

2 中央の赤い「 」をタップ

録音が開始されます。最大60分まで録音できます。

3 中央の「 」をタップ

録音が終了し、自動保存します。
中央の「 」をタップすると、録音した音を再生します。

《音声メモ起動画面》

memo

◎録音開始から60分が経過したり、microSDメモリカードの容量がいっぱいになると、それまでに録音したファイルを自動保存し、録音を終了します。
◎音声メモで録音したファイルは、microSDメモリカードの「voice recorder¥voicerec」フォルダに保存されます。ファイル名は、「Rec MMDDYY_hhmmss.amr」です。
◎音声メモの起動画面で[リスト]→[新規作成]と操作しても、録音開始の画面になります。

音声メモを再生する

1 ホーム画面で[ ]→[音声メモ]

2 [リスト]

音声メモファイルの一覧が表示されます。

3 再生するファイルを選択→中央の「 」をタップ

再生が終わると、音声メモファイルの一覧画面に戻ります。

■一覧画面のメニューを利用する

1 音声メモファイルの一覧画面を表示→ MENU

2

削除	音声メモファイルを選択して削除します。 **削除する音声メモファイルを選択→[完了]**

■再生ファイル選択後のメニューを利用する

1 再生ファイルを選択→ MENU

2

共有	選択した音声メモファイルをBluetooth®やメール添付などで送信します。
着信音に設定	選択した音声メモファイルを着信音に設定します。
削除	選択した音声メモファイルを削除します。

手書きメモを利用する

手書きのメモを簡単に作成できます。ギャラリーに保存されている写真に手書きで加筆することもできます。

- 手書きメモの利用には、microSDメモリカードの装着が必要です。

手書きメモを新規作成する

■保存されている手書きメモがない場合

1 ホーム画面で[ ]→[手書きメモ]

新規作成画面が表示されます。

■保存されている手書きメモがある場合

1 ホーム画面で[ ]→[手書きメモ]→[新規作成]

新規作成画面が表示されます。

2 画面右上の◀をタップ→ペンの太さや色を設定

アイコン	説明
✎	手書きペンの太さを設定します。
■	手書きペンの色を設定します。
消しゴム	消しゴムの大きさ（太さ）を設定し、手書きペンで描いたイメージを消します。
戻す	描いた線や消しゴムで消したものを1ステップ戻します。
やり直し	戻すで戻したものを、1ステップ再生します。
手	画面に表示されていない部分があるときに、表示する部分を移動できます。

3 内容を作成→[保存]→ファイル名を編集→[保存]

手書きメモがmicroSDメモリカードに保存され、保存された手書きメモが表示されます。

保存済み手書きメモが複数ある場合は、左右にフリックすると、保存されている手書きメモが順次表示されます。

memo

◎手書きメモ作成中に、ピンチアウト／ピンチイン（▶P.46）すると、手書きメモを拡大／縮小表示します。

◎手書きメモ作成中に、MENU→[背景]と操作すると、背景を変更できます。

◎手書きメモ作成中に、MENU→[最初から]と操作すると、手書きメモを開いたときの状態に戻します。

◎保存した手書きメモは、microSDメモリカードの「.pantech.sketchpad」フォルダの「imgMMDDYY_hhmmss」フォルダに保存されます。

■写真に加筆したいとき

1 新規作成画面でMENU→[画像挿入]

ギャラリーの「カメラ」アルバムが表示されます。

2 加筆したい写真を選択

背景が、選択した写真に変わります。

3 内容を作成→[保存]→ファイル名を編集→[保存]

microSDメモリカードの「.pantech.sketchpad」フォルダの「imgMMDDYY_hhmmss」フォルダに保存されます。

4 MENU→[ギャラリーに保存]

microSDメモリカードの「DCIM¥Camera」フォルダにも保存され、ギャラリーの「カメラ」アルバムで閲覧ができます。

手書きメモを閲覧する

1 ホーム画面で[⬆]→[手書きメモ]

保存されている手書きメモの一覧が表示されます。

2 閲覧する手書きメモを選択

選択した手書きメモが表示されます。

memo

◎手書きメモを表示中にピンチアウト／ピンチイン（▶P.46）すると、手書きメモを拡大／縮小表示します。

◎手書きメモを表示中に左右フリックをすると、手書きメモを順次閲覧できます。

■一覧画面のメニューを利用する

1 手書きメモの一覧画面を表示→MENU

2

項目	説明
削除	保存されている手書きメモを選択して削除します。
サムネイル表示／リスト表示	リスト表示時はサムネイル表示に、サムネイル表示時はリスト表示に変更できます。

■手書きメモ閲覧時のメニューを利用する

1 閲覧する手書きメモを選択→MENU

2

編集	表示中の手書きメモに加筆します。
ギャラリーに保存	表示中の手書きメモをギャラリーの「カメラ」アルバムに保存します。(▶P.164「写真に加筆したいとき」)
共有	表示中の手書きメモをBluetooth®やメール添付などで送信したり、FacebookやPicasaなどにアップロードします。
削除	表示中の手書きメモを削除します。

memo

◎一覧画面で手書きメモをロングタッチしても、手書きメモ閲覧時のオプションメニューと同じメニューを表示できます。

便利メモを利用する

テキストメモや手書きのメモを簡単に作成できます。

作成したメモはPantechウィジェットとしてホーム画面に表示しておくことができます。複数のメモをホーム画面に貼り付けたときは、上下フリックで順次閲覧ができます。

- 便利メモの利用には、microSDメモリカードの装着が必要です。

便利メモを新規作成する

■テキストメモを新規作成する

最大10,000文字のメモを作成できます。

■保存されている便利メモがない場合

1 ホーム画面で[⬆]→[便利メモ]

テキストメモの新規作成画面が表示されます。

■保存されている便利メモがある場合

1 ホーム画面で[⬆]→[便利メモ]→[新規作成]→[テキストメモ]

テキストメモの新規作成画面が表示されます。

2 テキストを入力→[保存]

便利メモがmicroSDメモリカードに保存され、保存された便利メモが表示されます。

保存済み便利メモが複数ある場合は、左右にフリックすると、保存されている便利メモが順次表示されます。

memo

◎保存した便利メモは、microSDメモリカードの「.pantech.notepad」フォルダに保存されます。

■手書きメモを新規作成する

■保存されている便利メモがない場合

1 ホーム画面で[⬆]→[便利メモ]

テキストメモの新規作成画面が表示されます。

2 MENU→[手書き]

手書きメモの新規作成画面が表示されます。

■保存されている便利メモがある場合

1 ホーム画面で[⬆]→[便利メモ]→[新規作成]

2 [手書きメモ]

手書きメモの新規作成画面が表示されます。

3 画面右上の◀をタップ→ペンの太さを設定

	手書きペンの太さを設定します。
	消しゴムの大きさ(太さ)を設定し、手書きペンで描いたイメージを消します。
	描いた線や消しゴムで消したものを1ステップ戻します。
	で戻したものを、1ステップ再生します。

4 内容を作成→[保存]

便利メモがmicroSDメモリカードに保存され、保存された便利メモが表示されます。
保存済み便利メモが複数ある場合は、左右にフリックすると、保存されている便利メモが順次表示されます。

memo

◎保存した便利メモは、microSDメモリカードの「.pantech.notepad」フォルダに保存されます。

便利メモを閲覧する

1 ホーム画面で[ ]→[便利メモ]

保存されている便利メモの一覧が表示されます。

2 閲覧する便利メモを選択

選択した便利メモが表示されます。

memo

◎便利メモを表示中に左右フリックをすると、便利メモを順次閲覧できます。
◎便利メモの閲覧中に、画面をタップすると、その便利メモの編集ができます。(手書きメモは加筆のみ)

■一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 便利メモの一覧画面を表示→(MENU)

2

削除	保存されている便利メモを選択して削除します。

■コンテキストメニューの場合

1 便利メモの一覧画面を表示→便利メモをロングタッチ

2

詳細表示	ロングタッチした便利メモを表示します。
編集	テキストメモの場合は文字の編集、手書きメモの場合は加筆ができます。
共有	ロングタッチした便利メモをBluetooth®やメール添付などで送信したり、FacebookやPicasaなどにアップロードします。
削除	ロングタッチした便利メモを削除します。

■便利メモ閲覧時のメニューを利用する

1 閲覧する便利メモを選択→(MENU)

2

共有	表示中の便利メモをBluetooth®やメール添付などで送信したり、FacebookやPicasaなどにアップロードします。
削除	表示中の便利メモを削除します。

時計ツールを利用する

世界の時計、タイマー、ストップウォッチが利用できます。

世界各地の時刻を表示する

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面で[⬆]→[時計ツール]

世界の時計の画面が表示されます。タイマーやストップウォッチ画面が表示されているときは、「世界の時刻」をタップしてください。

2 [都市追加]→表示する都市を選択

「都市名を入力してください」欄に全角カタカナ／漢字を1文字以上入力すると、都市・国を絞り込むことができます。

■ 世界の時計のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 世界の時計の画面で MENU

2

並べ替え	表示している都市の並べ替えを行います。 **移動させたい都市の右側の「⬍」を任意の位置までドラッグ＆ドロップ→[完了]**
削除	世界の時計から削除する都市を選択します。

■ コンテキストメニューの場合

1 世界の時計の画面で都市をロングタッチ

2

DST設定	ロングタッチした都市のサマータイムを設定します。 [Off]／[+1時間]／[+2時間]→[OK]
削除	ロングタッチした都市を世界の時計から削除します。

タイマーで時間を計る

23時間59分59秒までのタイマーが設定できます。

1 ホーム画面で[⬆]→[時計ツール]→[タイマー]

タイマー画面が表示されます。

2 MENU→[設定]→時・分・秒を設定→[完了]

タイマー画面に戻ります。
タイマー画面で、時間をタップしても時・分・秒の設定画面が表示できます。

3 [開始]

カウントダウンを開始します。
カウントダウン中に「一時停止」をタップするとカウントを中断し、「続行」をタップすると中断したカウントダウンを再開します。「リセット」をタップすると、カウントダウンを最初からやり直します。
カウンターが00:00:00になると、アラーム音が鳴ります。

4 [OK]

タイマー画面が表示されます。

ストップウォッチで時間を計る

1/10秒単位で9時間59分59秒9まで計測できます。
最大で99件のラップタイム（区間ごとの経過時間）／スプリットタイム（各点でのスタートからの経過時間）も表示できます。

1 ホーム画面で[⬆]→[時計ツール]→[ストップウォッチ]

ストップウォッチ画面が表示されます。

2 スプリットタイムを計測したいときは、[ラップ]→[スプリット]

画面上部で、ラップタイムとスプリットタイムの切り替えを行います。

3 [開始]

計測を開始します。
ラップタイムを計測したいときは「ラップ」をタップするごとにラップタイムを表示します。
スプリットタイムを計測したいときは「スプリット」をタップするごとにスプリットタイムを表示します。

4 [中止]

計測を終了(中断)します。

◎「中止」をタップ後、「続行」をタップすると、中断した計測を再開します。
◎「中止」をタップ後、「リセット」をタップすると、ストップウォッチの初期画面(0:00:00:0)に戻ります。
◎ラップタイム/スプリットタイムの表示は、1/100秒単位となります。
◎ラップタイム/スプリットタイムを計測したときは、「中止」をタップした後、BACKを押すと、終了の確認画面が表示されます。「はい」をタップすると「時計ツール」が終了します。

コンパスを利用する

コンパスは、IS11PTの地磁気センサーやGPS機能を利用して現在地の緯度・経度を測定し、方位計や地図を表示したり、移動ログを記録できるアプリケーションです。また、目的地を設定すると、目的地までの直線距離や方向を知ることができます。

- コンパスを利用するには、「現在地情報とセキュリティ」で「GPS機能を使用」を有効にする必要があります。(▶P.187)
- 移動ログの作成には、microSDメモリカードの装着が必要です。

地磁気センサーについて

- 地磁気センサーは、地球の微小な磁場を感知して方位を算出します。以下の場所では、地磁気センサーが正常に動作しないことがありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
  - ・建物(特に鉄筋コンクリート造り)、大きな金属の物体(電車、自動車など)、高圧線、架線など
  - ・金属(鉄製の机、ロッカーなど)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、スピーカーなど)、永久磁石(磁気ネックレスなど)
- 地磁気の弱い場所では、方位が正確に計測できない場合があります。
- 18芯-microUSB変換アダプタ01(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)を接続していると、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類は外してご使用ください。
- 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますので、「地磁気センサー補正」を行ってください。また、定期的に「地磁気センサー補正」を行うことをおすすめします。
  - ・「コンパス」など地磁気センサーを利用するアプリケーションの起動直後
  - ・「コンパスの干渉」画面が表示された場合
  - ・IS11PTを強い磁力に近付けたり、IS11PTが磁気を帯びた場合
  - ・急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
- 「地磁気センサー補正」を行うときは、IS11PT本体をしっかりと持って、8の字を描くように数回、回転させます。回転させる際は、手首だけを動かすようにしてください。
- うまく補正できない場合は、IS11PT本体を左右、上下に軽く振ってから8の字を描くように回転させてください。
- 「地磁気センサー補正」を行う環境や起動しているアプリケーションによっては、補正に失敗する場合があります。その場合は、「地磁気センサー補正」を行う場所を変えるか、アプリケーションを終了させるなどしてから、やり直してください。

コンパスを起動する

1 ホーム画面で[ ]→[コンパス]

コンパスのメイン画面が表示されます。

① **目的地**

② **目的地削除ボタン**
目的地を設定していない場合は表示されません。

③ **コンパス**
タップすると、現在地の詳細画面を表示します。

④ **速度**
現在の移動速度を表示しています。

⑤ **ナビゲーション**
目的地の方向、目的地までの直線距離を表示します。目的地が設定されていない場合は表示されません。

⑥ **緯度・経度**
現在地の緯度・経度を表示しています。GPS信号を受信できない場合は表示されません。

⑦ **開始ボタン**
ログを開始します。GPS信号を受信できない場合は表示されません。

《メイン画面》

移動ログを作成する

1 コンパスのメイン画面で[開始]

メイン画面に、移動距離と経過時間の情報が加わります。

2 [中止]

ログ作成の確認画面が表示されます。

3 [はい]

microSDメモリカードに、ログファイルが作成されます。

memo

◎移動距離が0の場合、ログファイルは作成されません。

◎「一時停止」をタップすると、ログの記録を中断します。「再開」をタップすると、中断した記録を再開します。

◎ログファイルは、microSDメモリカードの「GPSCompass」フォルダ内に「Logger_YYYYMMDDhhmmss.kml」のファイル名で保存されます。kmlファイルは、パソコンにインストールしたGoogle Earthで再生できます。Google Earthの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

コンパスのメニューを利用する

1 コンパスのメイン画面で MENU

2

マップビュー	地図を表示します。
目的地検索	目的地を設定します。 **入力欄に入力→表示された候補一覧から目的地を選択→[確認]**
お気に入りに追加	現在地をお気に入りに登録します。緯度・経度を手動入力することにより、現在地以外の登録も可能です。
お気に入りリスト	お気に入りを一覧表示します。お気に入りをロングタッチ→[目的地に設定]と操作すると、選択したお気に入りを目的地に設定できます。
写真追加	現在地情報に写真を付加します。写真は「写真撮影」／「写真」から選択でき、1箇所に複数枚を付加できます。付加した写真は、マップ表示時に写真アイコンをタップすると閲覧できます。

memo

◎「目的地検索」では、市町村名、駅名、ランドマークとなる建物名や場所名などを1文字以上入力し、一覧表示された候補から選択します。

電卓で計算する

入力･結果ともに15桁まで(小数点以下は、入力6桁、結果13桁まで)の四則計算ができます。計算式や結果は名前を付けて保存でき、編集も可能です。

1 ホーム画面で[⬆]→[電卓]

「0」〜「9」:数字を入力します。
「.」:小数点を入力します。
「C」:1文字を削除します。ロングタッチですべてを削除します。
「÷」/「×」/「−」/「+」:式中では、足し算、引き算より、割り算、掛け算を先に計算します。
「%」:百分率計算をします。
例:500[+]5[%]…525が表示されます。
「=」:計算結果を表示します。

memo

◎「=」「%」がタップされるまでは計算結果を表示せず、四則演算の優先順位に従って計算を行います。
◎「=」や「%」をタップした後に、「÷」/「×」/「−」/「+」をタップすると、計算結果を使った計算を継続します。数字をタップすると、新たに計算を開始します。

■電卓のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 電卓画面で MENU

2

保存※	計算式や計算結果にタイトルを付けて保存します。
一覧	保存したタイトルと計算結果を一覧表示します。選択すると計算式/計算結果の詳細画面が表示され、詳細画面をタップすると、その計算式/計算結果が電卓画面の入力式/計算結果欄に取り込まれます。演算記号をタップすると、追加計算が可能です。

※入力式欄に何もないときは表示されません。

■コンテキストメニューの場合

1 電卓画面で MENU →[一覧]

2 計算式/計算結果をロングタッチ

3

詳細表示	計算式、計算結果を表示します。
タイトル変更	ロングタッチした計算式/計算結果のタイトルを変更します。
編集	ロングタッチした計算式/計算結果を電卓画面の入力式/計算結果欄に取り込みます。演算記号をタップして、追加計算ができます。
削除	ロングタッチした計算式/計算結果を削除します。

ドキュメントビューアーで文書を閲覧する

microSDメモリカード内の拡張子がdoc/docx(MS-Wordの文書ファイル)、xls/xlsx(MS-Excelのブック)、txt(テキストファイル)、pdf (PDFファイル)、zip(ZIP形式の圧縮ファイル。ただし、元ファイルが前述の拡張子の場合のみ)の文書の閲覧ができます。

1 ホーム画面で[⬆]→[ドキュメントビューアー]

2 フォルダを選択→文書ファイルを選択

文書の基本画面が表示されます。

3 画面をタップ

ファイル名	ファイル名が長い場合は、後半が「...」で省略して表示されます。
ミニマップ	現在表示されている箇所が、ページ全体のどの領域に当たるかを示しています。ミニマップは、拡大表示時などページ全体が画面表示されていない場合のみ表示されます。
	ズームバーを表示します。
	前のページを表示します。
10/22	現在のページ／総ページ数を示しています。
	次のページを表示します。
／	縦幅／横幅に合わせて表示します。

memo

◎画面をタップするか何も入力しないで3秒が経過すると、アイコンやミニマップが消えて、基本画面表示になります。もう一度画面をタップすると、アイコンやミニマップが表示されます。
◎画面をピンチイン／ピンチアウト(▶P.46)しても、拡大／縮小ができます。
◎IS11PT本体の向きを変えると、文書の向き(縦／横モード)も自動的に変わります。

■ドキュメントビューアーのメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 文書の基本画面で(MENU)

2

ページ移動	入力したページにジャンプします。
単語検索	入力した検索語とマッチする本文内容を順次検索します。マッチした内容は、カラーで反転表示されます。
共有	表示中の文書を、Bluetooth®やメール添付、メール本文(テキストファイルの場合)などで送信します。

■コンテキストメニューの場合

1 文書の一覧画面で文書をロングタッチ

2

共有	ロングタッチした文書を、Bluetooth®やメール添付、メール本文(テキストファイルの場合)などで送信します。
削除	ロングタッチした文書を削除します。
ファイル名修正	ロングタッチした文書のファイル名を変更します。

RSSリーダーを利用する

ブラウザを起動したりウェブページを表示することなく、登録したRSSの更新情報が確認できます。
ホーム画面にRSSリーダーウィジェットを追加することもできます(▶P.52「ウィジェットを利用する」)。

1 ホーム画面で[]→[RSSリーダー]

RSSリーダーのメイン画面が表示されます。

2

新規コンテンツ	チャンネルに登録されたRSSの新規コンテンツを閲覧できます。
お気に入り	お気に入りに登録したコンテンツを閲覧できます。
全てのチャンネル	RSSをチャンネルに登録したり、登録したチャンネルをソートして閲覧できます。(▶P.172「チャンネルを登録する」)
カテゴリ	カテゴリ別にRSSを閲覧できます。

■RSSリーダーのメニューを利用する

1 RSSリーダーのメイン画面で(MENU)

2

アップデート		新規コンテンツ情報を手動でアップデートします。
チャンネル追加	URL	▶P.172「チャンネルを登録する」の操作3
	Googleリーダー	
	お勧めチャンネル	
設定	自動アップデート	自動的にアップデートする周期を、「しない／RSSリーダー起動時／毎時／毎日／毎週」から設定します。
	自動削除	コンテンツを自動削除するタイミングを、「しない／既読完了時に削除／アップデート時、既読コンテンツ削除」から設定します。
	削除Feed	コンテンツを削除する周期を、「毎日／3日毎／毎週／15日毎／毎月」から設定します。
	アップデート容量制限	アップデートの上限容量を「100MB／400MB／800MB／1GB」から設定します。
	Feeds per Feed	表示する最新コンテンツ数を「最新コンテンツ10件／最新コンテンツ30件／最新コンテンツ50件／最新コンテンツ100件」から設定します。
	テキストアップデート	アップデート時、テキストのみを読み込むか、テキストと画像を読み込むか設定します。
	ユーザー名:	Googleのアカウントを設定します。

チャンネルを登録する

1 ホーム画面で[⬆]→[RSSリーダー]→[全てのチャンネル]

登録されたチャンネルがある場合とない場合では、表示される画面が異なります。

■ 登録されたチャンネルがない場合

2 [チャンネル追加]

■ 登録されたチャンネルがある場合

2 (MENU)→[チャンネル追加]

3

URL	コンテンツ名、URL、カテゴリを登録します。
Googleリーダー	Googleリーダーから購読しているチャンネル情報を追加します。
お勧めチャンネル	おすすめのチャンネルから選択します。 **カテゴリを選択→チャンネルを選択→[完了]**

◎「URL」のカテゴリ登録時、「新規作成」をタップすると新規カテゴリを作成できます。

便利な機能

単位換算をする

さまざまな単位の相互換算ができます。
換算できる単位は次の表の通りです。

長さ		容量		重量	
mi	マイル	in^3	立方インチ	lb	ポンド
nmi	海里	ft^3	立方フィート	ct	カラット
mm	ミリメートル	yd^3	立方ヤード	mg	ミリグラム
cm	センチメートル	L	リットル	g	グラム
m	メートル	cm^3	立方センチ	kg	キログラム
km	キロメートル	m^3	立方メートル	t	トン
in	インチ	dl	デシリットル	gr	グレーン
ft	フィート	ml	ミリリットル	oz	オンス
yd	ヤード	gal	ガロン(米)		
		cc	シー・シー		
		bbl	バレル		

温度		面積		速度	
℉	華氏	ft^2	平方フィート	mi/h	マイル/時
K	ケルビン(絶対温度)	yd^2	平方ヤード	m/s	メートル/秒
℃	摂氏	mi^2	平方マイル	km/h	キロメートル/時
		acre	エーカー	kn	ノット
		a	アール	ft/s	フィート/秒
		ha	ヘクタール		
		cm^2	平方センチ		
		m^2	平方メートル		
		km^2	平方キロメートル		
		in^2	平方インチ		

1 ホーム画面で[ ]→[単位換算]

2 単位の種類(長さ／重量など)を選択

換算元と換算後の単位が種類に合わせて表示されます。

3 数値を入力

4 換算元の単位を選択→換算後の単位を選択

換算後の値が下段に表示されます。

音声コマンドを利用する

音声で電話をかけたり、自局電話番号を確認したり、アプリケーションを呼び出すことができます。
事前に、自分の声を登録するなどの面倒な手続きは一切不要です。

1 ホーム画面で[ ]→[音声コマンド]

使用ガイドが表示された後、「ボイスコマンドをどうぞ」の画面が表示されます。

2 送話口(マイク)に向かって、ボイスコマンドを発声

電話<名前又は番号>	「電話」と発声後、電話帳に登録されている名前か、電話番号を発声して、電話をかけます。
テキスト送信<名前又は番号>	「テキスト送信」と発声後、電話帳に登録されている名前か、電話番号を発声して、Cメールを送ります。
Eメール送信<名前>	「Eメールを送る」と発声後、電話帳に登録されている名前を発声して、Eメールを送ります。
アドレス帳検索<名前>	「アドレス帳検索」と発声後、検索したい名前を発声して、電話帳検索を行います。
メニュー<ショートカット>	「メニュー」と発声後、画面に表示されているアプリケーション名を発声して、アプリケーションを起動します。

再生	「再生」と発声後、画面に表示されているプレイリスト名を発声して、ミュージックを起動します。
確認する<項目>	「確認する」と発声後、画面に表示されている項目名を発声して、その項目の状態を確認できます。

memo

◎ステータスバーを下にスライド→[音声コマンド]と操作しても、音声コマンドを起動できます。
◎「ボイスコマンドをどうぞ」画面で(MENU)→[設定]→[トレーニング]→[音声トレーニング]→[スタート]と操作して、システムのトレーニングを行うと、音声認識の精度を上げることができます。

パソコンと接続する

IS11PTとパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、IS11PTに装着したmicroSDメモリカードの読み書きをパソコンで行うことができます。
接続に利用できるケーブルは次の通りです。
- 「microUSBケーブル01」(別売)
- 「microUSBケーブル01 ネイビー」(別売)
- 「microUSBケーブル01 グリーン」(別売)
- 「microUSBケーブル01 ピンク」(別売)
- 「microUSBケーブル01 ブルー」(別売)

microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する

microSDメモリカードを装着したIS11PTとパソコンをmicroUSBケーブルで接続して、パソコンのハードディスクと同じように、IS11PTに装着したmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで読み書きできます。

IS11PTとパソコンを接続する前に、USBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページでご確認ください。
auのホームページ：
　http://www.au.kddi.com/seihin/shuhenkiki/kiki/usb_driver.html
PANTECH SUPPORTページ：
　http://jp.pantech.com/support/download.html

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続

2 microUSBケーブルをIS11PTの外部接続端子に接続

IS11PTの画面にUSBマスストレージ画面が表示されます。
IS11PTのアプリケーション設定で、「USBデバッグ」(▶P.191)が有効の場合はUSBマスストレージ画面が表示されません。ステータスバーを下にスライドさせて、通知／ステータスパネルから「USB接続」をタップしてください。USBマスストレージ画面が表示されます。

3 [USBストレージをONにする]→[OK]

IS11PTのmicroSDメモリカードが「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。

4 パソコンとの通信を終了したら[USBストレージをOFF]

5 パソコンのタスクバー上にあるハードウェアの取り外しアイコンを選択→「Pantech Android USB Composite Device Ver1の取り出し」をクリック(Windows® 7の場合)

Windows Vista®の場合は、「USB大容量記憶装置」を選択→「停止」をクリックします。Windows® XPの場合は、「USB大容量記憶装置デバイス」を選択→「停止」をクリックします。

6 microUSBケーブルをIS11PTから取り外す

memo

◎USBストレージとして利用している間は、microSDメモリカードを利用するアプリケーションは使用できません。
◎Windows® XP／Windows Vista®／Windows® 7以外のOSでの動作は、保証していません。
◎パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブルを取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
◎通信中に電池パックやmicroSDメモリカードを取り外さないでください。
◎USBストレージとして利用している間は、パソコンの電源を切ったり、休止状態にしないでください。再度パソコンを起動しても、通信できない場合があります。
◎電池残量には十分ご注意ください。電池残量が少なくなると、パソコンのエラーやデータの破損などの原因となります。

シンプルモードを利用する

IS11PTには、よく使う機能だけを簡単な操作で利用できる「シンプルモード」が用意されています。
シンプルモードではウィザード方式（対話形式）で電話帳の新規登録が行えて、よく利用する相手を12件まで写真とともに登録できます（ワンタッチダイヤル）。
また、従来の携帯電話と同様な使い勝手のメインメニューも用意されています。

《メインメニュー画面》

シンプルモードにする

通常モードからシンプルモードに切り替えます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知／ステータスパネルが表示されます。

2 かんたん設定の[シンプルモード]→[はい]

シンプルモードのホーム画面が表示されます。

memo

◎通常モードホーム画面で[シンプル]→[はい]と操作するか、通常モードホーム画面で[]→[設定]→[シンプルモード]→[はい]と操作しても、シンプルモードに切り替えることができます。
◎通常モードで「Googleカレンダー」（▶P.150）に予定を設定した場合、シンプルモードに切り替えると、「カレンダー」には予定が表示されません。通常モードに戻すと、再び表示されます。
◎シンプルモードに切り替えると、設定が無効や変更になったり、一時解除される場合があります。

便利な機能

■ホーム画面の見かた

《シンプルモードのホーム画面》

① **ステータスバー**
不在着信やメール受信などがあったとき、通知アイコンが表示されます。また、電波状態や電池残量など本製品の状態や設定を確認できるステータスアイコンが表示されます。
ステータスバーを下へスライドさせると、通知／ステータスパネルが開き、通知アイコンの詳細内容とかんたん設定(▶P.176)アイコンが表示されます。

② **情報パネル**
日常生活に密着したウィジェットが表示されます。表示するウィジェットは、設定画面の[ディスプレイ]→[待受画面](▶P.178)で設定します。

③ **ワンタッチダイヤルアイコン**
よく利用する相手を最大12件、写真とともに登録でき、かんたんに電話をかけたり、メールを送ることができます。(▶P.180)

④ **NHK動画on!アイコン**
「NHK G-Media動画on!」が起動します。(▶P.160)

⑤ **クイックメニュー**
電話、メール、ブラウザ画面を表示･起動します。

⑥ **メインメニュー**
各種機能を利用するためのメインメニュー(▶P.177)を表示します。

通常モードに戻す

すべての機能を使いたい場合や、詳細な設定をしたい場合は、通常モードに切り替えます。

1 シンプルモードのホーム画面で[メニュー]

2 [設定]→[通常モード]→[はい]

◎かんたん設定(▶P.176)を使って、通常モードに戻すこともできます。
◎通常モードに切り替えると、設定が無効や変更になったり、一時解除される場合があります。

シンプルモードで利用できる機能

シンプルモードでは、ほとんどの機能が簡易版になり、簡単な操作でご利用いただけますが、一部の機能が利用できなくなります。シンプルモードの各機能は、次のメニュー階層に従って操作してください。

■かんたん設定

ステータスバーを下へスライドさせると、かんたん設定アイコンが表示されます。

マナー	マナーモードをON／OFFします。
Wi-Fi	Wi-Fi機能をON／OFFします。
3G	3Gデータ通信(パケット通信)機能をON／OFFします。
GPS	GPS機能をON／OFFします。
シンプルモード	OFFにすると、通常モードに切り替わります。

■ クイックメニュー

電話	電話帳	
	着信履歴	
	発信履歴	
	ダイヤル	
	ワンタッチダイヤル	
メール	Eメール	受信ボックス
		送信ボックス
		振り分けフォルダ
	Cメール	受信ボックス
		送信ボックス
		緊急地震速報
	Gmail	
ウェブ	(インターネットに接続します。)	

■ メインメニュー

カメラ	写真	写真サイズは「デジタルカメラ(2560×1920)」、「デジタルカメラ(1600×1200)」、「壁紙(800×480)」のみになります。また、セルフタイマーや、連写/分割/インスタント撮影、ホワイトバランスなどの設定はできません。
	動画	動画サイズ「VGA(640×480)」はありません。また、ホワイトバランス、録画時間などの設定はできません。
写真/動画		microSDメモリカード内の写真や動画を表示・再生します。(▶P.133)
音声検索		▶P.57
電話帳		＋をタップすると、ウィザード形式で新規登録が可能です。
マーケット	au one マーケット	▶P.156
	Android マーケット	▶P.154
	GREE マーケット	▶P.156
その他アプリ		通常モードのランチャーメニュー(▶P.54)とほぼ同等です。
カレンダー		カレンダー表示のみとなり、予定の入力はできません。電話帳に誕生日が登録されていると、カレンダーに反映されます。
電卓		▶P.170
アラーム		▶P.154
赤外線	赤外線受信	▶P.212
	赤外線送信	▶P.212
プロフィール		▶P.78「IS11PTの電話番号を確認する」
設定		▶下記「設定」

■ 設定

マナー/音量	マナー	マナーモードをON/OFFします。OFFにすると、着信音量、システム音量、通知音量の設定ができます。
	着信音量	マナーモードOFF時の着信音量を、−、＋をタップして設定します。
	システム音量	マナーモードOFF時のシステム音量を、−、＋をタップして設定します。
	通知音量	マナーモードOFF時の通知音量を、−、＋をタップして設定します。
	メディア音量	動画再生やミュージックプレイヤーなどのメディア音量を、−、＋をタップして設定します。

サウンド	音声着信	着信時のメロディを選択します。
	通知音	メール受信などの通知時の音を選択します。
ディスプレイ	壁紙	ホーム画面の壁紙を「オリジナル」／「ギャラリー」から選択します。
	待受画面	ホーム画面に表示するウィジェットを選択します。 **[次へ]／[前へ]→[OK]**
	ワンタッチダイヤル	ホーム画面（▶P.176）にワンタッチダイヤルアイコンを表示するかどうかを設定します。
	明るさ	ディスプレイの明るさを「自動」／「0」～「5」から選択します。
	言語（Set Language）	画面の表示を英語／日本語に切り替えます。
文字サイズ	通常サイズ	表示される文字のサイズを「中」または「大」にします。
	入力サイズ	入力する文字のサイズを「中」または「大」にします。
アプリケーション	アプリケーション管理	ダウンロードしたアプリケーションやショートカットアプリの削除を行います。
	メモリ情報	IS11PT本体および装着されたmicroSDメモリカードの総容量と空き容量を表示します。
詳細設定	Wi-Fi設定	Wi-Fi機能のON／OFFや、設定をします。（▶P.200）
	3G	3Gデータ通信（パケット通信）機能をON／OFFします。
	航空機モード	航空機モードをON／OFFします。（▶P.183）
詳細設定	現在地設定	「GPS」（▶P.187「GPS機能を使用」）、「無線ネットワーク」（▶P.187「無線ネットワークを使用」）をON／OFFします。
	Bluetooth	▶P.206「Bluetooth®機能を使用する」
	ローミングエリア	▶P.230「エリアを設定する」
	au one-ID設定	au one-IDを設定します。（▶P.197）
通常モード		通常モードに切り替えます。

memo

◎シンプルモードで「アラーム／時計」（▶P.153）を起動したりシンプルモードのIS11PTを卓上ホルダに装着した場合は、「ミュージック」メニュー、「ホーム」メニュー、「天気」は表示されません。

ワンタッチダイヤルを利用する

ワンタッチダイヤルには、よく利用する連絡先を12件まで写真とともに登録できます。ワンタッチダイヤルの連絡先電話番号やメールアドレスは、各1件ずつとなります。（電話帳には各3件ずつ登録可能です。）

《ワンタッチダイヤル画面》

便利な機能

■電話帳からワンタッチダイヤルに登録する

1 ホーム画面で[電話]→[ワンタッチダイヤル]／ホーム画面で[ワンタッチダイヤル]

ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

2 [＋登録]

電話帳が表示されます。

3 登録する連絡先を選択

登録が完了します。

電話帳に連絡先の電話番号やメールアドレスが2件以上登録されていた場合は、ワンタッチダイヤルに登録する電話番号／メールアドレスをタップします。

■電話帳にない連絡先をワンタッチダイヤルに登録する

1 ホーム画面で[電話]→[ワンタッチダイヤル]／ホーム画面で[ワンタッチダイヤル]

ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

2 [＋登録]→[＋]

電話帳登録画面が表示されます。

電話帳が1件も登録されていない場合は、「＋」の代わりに「＋新規作成」をタップすると、電話帳登録画面が表示されます。

3 名前を入力→「よみ」を確認

名前を入力すると、「よみ」は自動入力されます。間違っている場合は、タップして修正します。

4 [次へ]

電話番号の入力画面が表示されます。

5 電話番号を入力

電話番号は3件入力できますが、ワンタッチダイヤルに登録できるのは1件です。（▶操作11参照）

をタップすると、発信履歴／着信履歴から電話番号の入力ができます。

電話番号を登録しない場合は、空欄のまま操作6へ進みます。

6 [次へ]

Eメールアドレスの入力画面が表示されます。

Eメールアドレスや写真、誕生日を登録しない場合は、「次へ」の代わりに「完了」をタップします。（▶操作11参照）

7 Eメールアドレスを入力

Eメールアドレスは3件入力できますが、ワンタッチダイヤルに登録できるのは1件です。（▶操作11参照）

Eメールアドレスを登録しない場合は、空欄のまま操作8へ進みます。

8 [次へ]

「その他」の入力画面が表示されます。

写真、誕生日を登録しない場合は、「次へ」の代わりに「完了」をタップします。（▶操作11参照）

9 [ ]→[撮影]／[ギャラリーから写真選択]

「撮影」をタップすると、カメラが起動します。シャッターを押した後、[OK]→利用する部分を選択→[保存]と操作します。

「ギャラリーから写真選択」をタップすると、ギャラリー（▶P.133）が起動します。写真を選択→利用する部分を選択→[保存]と操作します。

10 日付をタップ

誕生日を登録します。

いったん登録した誕生日を削除するには、「 」をタップします。

11 ［完了］

電話帳登録およびワンタッチダイヤルへの登録が完了します。
電話帳に連絡先の電話番号やメールアドレスを2件以上登録した場合は、ワンタッチダイヤルに登録する電話番号／メールアドレスをタッチします。

memo

◎写真登録のない連絡先は、ワンタッチ画面には名前が表示されます。写真も名前も登録されていない連絡先は、電話番号が表示されます。写真、名前、電話番号が登録されていない連絡先は、Eメールアドレスが表示されます。
◎電話番号／Eメールアドレスが1件も登録されていない連絡先は、ワンタッチダイヤルに登録できません。

■ワンタッチダイヤルを使用する

1 ホーム画面で［電話］→［ワンタッチダイヤル］／ホーム画面で［ワンタッチダイヤル］

ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

2 連絡先を選択

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

3

<table>
<tr><td rowspan="3">Eメール</td><td>Eメール</td><td rowspan="3">選択した連絡先のメールアドレスを宛先とする、各メールの新規作成画面が表示されます。</td></tr>
<tr><td>Gmail</td></tr>
<tr><td>PCメール※</td></tr>
<tr><td>発信</td><td colspan="2">選択した連絡先の電話番号をダイヤルします。</td></tr>
<tr><td>Cメール</td><td colspan="2">選択した連絡先を宛先とするCメール新規作成画面が表示されます。</td></tr>
<tr><td>編集</td><td colspan="2">ワンタッチダイヤルに登録する連絡先を変更します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">選択した連絡先をワンタッチダイヤルから削除します。</td></tr>
</table>

※IS11PTにPCメールが設定されていない場合は表示されません。

memo

◎写真の追加や電話番号、Eメールアドレスの変更など、ワンタッチダイヤルに登録した情報の一部分を変更したい場合は、「電話帳」を編集します。ホーム画面で［メニュー］→［電話帳］→連絡先を選択→［編集］と操作すると、電話帳の編集が可能です。

機能設定

設定メニューを表示する

1 ホーム画面で[ ]→[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

《設定メニュー画面》

プロフィールを確認する

自動登録されているIS11PTの電話番号やEメールアドレスの確認の他、自宅などの電話番号、Gmailなどのメールアドレス、名前などを登録できます。

1 設定メニュー画面で[プロフィール]

2

項目	内容
編集	▶P.78「IS11PTの電話番号を確認する」
赤外線送信	▶P.212「各機能のサブメニューから赤外線で送信する」

無線とネットワークの設定をする

電波・無線を利用した通信機能の設定をします。

1 設定メニュー画面で[無線とネットワーク]

2

項目		内容
航空機モード		▶P.183「航空機モードを設定する」
Wi-Fi		▶P.200「Wi-Fi機能の有効/無効を設定する」
Wi-Fi設定		▶P.201「アクセスポイント(無線LAN親機)を登録し、接続する」
Bluetooth		▶P.208「Bluetooth®機能の有効/無効を設定する」
Bluetooth設定		▶P.208「Bluetooth®機器を登録する」
VPN設定		仮想プライベートネットワーク(VPN)を利用する場合に、VPNの登録と接続を行います。企業などのセキュリティで保護されたローカルネットワーク内のリソースに、専用回線を介さずにネットワークの外部から接続できます。
モバイルネットワーク	データ通信を有効にする	3Gデータ通信機能の有効/無効を設定します。 ▶P.118「データ通信サービスを利用する」
	データローミング	▶P.229「海外利用に関する設定を行う」
	高度な設定	通常は使用しないでください。設定を行うと、データ通信が行えなくなる場合があります。
	ローミング設定	▶P.229「海外利用に関する設定を行う」
Webフィルタリング設定		▶P.123「有害サイトをブロックする」

機能設定

memo

◎次の各機能を利用する場合に必要な設定項目と設定値です。

利用する機能	航空機モード	Wi-Fi	データ通信
電話	OFF		
110番／119番／118番への通報			
Cメール送信	OFF		ON
Cメール受信	OFF		
Eメール送受信	OFF		ON
PCメール送受信	OFF	ON※	ON※
インターネット	OFF	ON※	ON※
Webフィルタリング	OFF	OFF	ON
緊急地震速報	OFF		
au one-ID設定	OFF		ON

※どちらかがONになっている必要があります。両方ONの場合は、Wi-Fi機能が優先的に使われます。

航空機モードを設定する

携帯電話の使用が禁止されている場所(航空機内や病院内、医療機器の近くなど)で、IS11PTの電源をOFFにせず、電話やメール、3Gデータ通信、Wi-Fi機能、Bluetooth®機能などの通信機能のみを無効にします。

1 設定メニュー画面で[無線とネットワーク]→[航空機モード]

memo

◎ ⏻ を長押しして表示される携帯電話オプション画面でも、航空機モードの設定ができます。

◎航空機モードを有効に設定すると、電話をかけたり電話を受けることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。また、Cメール／Eメール／PCメールの送受信もできません。3Gデータ通信やWi-Fi機能を利用したインターネット接続、Bluetooth®機能を利用した他の機器とのデータのやりとりもできません。

通話の設定をする

お留守番サービス、着信転送サービスの設定変更を行うための番号の発信や、着信拒否など、通話に関する設定ができます。

1 設定メニュー画面で[通話設定]

2

留守番電話	留守番伝言再生	▶P.217「伝言・ボイスメールを聞く」
	留守番開始1	▶P.215「お留守番サービスを開始する」
	留守番開始2	
	留守番停止	▶P.215「お留守番サービスを停止する」
	応答内容変更	▶P.217「応答メッセージの録音／確認／変更をする」
転送電話	無応答転送	▶P.220「応答できない電話を転送する(無応答転送)」
	話中転送	▶P.220「通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)」
	フル転送	▶P.220「かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)」
	選択転送	▶P.220「手動で転送する(選択転送)」
	転送停止	▶P.221「着信転送サービスを停止する(転送停止)」
番号付加設定	市外局番設定	電話をかけるときに、特定の市外局番などを自動付加するかどうかを設定します。お住まいの地域の市外局番など、よくかける地域の市外局番を設定すると、その地域の固定電話へ電話をかけるときに、市外局番を省略できます。
	市外局番設定	自動付加する番号を設定します。上の「市外局番設定」が有効のときに設定できます。

外部機器オプション	イヤホンマイク自動着信	有効に設定すると、イヤホンマイク接続時の着信に対して、約10秒間電話を受けないでいると自動応答します。 イヤホンおよびマイク付きイヤホンを接続したときのみ動作します。
着信／拒否設定	▶P.184「着信拒否を設定する」	

memo

◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合は、番号付加設定機能がご利用になれません。

着信拒否を設定する

特定の電話からの着信を拒否したり、特定の電話からの着信のみを受けたり、すべての着信を拒否する設定ができます。

memo

◎海外ローミング時には、表示される電話番号が異なるため、着信拒否できない場合があります。

■特定の電話からの着信を拒否する

登録した特定の電話からの着信を拒否します。

1 設定メニュー画面で[通話設定]→[着信／拒否設定]

2 [指定番号拒否設定]

着信を拒否する電話番号のリスト画面が表示されます。

3 [電話番号入力]→番号を入力→[完了]／[OK]

電話帳／着信履歴／発信履歴から選択したり、番号を直接入力できます。全部で20件登録でき、電話帳／着信履歴／発信履歴からは一度に複数の選択が可能です。

4 BACK→[着信拒否設定]→「着信／拒否」を有効にする

「着信／拒否」を有効にすると、下の「着信／拒否」の設定が可能になります。

5 下の[着信／拒否]→[指定番号拒否設定]→[OK]→[OK]→[保存]

memo

◎指定番号拒否設定のリスト一覧で、登録済みの電話番号(もしくは相手の名前)をタップすると、電話番号の変更／選択した電話番号の削除／指定番号拒否設定に登録済みのすべての電話番号の削除が行えます。

■特定の電話からの着信のみを受ける

登録した特定の電話からの着信のみを受け、他の着信は拒否します。

1 設定メニュー画面で[通話設定]→[着信／拒否設定]

2 [指定番号着信設定]

着信を受ける電話番号のリスト画面が表示されます。

3 [電話番号入力]→番号を入力→[完了]／[OK]

電話帳／着信履歴／発信履歴から選択したり、番号を直接入力できます。全部で20件登録でき、電話帳／着信履歴／発信履歴からは一度に複数の選択が可能です。

4 BACK→[着信拒否設定]→「着信／拒否」を有効にする

「着信／拒否」を有効にすると、下の「着信／拒否」の設定が可能になります。

5 下の[着信／拒否]→[指定番号着信]→[OK]→[OK]→[保存]

memo

◎指定番号着信設定のリスト一覧で、登録済みの電話番号（もしくは相手の名前）をタップすると、電話番号の変更／選択した電話番号の削除／指定番号着信設定に登録済みのすべての電話番号の削除が行えます。

■すべての着信を拒否する

すべての着信を拒否します。

1 設定メニュー画面で[通話設定]→[着信／拒否設定]

2 [着信拒否設定]→「着信／拒否」を有効にする

「着信／拒否」を有効にすると、下の「着信／拒否」の設定が可能になります。

3 下の[着信／拒否]→[全ての番号拒否]→[OK]→[OK]→[保存]

memo

◎Cメールは受信します。Cメールの受信拒否は、受信フィルター（▶P.106）で設定してください。

■着信制限を解除する

設定した着信拒否を無効にします。

1 設定メニュー画面で[通話設定]→[着信／拒否設定]

2 [着信拒否設定]→[着信／拒否]を無効にする→[保存]

音の設定をする

着信時の音や操作音の有無、マナーモードなどの設定が行えます。

1 設定メニュー画面で[音]

2

マナーモード	▶P.162「マナーモードを設定する」
バイブ	着信時のバイブレータの動作条件を設定します。
音量	▶P.185「音量を設定する」
着信音	▶P.186「着信音を設定する」
通知音	不在着信などのお知らせが入ったときに鳴らす音の種類を選択します。
ダイヤル操作音	ダイヤルパッドのタッチ操作音のON／OFFを設定します。
選択時の操作音	項目選択時のタッチ操作音のON／OFFを設定します。
画面ロックの音	画面ロック解除時、手動による画面ロック設定時の操作音のON／OFFを設定します。
入力時バイブレーション	ソフトキーやアイコンなどをタップしたときのバイブレータのON／OFFを設定します。
NASHサウンド効果	▶P.186「NASHサウンド効果を設定する」

音量を設定する

マナーモード時は設定できません。マナーモードが無効の場合のみ各音量の設定ができます。

1 設定メニュー画面で[音]→[音量]

2 各スライダーをスライドして調整

着信音	着信時の音量を設定します。0にすると、マナーモードが自動的にONになります。
メディア	音楽や動画再生時など、メディアの音量を設定します。
アラーム	アラーム鳴動時の音量を設定します。
システム	ダイヤル操作音、選択時の操作音、画面ロックの音などのシステム音の音量を設定します。
通知音にも着信音量を適用	有効にすると、通知音の音量は着信音量と同じ音量に設定されます。無効にすると、通知音量の設定が可能になります。
通知	不在着信などの通知時の音量を設定します。「通知音にも着信音量を適用」が無効の場合にのみ設定できます。

3 [OK]

着信音を設定する

着信時のメロディを設定します。

1 設定メニュー画面で[音]→[着信音]

2 メロディを選択→[OK]

◎microSDメモリカードに保存した楽曲などを着信音に設定したいときは、「ミュージック」のコンテキストメニューで「着信音に設定」(▶P.141)、または「音声メモ」のオプションメニューで「着信音に設定」(▶P.163)を実行します。着信音の一覧に表示されるようになります。
◎microSDメモリカードに保存した楽曲などを着信音に設定したときに、そのmicroSDメモリカードを取り外したり楽曲を削除した場合の着信音は、初期値の「Classic Bell2」になります。

NASHサウンド効果を設定する

NASHサウンド効果は、イヤホン接続時やBluetooth®対応のヘッドセット･オーディオ機器など(プロファイル「A2DP」対応機器)の使用時に有効な機能です。

1 設定メニュー画面で[音]→[NASHサウンド効果]

2

ノーマル		3Dサウンドを使用しない場合は有効に設定します。
3Dサウンド		基本の3Dサウンドを設定します。
イコライザー		適用するイコライザーを設定します。
ユーザー設定	ユーザー3Dサウンド	3Dサウンド「NASH」をベースに変更するサラウンド、ベースを設定します。 **スライダーをスライド→[保存]**
	ユーザーイコライザー	周波数ごとに音の強さを設定します。 **スライダーをスライド→[保存]**

3 [完了]

ディスプレイの設定をする

1 設定メニュー画面で[ディスプレイ]

2

画面の明るさ	「明るさを自動調整」を有効にすると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調整します。無効にすると、スライダーをスライドして、手動で設定できます。
画面の自動回転	IS11PTの向きに合わせて、自動的に画面の縦／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
アニメーション表示	画面を切り替えるときなどに、アニメーション表示をするかどうかを設定します。

バックライト消灯	操作を行わなかった場合に、バックライトが自動消灯してスリープモードに移行するまでの時間を設定します。

現在地情報とセキュリティの設定をする

1 **設定メニュー画面で[現在地情報とセキュリティ]**

2

無線ネットワークを使用	屋内や過密な場所など、GPS機能による位置情報の測定が困難なときに、Wi-Fiネットワークやモバイルネットワーク基地局の情報をもとに位置情報の測定を行うかどうかを設定します。	
GPS機能を使用	通信衛星を利用した位置情報の測定を行うかどうかを設定します。	
遠隔制御ロック	▶P.187「遠隔制御ロックを利用する」	
画面ロックの設定	▶P.189「ロック解除方法を設定する」	
UIMカードロック設定	▶P.190「UIMカードのロックを設定する」	
パスワードを表示	パスワード入力時、正しく入力できたか確認できるように、入力直後の1文字を入力欄に表示するかどうかを設定します。	
デバイス管理者を選択※	遠隔制御ロック	安心ロックサービス(▶P.189)や遠隔制御ロック(▶P.187)を利用する場合は、有効に設定します。無効に設定すると、安心ロックサービスや遠隔制御ロックが利用できません。
安全な認証情報の使用	安全な証明書と他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可するかどうかを設定します。次々項の「パスワードの設定」で認証情報ストレージパスワードを設定すると、本項目が設定できます。	
microSDからインストール	暗号化された証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。microSDメモリカードに複数の証明書が保存されている場合は、インストールする証明書を選択します。	
パスワードの設定	認証情報ストレージパスワードを設定したり、変更を行います。	
ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツを消去して、認証情報ストレージパスワードをリセットします。前項の「パスワードの設定」で認証情報ストレージパスワードの設定が行われていない場合は、本項目は選択できません。	

※ Exchangeアカウントの PCメールなど、デバイス管理者権限を付与するアプリケーションを設定すると、該当するデバイス管理者が表示されます。無効にすると、そのアプリケーションの一部の機能が使用できなくなります。

遠隔制御ロックを利用する

IS11PTを紛失したときなどに、特定の電話からIS11PTへ電話をかけて着信を繰り返すことにより、IS11PTを他人が使えないように画面ロックをかけることができます。
また、遠隔制御ロックを事前に設定していない場合でも、電話でお客さまセンターからお手続きいただくか、パソコンでauお客さまサポートサイトからお手続きいただくことで、遠隔操作で画面ロックをかけることができます(安心ロックサービス)。

memo

◎事前に「画面ロックの設定」(▶P.189)でパターン/PIN/パスワードのいずれかを設定しておくことをおすすめします。
◎「画面ロックの設定」(▶P.189)が「なし」の場合は、遠隔制御ロックをかけると、PIN「1234」でロックされます。

■遠隔制御ロックを設定する

1 設定メニュー画面で［現在地情報とセキュリティ］

2 ［遠隔制御ロック］

画面ロックが設定されている場合は、ロック解除画面が表示されます。設定したパターン／PIN／パスワードを入力してロックを解除してください。

「デバイス管理者を選択」で「遠隔制御ロック」が無効の場合、「デバイス管理者を有効にしますか？」画面が表示されます。遠隔制御ロックを設定する場合は、「有効にする」をタップします。

3 「遠隔制御ロック」を有効にする

遠隔制御ロックを有効に設定すると、有効番号リスト、指定時間、着信回数の設定が可能になります。

4

有効番号リスト	電話番号を3件まで登録できます。 番号入力の他、電話帳、通話履歴から電話番号を選択したり、「公衆電話」を選択することもできます。
指定時間	最初の着信から、「着信回数」で設定した回数分の着信があるまでの制限時間を1～10分の間で設定します。
着信回数	遠隔制御ロックが起動するまでの着信の回数を、3～10回の間で設定します。

memo

◎設定済みの有効番号リストをタップすると、「電話番号変更」／「この電話番号を削除」／「全件削除」が行えます。

■遠隔制御ロックをかけるには

1 「有効番号リスト」に登録した電話から、「指定時間」内に「着信回数」、IS11PTに電話をかける

memo

◎発信者番号を通知して電話をかけてください。
◎IS11PTの電源が入っていない場合や、IS11PTがサービスエリア外にある場合や、「航空機モード」（▶P.183）がONに設定されている場合は、遠隔制御ロックを起動できません。また、電波の弱い場所にIS11PTがある場合は、遠隔制御ロックを起動できない場合があります。
◎au ICカードが挿入されていない場合や、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔制御ロックの起動ができません。
◎着信回数のカウント中に次の操作を行うと、それまでにカウントした着信の回数がリセットされます。
- 「遠隔制御ロック」の設定を行った場合
- 「データの初期化」を行った場合

◎次の場合は、着信回数はカウントされません。
- 非通知または通知不可能により発信者番号が通知されない場合
- 話中転送またはフル転送により着信を転送した場合
- 通話中の割込着信の場合

◎着信回数は、登録してある電話番号ごとにカウントされます。
◎遠隔制御ロック操作中にIS11PTで電話に出たり、着信拒否しても、その着信はカウントされます。ただし、「着信／拒否設定」（▶P.184）で着信拒否を設定した電話番号からの着信はカウントされません。
◎遠隔制御ロック起動時、おかけになった電話にガイダンスは流れません。また、通話は自動的に切断されます。
◎「エリア設定」（▶P.230）を「日本」以外に設定している場合は、遠隔制御ロックの動作保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■遠隔制御ロックを解除する

IS11PTで画面ロックを解除します。(▶P.59「ロックを解除する」)

memo

◎「画面ロックの設定」を「なし」に設定していた場合は、スライド解除後、「1234」を入力して「OK」をタップすると、遠隔制御ロックが解除できます。

■安心ロックサービスで遠隔制御ロックをかける

あらかじめ遠隔制御ロックの設定をしていない場合でも、お客さまセンターへ電話したり、パソコンからのお手続きをすることで、遠隔操作で画面ロックをかけることができます。ただし、「デバイス管理者を選択」(▶P.187)で「遠隔制御ロック」を有効にしておく必要があります。(お買い上げ時は無効に設定されています。)

安心ロックサービスは、無料で利用できます。

■お客さまセンターに電話して遠隔制御ロックをかける

【au電話から】局番なし113(無料)

【au以外の携帯電話、一般電話から】 0077-7-113(無料)

- 受付時間は、24時間です。
- 音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

■auお客さまサポート(https://cs.kddi.com/)で遠隔制御ロックをかける

auお客さまサポート(https://cs.kddi.com/)にログインして、画面の指示に従ってお手続きをしてください。

memo

◎安心ロックサービスを初めてご利用になる際には、お申し込みが必要です。(紛失後のお申し込みでもご利用になれます。)

■安心ロックサービスご利用にあたっての注意

- 安心ロックサービスは、ご契約者からのお申し出があった場合に遠隔制御ロックをかけます。
- IS11PTの電源が入っていない場合や、IS11PTがサービスエリア外にある場合、「航空機モード」が有効に設定されている場合は、遠隔制御ロックを起動できません。また、電波の弱い場所にIS11PTがある場合は、遠隔制御ロックを起動できない場合があります。
- 「デバイス管理者を選択」(▶P.187)の「遠隔制御ロック」が無効の場合(お買い上げ時の設定)、遠隔制御ロックを起動できません。
- au ICカードが挿入されていない場合や、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔制御ロックの起動ができません。
- IS11PTを紛失した場合は、遠隔制御ロックに加えて紛失時の手続きを行うことをおすすめします。紛失時の手続きについては、「アフターサービスについて」(▶P.243)をご参照ください。

■安心ロックサービスの遠隔制御ロックを解除する

安心ロックサービスを利用して遠隔制御ロックをかけた場合も、お手元にIS11PTが戻ってからIS11PTで画面ロックを解除してください。(▶P.189「遠隔制御ロックを解除する」)

ロック解除方法を設定する

スリープモードや重要な設定変更でロックがかかったときの解除方法を設定します。

1 設定メニュー画面で[現在地情報とセキュリティ]

2 [画面ロックの設定]

すでに画面ロックが設定されている場合は、項目名が「画面ロックの変更」となり、タップするとロック解除画面が表示されます。設定したパターン/PIN/パスワードを入力してロックを解除してください。

3

なし	重要な設定変更時にもロック解除画面が表示されません。スリープモード時は、アイコンをスライドして解除します。
パターン	画面上の9点のうち、4点以上をつなぐ任意のパターンを登録します。 **パターンを入力→[次へ]→もう一度パターンを入力→[確定]**
PIN	4桁以上の数字を登録します。 **数字を入力→[次へ]→もう一度数字を入力→[OK]**
パスワード	4文字以上の英数字（数字のみは不可）を登録します。 **英数字を入力→[次へ]→もう一度英数字を入力→[OK]**

memo

◎初めて「パターン」によるロック解除を設定する場合、パターンロックの説明とパターン作成例が画面に表示されます。[次へ]→[次へ]で、パターンの入力画面に進んでください。
◎「パターン」によるロック解除を設定すると、新たな設定項目「指の軌跡を線で表示」が表示されます。
◎「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかによるロック解除を設定すると、新たな設定項目「入力時バイブレーション」が表示されます。
◎画面ロックの設定は定期的に変更することをおすすめします。

UIMカードのロックを設定する

第三者によるau ICカードの無断使用を防止するために、au ICカードにはPINコード機能があります。UIMカードをロックすると、IS11PTの起動時にPINコードの入力が求められます。

1 設定メニュー画面で[現在地情報とセキュリティ]

2 [UIMカードロック設定]

3

UIMカードをロック	IS11PT起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **PINコードを入力→[OK]**
UIM PINの変更	PINコードを変更します。「UIM PINコードをロック」を有効に設定すると、項目の選択が可能です。 **現在のPINコードを入力→[OK]→新しいPINコードを入力→[OK]→もう一度新しいPINコード（確認用）を入力→[OK]**

memo

◎お買い上げ時のPINコードは、「PINコードについて」（▶P.28）をご参照ください。
◎現在のPINコードを3回連続して間違えると、PINコードがロックされます。（▶P.190「PINコードが一致しなかった場合」）

■PINコードが一致しなかった場合

PINコードを3回連続で間違えると、PINコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

1 8桁のPINロック解除コードを入力
→新しいPINコードを入力
→もう一度新しいPINコード（確認用）を入力→[OK]

memo

◎PINロック解除コードについては、「PINロック解除コード」（▶P.28）をご参照ください。

アプリケーションの設定をする

アプリケーション全般に関する設定やダウンロードしたアプリケーションの削除、各アプリケーションの詳細情報を表示できます。

1 設定メニュー画面で[アプリケーション]

2

提供元不明のアプリ	ダウンロードしたアプリケーションの提供元が不明な場合でもインストールを許可するかどうかを設定します。	
アプリケーションの管理	ダウンロード済み	アプリケーションを選択すると、詳細情報が表示され、アプリケーションによって、アンインストール、データの消去、microSDに移動、キャッシュの消去、強制停止などができます。
	すべて	
	SDカード上	
	実行中	
実行中のサービス	実行中のサービスが一覧表示されます。サービスを選択すると、そのサービスを停止することができます。	
ストレージ使用状況	アプリケーションごとに、アプリケーション本体の容量、データ容量、キャッシュの容量、デフォルトでの起動設定、アクセス許可の確認ができます。また、データ／キャッシュ／起動設定の消去などが行えます。	
電池使用量	利用中の項目ごとに電池の使用量の割合を表示します。項目を選択すると、その項目の詳細と、消費電力を抑えるためのヒントと設定項目名が表示されます。設定項目名をタップすると、その設定画面にジャンプします。	
開発	USBデバッグ	USBケーブル接続時、デバッグモードにします。
	スリープモードにしない	ACアダプタやDCアダプタなどを接続して充電しているときやUSBケーブルを接続しているときは、スリープモードにならないようにします。
	擬似ロケーションを許可	擬似位置情報データの利用を許可するかどうかを設定します。

memo

◎開発機能の詳細については、下記のホームページをご参照ください。
http://developer.android.com/

アカウントと同期の設定をする

同期の設定や、手動で同期を行います。また、アカウントの追加や削除ができます。

1 設定メニュー画面で[アカウントと同期]

2

バックグラウンドデータ	IS11PTのアプリケーションがデータをいつでも同期、送信、受信できるようにするかどうかを設定します。
自動同期	各アカウントで同期設定された項目(▶P.192「アカウント別に同期させる項目を設定する／手動で同期させる」)のデータを、自動的に同期させるかどうかを設定します。 「バックグラウンドデータ」が有効の場合のみ、設定できます。

アカウント別に同期させる項目を設定する／手動で同期させる

「自動同期」が有効なときに同期させるデータを、アカウントごとに設定します。また、「自動同期」が無効のときは、手動で同期させることができます。

1 設定メニュー画面で［アカウントと同期］

2 アカウントを選択

3

連絡先を同期	IS11PTの電話帳とサーバに保存されているアカウントの連絡先を同期させます。
Gmailを同期	IS11PTのGmailとサーバに保存されているアカウントのGmailを同期させます。
カレンダーを同期	IS11PTのカレンダーとサーバに保存されているアカウントのカレンダーを同期させます。

※選択したアカウントの種類によって、表示される項目が異なります。（「ソーシャルネット」には同期項目がありません。）

「自動同期」が有効の場合は、項目を有効に設定すると、その場で同期を行い、その後、自動同期となります。
「自動同期」が無効の場合は、項目をタップするとその場で同期を行います。

memo

◎コーポレートアカウントで電話帳を同期させる場合、グループが設定されている連絡先とは同期しません。
◎コーポレートアカウントを選択して「アカウントの設定」をタップすると、メール着信通知音の設定や新着メールの確認の頻度、同期する量など、より詳細な設定ができます。

アカウントを追加する

1 設定メニュー画面で［アカウントと同期］

2 ［アカウントを追加］

3

コーポレート	Exchangeサーバの既存アカウントをIS11PTに登録します。		
ソーシャルネット	自動アップデート		「ソーシャルネット」ウィジェットの更新間隔を設定します。
	Facebook	ログイン	「ソーシャルネット」ウィジェットに既存のFacebookアカウントでログインします。
		新規登録	「ソーシャルネット」ウィジェット用のFacebookアカウントを新規作成します。
	MySpace	ログイン	「ソーシャルネット」ウィジェットに既存のMySpaceアカウントでログインします。
		新規登録	「ソーシャルネット」ウィジェット用のMySpaceアカウントを新規作成します。
	Twitter	ログイン	「ソーシャルネット」ウィジェットに既存のTwitterアカウントでログインします。
		新規登録	「ソーシャルネット」ウィジェット用のTwitterアカウントを新規作成します。
Facebook	ログイン		既存のFacebookアカウントをIS11PTに登録します。
	登録		Facebookアカウントを新規作成します。
Skype™	サインイン		既存のSkype™アカウントをIS11PTに登録します。
	アカウントの作成		Skype™ アカウントを新規作成します。

Google	作成	Googleアカウントを新規作成します。
	ログイン	既存のGoogleアカウントをIS11PTに登録します。

※項目の記載順は、お買い上げ時の項目順です。アカウント登録したアプリケーションがあると、順番が変わる場合があります。

4 画面の指示に従って操作する

IS11PTからアカウントを削除する

1 設定メニュー画面で[アカウントと同期]

2 削除するアカウントを選択→[アカウントを削除]

3 [アカウントを削除]

memo

◎削除しようとしたアカウントを必要とするアプリケーションがある場合は、削除できません。「データの初期化」(▶P.194)を行うと削除できます。

プライバシーの設定をする

データのバックアップや復元、データの消去(初期化)などが行えます。

1 設定メニュー画面で[プライバシー]

2

データのバックアップ	▶P.193「データをバックアップ／自動復元する」
自動復元	
データの初期化	▶P.194「IS11PTを初期化(リセット)する」

データをバックアップ／自動復元する

IS11PTに登録したGoogleアカウントとGoogleサーバを利用して、次のデータをバックアップ／自動復元させることができます。

- Androidマーケットなどで入手したインストール済みアプリケーション
- 壁紙
- ブラウザのブックマーク
- 単語リスト
- 「設定」内の「無線とネットワーク」、「音」、「ディスプレイ」、「現在地情報とセキュリティ」、「アプリケーション」、「言語とキーボード」－「言語を選択(Select language)」の各設定値

1 設定メニュー画面で[プライバシー]

2

データのバックアップ	データをGoogleサーバに保存させるかどうかを設定します。有効の場合、最初のログインから12時間後に自動保存を行い、その後、1時間単位で自動保存します。設定を無効にすると、自動保存せず、Googleサーバ上に保存されていたバックアップファイルも削除されます。
自動復元	Googleサーバに保存されているバックアップファイルを元に、データを自動復元するかどうかを設定します。有効に設定すると、「データの初期化」(▶P.194)を実行した後で、「データのバックアップ」有効時のGoogleアカウントでログインすると自動復元します。 「データのバックアップ」が有効の場合のみ、設定できます。

IS11PTを初期化(リセット)する

各機能の設定をお買い上げ時の設定に戻し、本体内蔵メモリに保存されているすべてのデータを削除します。

1 設定メニュー画面で[プライバシー]

2 [データの初期化]→[実行する]

画面ロックが設定されている場合は、ロック解除画面が表示されます。パターン/PIN/パスワードを入力してロックを解除してください。

3 [すべて消去]

IS11PTが再起動し、Androidのロボットのイラストが表示されます。以降の操作は、「初期設定を行う」(▶P.39)をご参照ください。

◎本体内蔵メモリ内のすべてのデータが削除されます。データの初期化を行う前に必要に応じて、「データのバックアップ」と「自動復元」(▶P.193)の設定をおすすめします。
◎Androidマーケット、au one Market、GREEマーケットなどで入手しインストールしたウィジェット/アプリケーションも削除されます。ただし、Androidマーケットで入手したウィジェット/アプリケーションは、「データのバックアップ」、「自動復元」で自動的に再インストールされます(▶P.193)。
◎microSDメモリカード内のデータは削除されません。(「microSD内のデータを消去」を有効にすると削除されます。)

microSDメモリカードと本体容量の確認をする

IS11PTに装着したmicroSDメモリカードの容量やIS11PT本体のメモリ容量の確認ができます。また、microSDメモリカードのフォーマット(全データの消去)が行えます。

1 設定メニュー画面で[microSDと端末容量]

2

総容量	IS11PTに装着したmicroSDメモリカードの総容量を表示します。
空き容量	IS11PTに装着したmicroSDメモリカードの空き容量を表示します。
microSDのマウント解除/microSDをマウント	装着したmicroSDメモリカードを取り外すときに使います。microSDメモリカードに書き込み中に取り外してメモリカードを壊すなどの事故を防ぐことができます。 マウント解除したmicroSDメモリカードを再び認識させるには、「microSDをマウント」をタップします。
microSD内データを消去	microSDメモリカードをフォーマットし、microSDメモリカードに保存されているデータをすべて削除します。 **[microSD内データを消去]→[すべて消去]**
空き容量	IS11PT本体の内部メモリの空き容量が表示されています。

表示する言語やキーボードの設定をする

表示する言語の設定と、各入力システムの設定が行えます。

1 設定メニュー画面で[言語とキーボード]

2

言語を選択(Select language)	表示する言語を、日本語／英語／韓国語／中国語(簡体)／中国語(繁体)／ポルトガル語の6ヶ国語から選択できます。
単語リスト	▶P.67「単語リストに単語を登録する」
Android キーボード	▶P.67「Androidキーボードの設定をする」
DioPen 韓／中／葡 IME	▶P.68「DioPen 韓／中／葡 IMEの設定をする」
iWnn IME	▶P.69「iWnn IMEの設定をする」
LaLa Stroke	▶P.70「LaLa Strokeの設定をする」

◎アプリケーションによって、すべてまたは一部の表示項目で言語の切り替えに対応していない場合があります。

◎「言語を選択」で切り替わるのは、画面表示のみです。入力システムの切り替えは、「入力ソフトを切り替える」(▶P.66)をご参照ください。

音声入出力の設定をする

Googleの音声認識装置(音声入力)や、テキスト読み上げ(音声出力)の設定をします。

1 設定メニュー画面で[音声入出力]

2

音声認識装置の設定	言語	音声入力時の言語を設定します。
	セーフサーチ	Google音声検索時の検索結果に、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを除いて表示するレベルを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定	サンプルを再生※	音声合成のサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用※	常に「音声の速度」と「言語」の設定に従って再生するかどうかを設定します。
	既定のエンジン	テキスト読み上げ時に使用する音声合成エンジンを設定します。
	音声データをインストール	▶P.196「音声合成エンジンのデータをインストールする」
	音声の速度※	テキストの読み上げ速度を設定します。
	言語※	テキストを読み上げる言語を設定します。
	Pico TTS	Pico TTS を言語別に Android マーケットからダウンロードし、インストールします。

※「音声データをインストール」または「Pico TTS」実行後に設定できます。

音声合成エンジンのデータをインストールする

テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声合成エンジンのデータをAndroidマーケットなどからダウンロードしてインストールする必要があります。
なお、Androidマーケットの利用には、Googleアカウントが必要です。
（▶P.192「アカウントを追加する」）
また、音声合成エンジンデータのインストールには、microSDメモリカードの装着が必要です。

1 設定メニュー画面で[音声入出力]

2 [テキストの読み上げの設定]→[音声データをインストール]

Androidマーケットに接続します。初めて接続する場合は、利用規約が表示されるので「同意する」をタップしてください。
検索結果画面が表示されます。

3 インストールするデータを選択→[インストール]→[OK]

ダウンロードを開始し、ダウンロード完了後にインストールされます。

◎「Pico TTS」から言語を指定してインストールすることもできます。
◎再インストールする場合は、microSDメモリカードの「svox」フォルダを削除します。（▶P.174「パソコンと接続する」）

ユーザー補助の設定をする

ユーザーの操作に、音声や音、振動などで反応するユーザー補助サービスを利用できます。また、通話中に ⏻ を押しても通話が終了するように設定できます。
ユーザー補助サービスを利用する場合は、あらかじめAndroidマーケットなどからユーザー補助アプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。
なお、Androidマーケットの利用には、Googleアカウントが必要です。
（▶P.192「アカウントを追加する」）

1 設定メニュー画面で[ユーザー補助]

ユーザー補助アプリケーションをインストールするかどうかの確認画面が表示されます。「OK」をタップしてインストールしてください。

2

ユーザー補助	ユーザー補助の有効／無効を設定します。
（ユーザー補助サービス名）	「ユーザー補助」を有効に設定すると、インストールした各サービスの有効／無効が設定できます。
電源ボタンで通話を終了	⏻ を押したときも、通話を終了するかどうかを設定します。（有効に設定したときに、画面の「切断」をタップしても終了します。）

日付と時刻を設定する

1 設定メニュー画面で[日付と時刻]

2

自動	ネットワークから通知される日付・時刻情報をもとに自動で設定・補正を行うかどうかを設定します。
日付設定※	日付を手動で設定します。
タイムゾーンの選択※	タイムゾーンを手動で設定します。
時刻設定※	時刻を手動で設定します。
24時間表示	時刻の表示方法を24時間表示にするかどうかを設定します。無効にすると、12時間表示になります。
日付形式	年月日の表示形式を設定します。

※「自動」を無効に設定すると、項目が選択できます。

au one-IDを設定する

au one-IDを新規登録したり、取得済みのau one-IDをIS11PTとケータイPC連動設定して、IDとパスワードをIS11PTに保存します。au one-IDの取得・保存により、「auかんたん決済」をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 設定メニュー画面で[au one-ID設定]

パケット通信の注意画面が表示されます。

2 [OK]→[au one-IDの設定・保存]

「au one-IDとは?」をタップすると、ブラウザが起動し、au one-IDの説明が表示されます。

3 セキュリティパスワードを入力→[OK]

セキュリティパスワードは、申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号です。セキュリティパスワードを同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

■ 電話番号をau one-IDとして新規登録する場合

4 パスワードを入力→[利用規約に同意して登録]

■ 電話番号以外を登録する場合

4

お好きなau one-IDを登録したい方はこちら	新規登録を行います。画面の指示に従って操作してください。 新規登録したau one-IDは、IS11PTとケータイPC連動設定されます。
取得済みのau one-IDを設定したい方はこちら	取得済みのau one-IDを、IS11PTとケータイPC連動設定します。画面の指示に従って操作してください。

5 [設定画面へ]→画面の指示に従って操作

パスワード再発行時に必要となる情報などを設定します。

保存したau one-IDとパスワードをクリアする

au one-IDとパスワードをIS11PTから削除します。

1 設定メニュー画面で[au one-ID設定]

2 [ID・パスワードをクリアする]→[終了]

◎IS11PTに保存したau one-IDとパスワードはクリアされますが、au one-IDそのものやパスワードはクリアされません。別のau one-IDを設定したい場合やケータイPC連動設定の解除を行いたい場合は、クリア後、[au one-ID設定]→[OK]→[au one-IDの設定・保存]→[別のau one-IDを設定したい方はこちら]/[au one-IDのケータイPC連動設定を解除したい方はこちら]と操作し、画面の指示に従ってください。

端末情報を確認する

IS11PT本体の情報を確認したり、ソフトウェアの更新が行えます。

1 設定メニュー画面で[端末情報]

2

<table>
<tr><td rowspan="3">ケータイアップデート</td><td>アップデート開始</td><td rowspan="4">▶P.234「IS11PTのソフトウェアを更新する」</td></tr>
<tr><td>自動設定</td></tr>
<tr><td>予約時刻</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ソフトウェアアップデート</td><td>アップデート実行(Wi-Fi)</td></tr>
<tr><td>アップデート情報の自動確認</td><td>Wi-Fiまたは3Gデータ通信利用時、ソフトウェアアップデートが必要かを自動的に確認するかどうかを設定します。有効に設定すると、アップデートが必要になると、ディスプレイ上部のステータスバーにが表示されます。</td></tr>
<tr><td>端末の状態</td><td colspan="2">本製品の電話番号、MACアドレス、ネットワーク情報、電池残量、サービス状態などを表示します。</td></tr>
<tr><td>電池使用量</td><td colspan="2">利用中の項目ごとに電池の使用量の割合を表示します。項目を選択すると、その項目の詳細と、消費電力を抑えるためのヒントと設定項目名などが表示されます。設定項目名をタップすると、その設定画面にジャンプします。</td></tr>
<tr><td>法的情報</td><td colspan="2">本製品で使われているオープンソースのライセンス規約、Google利用規約を表示します。</td></tr>
<tr><td>メモリ容量</td><td colspan="2">本体内部メモリの総容量、空き容量を表示します。</td></tr>
<tr><td>モデル番号</td><td colspan="2">本製品のモデル名を表示します。</td></tr>
<tr><td>Androidバージョン</td><td colspan="2">本製品のOSバージョンを表示します。</td></tr>
<tr><td>ベースバンドバージョン</td><td colspan="2">ベースバンドのバージョンを表示します。</td></tr>
<tr><td>カーネルバージョン</td><td colspan="2">カーネルのバージョンを表示します。</td></tr>
<tr><td>ビルド番号</td><td colspan="2">ビルド番号を表示します。</td></tr>
<tr><td>ボードとソフトウェア</td><td colspan="2">ボードとソフトウェアのバージョンを表示します。</td></tr>
</table>

シンプルモードに切り替える

通常モードから、シンプルモードに切り替えます。シンプルモードの詳細については、「シンプルモードを利用する」(▶P.175)をご参照ください。

1 設定メニュー画面で[シンプルモード]→[はい]

シンプルモードのホーム画面が表示されます。

Wi-Fi

Wi-Fi®を利用するには

家庭内の無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。
無線LAN(Wi-Fi)環境を利用してインターネット接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイント(無線LAN親機)の登録が必要です。

memo

◎ 無線LAN(Wi-Fi)ご利用中は、電池の消耗が増加します。ご利用の際は電池残量にご注意ください。
◎ Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。
◎ 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ ご用意いただくもの

■ ご自宅などでご利用になる場合

インターネット回線と無線LAN対応のアクセスポイント(無線LAN親機)が必要です。また、登録には、アクセスポイント側で設定したネットワークSSID(ネットワーク名、SSID、ESS-ID)とパスワード(WEPキー、WPAキー、事前共有キー、暗号化キー)が必要です。

■ 外出先などでご利用になる場合

外出先で公衆無線LANをご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。また、サービス提供者との契約、認証用のIDとパスワードなどが必要となる場合があります。

Wi-Fi機能の有効／無効を設定する

1 ホーム画面で[⬆]→[設定]→[無線とネットワーク]

2 [Wi-Fi]

Wi-Fi機能が有効になると、IS11PTはスキャンを開始し、以前に接続したことのあるネットワークSSIDが見つかると、そのネットワークに接続します。
接続が完了すると、ステータスバーに📶が表示されます。

memo

◎ Wi-Fi機能を利用するには、上記の操作の前に、アクセスポイント(無線LAN親機)を登録し、一度は接続する必要があります。(▶P.201「アクセスポイント(無線LAN親機)を登録し、接続する」)
◎ Wi-Fi機能のON／OFFは、かんたん設定(▶P.50)でも行うことができます。
◎ Wi-Fi機能を利用しないときは、Wi-Fi機能を無効にしてください。これにより、電池を長持ちさせることができます。
◎ Wi-Fi機能を利用するときは、航空機モード(▶P.183)を無効にします。航空機モードを有効にすると、「Wi-Fi」が自動的に無効になります。

アクセスポイント（無線LAN親機）を登録し、接続する

1 ホーム画面で［⬆］→［設定］→［無線とネットワーク］

2 ［Wi-Fi設定］

Wi-Fi設定画面が表示されます。

3 「Wi-Fi」を有効にする

無線LAN圏内のネットワークSSIDが一覧表示されます。

4 ネットワークSSIDを選択

ネットワークSSIDは、アクセスポイント（無線LAN親機）によっては、ネットワーク名、SSID、ESS-IDなどと呼ばれています。

《Wi-Fi設定画面》

■ セキュリティなしの場合

5 ［接続］

接続が完了すると、ステータスバーに📶が表示されます。

■ セキュリティが設定されている場合

5 パスワードを入力

パスワードは、アクセスポイントや認証・暗号化方式によっては、WEPキー、WPAキー、事前共有キー、暗号化キーなどと呼ばれています。

6 ［接続］

接続が完了すると、ステータスバーに📶が表示されます。

memo

◎ Wi-Fi設定画面で接続履歴のあるネットワークSSIDをタップすると、接続状況、セキュリティ、電波強度、リンク速度、IPアドレスなどの詳細情報が表示されます。

アクセスポイント（無線LAN親機）を手動で登録する

アクセスポイント（無線LAN親機）側の設定で、「無線ネットワーク名の隠ぺい」（ANY 接続拒否、SSIDの隠ぺい、SSIDステルス）が有効になっていると、Wi-Fi設定画面にそのネットワークSSID名が表示されません。手動で登録します。

また、Wi-Fi ネットワークの圏外にあるアクセスポイントの情報を保存する場合にも、手動で登録します。

1 Wi-Fi設定画面で［Wi-Fiネットワークを追加］

2 ネットワークSSIDを入力

ネットワークSSIDは、アクセスポイントによっては、ネットワーク名、SSID、ESS-IDなどとも呼ばれています。

3 セキュリティ方式を選択

項目	説明
なし	セキュリティを設定していないネットワークSSIDを登録する場合です。
WEP	パスワード欄が表示されるので、WEPキー（暗号化キー）を入力します。
WPA/WPA2 PSK	パスワード欄が表示されるので、事前共有キー（WPAキー）を入力します。
802.1x EAP	EAP方式、フェーズ2認証、CA証明書、ユーザー証明書、ID、匿名ID、パスワードを入力します。

4 ［保存］

memo

◎「パスワードを表示」にチェックを入れると、入力したパスワードを画面で確認できます。

無線LANの詳細を設定する

オープンネットワークの通知を設定する

Wi-FiがONのとき、IS11PTがセキュリティなしのWi-Fiネットワークの圏内に入ったとき、ステータスバーに通知アイコンを表示するかしないかを設定します。お買い上げ時には、ONに設定されています。

1 Wi-Fi設定画面で[ネットワークの通知]

Wi-Fiを一時停止するタイミングを設定する

Wi-Fi通信が行われなくなってから、どれくらいの時間でWi-Fi機能をOFFにするかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面で MENU →[詳細設定]

2 [Wi-Fiのスリープ設定]

3

項目	説明
画面がOFFになったとき	アクセスポイント接続中には、バックライトが消灯されてから15分後にWi-Fi機能をOFFにします。アクセスポイントに接続していない場合は、バックライトが消灯されてから2分後にWi-Fi機能をOFFにします。
電源接続時はスリープにしない	ACアダプタやDCアダプタなどを接続して充電しているときは、Wi-Fi機能をスリープさせません。
スリープにしない	Wi-Fiのスリープを無効にします。

memo

◎スリープを無効にすると、電池の消費量が増加します。

MACアドレス/IPアドレスを表示する

1 [Wi-Fi設定]画面→ MENU →[詳細設定]

「MACアドレス」/「IPアドレス」の下にMACアドレス/IPアドレスが表示されます。

memo

◎MACアドレスは、各ネットワーク機器固有の番号で、変更はできません。

◎MACアドレスフィルターを利用する場合は、アクセスポイント(無線LAN親機)のMACアドレスフィルターをいったん無効にしてからIS11PTを接続し、接続が確認できてからアクセスポイントのMACアドレスフィルターを設定してください。

静的IPを設定する

Wi-FiネットワークのDHCP機能を使用せず、IS11PTに固定IPアドレスを設定します。

1 Wi-Fi設定画面→ MENU →[詳細設定]

2 「静的IPを使用する」を有効にする

IPアドレスなどの設定が可能になります。

3

項目	説明
IPアドレス	IS11PTが使用するIPアドレスを入力します。 例:192.168.1.101
ゲートウェイ	ゲートウェイのIPアドレスを入力します。
ネットマスク	ネットマスク(サブネットマスク、アドレスマスク)を10進表記で入力します。
DNS1	優先(プライマリ)DNSサーバのIPアドレスを入力します。
DNS2	代替(セカンダリ)DNSサーバがある場合は、そのIPアドレスを入力します。

au Wi-Fi SPOTを利用する

au Wi-Fi SPOTは、KDDI(au)が提供するauのAndroidスマートフォン向けの公衆無線LANサービスです。パケット通信料定額「ISフラット」もしくは「プランF(IS)シンプル／プランF(IS)」を契約しているお客様を対象とし、無料でご利用いただけます。
「au Wi-Fi接続ツール」の利用により、最大65Mbps(IS11PTの場合)、高セキュリティWPA2-PSKのau Wi-Fi SPOTが、IDやパスワードなどの入力なしで接続可能です。さらにau Wi-Fi接続ツールには、通信状況に応じて無線LANネットワークと3G網を自動的に切り替える機能があります。

au Wi-Fi接続ツールの初期設定をする

「データ通信を有効にする」(▶P.182)をONにして、3Gの電波圏内で初期設定を行ってください。

1 ホーム画面の「au Wi-Fi接続ツール」ウィジェットをタップ

ホーム画面から「au Wi-Fi接続ツール」ウィジェットが削除されている場合は、「ウィジェットを追加する」(▶P.52)を参照して、「au Wi-Fi接続ツール」ウィジェットを作成してください。

2 [OK]→[同意する]→[同意する]

初期設定が行われ、au Wi-Fi SPOTが「Wi-Fiネットワーク」の一覧に登録されます。

3 [設定完了]

memo

◎au Wi-Fi SPOT(アクセスポイント)の場所情報は、auホームページでご確認ください。
◎au Wi-Fi SPOTオリジナルの他に、「ワイヤ･アンド･ワイヤレス(Wi2)」のネットワークや、「UQ WiMAX」を展開するUQコミュニケーションズのネットワークもau Wi-Fi SPOTとしてご利用いただけます。

au Wi-Fi SPOTを利用するには

Wi-Fi機能が有効に設定されている(▶P.200)状態で、au Wi-Fi SPOTのエリア内に入ると自動的に接続し、ご利用が可能です。

memo

◎「au Wi-Fi接続ツール」(アプリケーション)は、削除しないでください。削除すると、au Wi-Fi SPOTに接続できなくなります。

他機器とのデータのやりとり

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などとの間を無線でつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。

Bluetooth

※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パンテックは、これら商標を使用する許可を受けています。

Bluetooth®機能でできること

■オーディオ出力

ワイヤレスで音楽やテレビ放送を聴くことができます。

■ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット製品とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■データ送受信

電話帳、ギャラリーに表示されるデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

memo

◎IS11PTはすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。

◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

◎USBケーブル(別売)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器の新規登録中」、「データ送受信中」、「Bluetooth®機器のスキャン中や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。

オーディオ機器とIS11PTの間に障害物(身体、金属、壁など)があると電波が届きにくくなり、音楽などを再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器とIS11PTの間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合は、応答することができます。
- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームが起動し、Bluetooth®通信を継続します。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LANのいずれかの使用を中止してください。

Bluetooth®機能の取り扱いについて

- IS11PTのBluetooth®機能は日本国内およびFCC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.3.0+EDR準拠
出力	Bluetooth®標準規格Power Class2
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) HID(Human Interface Device Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) FTP(File Transfer Profile) OPP(Object Push Profile) SPP(Serial Port Profile)
使用周波数帯	2.4GHz帯(2.402GHz〜2.480GHz)

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

周波数帯について

IS11PTのBluetooth®機能は、2.4GHz帯の2.402GHz〜2.480GHzまでの周波数を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあるので、他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■Bluetooth®ご使用上の注意

IS11PTのBluetooth®機能の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. IS11PTを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11PTと「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合は、速やかにIS11PTの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

2.4FH1 この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

Bluetooth®機能の関連用語について

用語	説明
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス(12桁の英数字)です。 登録機器一覧に登録した通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
HSP (Headset Profile)	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。
HFP (Hands-Free Profile)	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。
HID (Human Interface Device Profile)	キーボードやマウス、ジョイステックなどを接続するためのプロファイルです。
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳のデータを転送するためのプロファイルです。

用語	説明
FTP (File Transfer Profile)	パソコンなどとデータ転送するためのプロファイルです。
OPP (Object Push Profile)	カーナビ、パソコンなどと電話帳データ、スケジュールデータなどを送受信するためのプロファイルです。
SPP (Serial Port Profile)	仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続するためのプロファイルです。
OBEX (Object Exchange)	画像データや電話帳データのファイル交換を行うための規格です。
認証パスワード	接続する機器からOBEX認証の要求があった場合に入力するパスワードです。IS11PTでは、1〜16桁の数字を入力できます。
パスキー	▶P.209「パスキーについて」
オーディオ機器	A2DPに対応したBluetooth®機器です。

Bluetooth®機能の有効／無効を設定する

1 ホーム画面で[⬆]→[設定]→[無線とネットワーク]

2 [Bluetooth]

Bluetooth®機能が有効になると、IS11PTはスキャンを開始します。Bluetooth®機能が有効な登録済みのヘッドセットやフリーハンズ機器、オーディオ機器などが見つかると接続します。
IS11PTのBluetooth®機能が有効になると、ステータスバーにが表示され、接続中はアイコンがに変わります。

◎Bluetooth®機能を利用するには、上記の操作の前に、あらかじめ相手のBluetooth®機器を登録する必要があります。（▶P.208「Bluetooth®機器を登録する」）
◎Bluetooth®機能のON／OFFは、かんたん設定（▶P.50）でも行うことができます。
◎Bluetooth®機能を利用しないときは、Bluetooth®機能を無効にしてください。これにより、電池を長持ちさせることができます。
◎Bluetooth®機能を利用するときは、航空機モード（▶P.183）を無効にします。航空機モードを有効にすると、「Bluetooth」が自動的に無効になります。

Bluetooth®機器を登録する

IS11PTからBluetooth®機器に接続する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機器をBluetooth®端末一覧に登録します。

1 登録するBluetooth®機器のBluetooth®機能を有効にする

Bluetooth®機器によっては、「ペアリング設定」と呼ばれるモードにします。

2 IS11PTのホーム画面で[⬆]→[設定]→[無線とネットワーク]

3 [Bluetooth設定]→「Bluetooth」を有効にする→[デバイスのスキャン]

IS11PTはスキャンを開始し、接続可能なすべてのBluetooth®機器が「Bluetooth端末」に表示されます。

4 登録するBluetooth®機器を選択

5 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

パスキーの入力画面が表示されたときは、IS11PTとBluetooth®機器で同じパスキー(1～16桁の数字)を入力します。認証に成功すると、Bluetooth®機器がBluetooth®端末一覧に登録されます。
Bluetooth®機器がオーディオ機器/ハンズフリー機器や、HIDプロファイル対応のキーボード/マウス/ジョイスティックなどの場合は、登録完了後、Bluetooth®機器と接続されます。それ以外の機器の場合は、「ペア設定、非接続」と表示され、登録が完了します。

memo

◎Bluetooth®機器が探索拒否する設定になっている場合は、機器選択画面に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
◎IS11PTは、ペアリングの相手機器には「IS11PT」と表示されます(お買い上げ時の設定)。Bluetooth設定画面の「端末名」で変更できます。

■パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、IS11PTおよびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。IS11PTでは、1～16桁の数字を入力できます。

memo

◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために30秒の制限時間が設けられています。
◎Bluetooth®端末一覧から接続相手を削除すると、次に同じ機器と接続するときに、再度登録する必要があります。
◎Bluetooth®標準規格Ver.2.1対応の機器と接続する場合は、IS11PTのBluetooth接続画面に「Bluetoothのペア設定リクエスト:「XXXXXX」とペア設定するには、パスキー:nnnnnnが表示されていることを確認してください。」というメッセージが表示されることがあります。
その場合は、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることを確認してから、IS11PTで「ペア設定する」をタップし、接続するBluetooth®機器でも同様の操作を行ってください。
◎Bluetooth®標準規格Ver.2.1対応の機器と接続する場合は、IS11PTのBluetooth接続画面にパスキーと「認証する機器でパスキーを入力してください」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、パスキーを接続するBluetooth®機器に入力してください。
◎Bluetooth®標準規格Ver.2.1対応の機器と接続する場合は、パスキーを入力せずに接続できる場合があります。

ペアを解除する

登録したBluetooth®機器とのペアを解除して、ペア設定の情報を消去できます。

1 「Bluetooth端末」の一覧からペア解除したい機器をロングタッチ

コンテキストメニューが表示されます。コンテキストメニューの項目は、Bluetooth®機器の種類により異なります。

2 [ペアを解除]/[切断してペアを解除]

登録したヘッドセット機器などから音楽を鑑賞する

プロファイル「A2DP」に対応したヘッドセット/ハンズフリー/オーディオ機器へ、IS11PTのミュージックや動画の音などのメディア音を出力します。

1 登録したヘッドセット機器などの電源を入れる

2 ホーム画面で[⬆]→[設定]→[無線とネットワーク]

3 「Bluetooth」を有効にする

Bluetooth®機能が有効になると、登録したヘッドセット/ハンズフリー/オーディオ機器が接続されます。IS11PTのメディア音が、ヘッドセット/ハンズフリー/オーディオ機器から出力されます。

memo

◎Bluetooth®機能を有効にすると、電源が入っている登録済みのヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器が検索されると、自動的に接続されます。Bluetooth®機能のON／OFFは、かんたん設定（▶P.50）からも行うことができます。
◎ホーム画面で[⬆]→[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]→利用する機器を選択、と操作しても、ヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器などを接続できます。
◎ミュージックは、Bluetooth®機能を有効にする前や有効にした後で起動します。ヘッドセットによっては、ヘッドセット側の再生ボタンでIS11PTのミュージックを起動できるものがあります。
◎Bluetooth®機能が無効になると、ミュージックの再生も中止されます。
◎ヘッドセット／ハンズフリー／オーディオ機器と、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。

登録したキーボードやマウスなどを利用する

プロファイル「HID」に対応したキーボード／マウス／ジョイステックなどを、IS11PTの入力機器として利用できます。

1 登録したキーボードなどの電源を入れる

2 ホーム画面で[⬆]→[設定]→[無線とネットワーク]

3 [Bluetooth]を有効にする

Bluetooth®機能が有効になり、登録したキーボード／マウス／ジョイステックが接続されます。

memo

◎Bluetooth®機能を有効にすると、電源が入っている登録済みのキーボード／マウス／ジョイステックが検索されると、自動的に接続されます。Bluetooth®機能のON／OFFは、かんたん設定（▶P.50）からも行うことができます。
◎ホーム画面で[⬆]→[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]→利用する機器を選択、と操作しても、キーボード／マウス／ジョイステックなどを接続できます。
◎キーボード／マウス／ジョイステックと、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを送信する

電話帳やギャラリーに表示されたデータをBluetooth®送信することができます。また、Google Latitude、カレンダー、音声メモなどのさまざまなアプリケーションからもBluetooth®送信ができます。

1 Bluetooth®機能を有効にする（▶P.208）

2 各機能のメニューから[共有]

データの選択画面が表示された場合は、送信するデータを選択します。

3 [Bluetooth]

Bluetooth®端末の選択画面が表示されます。

4 送信先の機器を選択

データが送信されます。受信先で操作が必要な場合は、受信操作を行います。

memo

◎接続する機器によっては、認証パスワードが必要な場合もあります。
◎送信結果は、通知／ステータスパネル（▶P.50）に表示されます。
◎電話帳のデータは、vCard(.vcf)形式に変換されて送信されます。

Bluetooth®でデータを受信する

- Bluetooth®でデータを受信する場合は、microSDメモリカードの装着が必要です。

1 Bluetooth®機能を有効にする（▶P.208）

2 相手機器からデータを送信する

IS11PTにファイル転送の許諾画面が表示されます。

3 ［承諾］

データの受信が開始されます。

memo

◎接続する機器によっては、認証パスワードが必要な場合もあります。
◎受信結果は、通知／ステータスパネル（▶P.50）に表示されます。
◎受信したデータは、microSDメモリカードの「Bluetooth」フォルダに保存されます。写真や動画は「ギャラリー」（▶P.133）の「Bluetooth」アルバムで閲覧･再生できます。vCard(.vcf)形式の電話帳データは、通知／ステータスパネル（▶P.50）の［Bluetooth共有：受信したファイル］→vCardデータをタッチ→［続ける］と操作すると、電話帳に登録されます。

赤外線通信でデータを送受信する

IS11PTと赤外線通信機能を持つau電話との間で、プロフィールの送信、電話帳データ、ブックマークの送受信ができます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

◎赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
◎直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
◎送受信時に認証パスワードの入力が必要になる場合があります。認証パスワードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。受信時の認証パスワード入力画面で、入力画面が消えるまでに入力しないと赤外線通信は受信失敗となります。
◎赤外線通信中に電話がかかってきたり、アラームなど他のアプリケーションが起動した場合、赤外線通信は終了します。

■送受信できるデータについて

・プロフィール
・ブックマーク
・電話帳

◎プロフィールデータを受信すると、電話帳データとして受信します。
◎相手の機器やデータの種類、容量によっては再生できない場合があります。

赤外線でデータを受信する

1 ホーム画面で[⬆]→[赤外線]

2 [赤外線受信]

3 受信完了→[OK]→電話帳データの場合は[続ける]

◎プロフィールデータは、電話帳データとして受信します。
◎受信したデータは、電話帳／ブックマークに追加されます。
◎受信した電話帳データが登録済の連絡先と名前や電話番号、メールアドレスが同じ場合でも、別の連絡先として登録されます。

赤外線でデータを送信する

1 ホーム画面で[⬆]→[赤外線]

2 [赤外線送信]

3

プロフィール		プロフィールを送信します。
電話帳	1件送信	電話帳から1件を選択して送信します。 **送信するデータを選択→[完了]**
	全件送信	電話帳のデータすべてを送信します。 **[はい]→認証パスワードを入力→[完了]**

◎ブックマークURLの送信は、ブックマークのサブメニューからのみとなります。

各機能のサブメニューから赤外線で送信する

プロフィール画面の「赤外線送信」をタップすると、自局電話番号やEメールアドレスなどを赤外線送信できます。
電話帳のオプションメニューまたはコンテキストメニューの「共有」から「赤外線」をタップすると、電話帳データを赤外線送信できます。
ブックマークのオプションメニューまたはコンテキストメニューの「赤外線で全送信」または「赤外線で送信」をタップすると、ブックマークのURLを赤外線送信できます。

auのネットワークサービス

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	Cメール	P.99
	お留守番サービス（ボイスメール含む）	P.214
	着信転送サービス	P.219
	割込通話サービス	P.222
	発信番号表示サービス	P.224
	番号通知リクエストサービス	P.224
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.223
	迷惑電話撃退サービス	P.225
	通話明細分計サービス	P.226

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する（標準サービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、航空機モード（▶P.183）をONに設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.219）は同時に開始できません。
  お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.224）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.216）の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言･ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][1]→[ ]

2 [ダイヤル]→ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話も転送する場合（留守番開始1）

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][1][1]→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[はい]と操作しても、1411に発信します。

2 [切断]

■ 通話中にかかってきた電話は転送しない場合（留守番開始2）

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][1][3]→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[はい]と操作しても、1413に発信します。

2 [切断]

■ お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合（無応答転送）
- 通話中にかかってきた場合（「留守番開始1」で開始した場合のみ）（話中転送）
- 着信中に MENU →[着信転送]と操作した場合（選択転送）

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
◎「エリア設定」（▶P.230）を「日本」以外に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。
◎「エリア設定」（▶P.230）を「日本」以外に設定している場合は、選択転送ができません。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][1][0]→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[はい]と操作しても、1410に発信します。

2 [切断]

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言･ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎お留守番サービスを停止していても、伝言･ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、IS11PTのお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.217「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

電話をかけてきた相手の方は [#] を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作 2 に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、[#] を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作 3 へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 [#] を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

[1]：録音した伝言を再生して、内容を確認する

[2]：録音した伝言を「至急扱い」にする

[9]：録音した伝言を消去して、取り消す

[*]：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面で[ ]→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[ ]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。

伝言お知らせは、Cメールで確認できます。

伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

memo

◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は次の通りです。
「発番情報あり」に設定されている場合：最大20件
「発番情報なし」に設定されている場合：最大1件

◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。

◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内(▶P.215)で伝言お知らせ(伝言蓄積通知)を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。

◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせはCメールで確認できます。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合もお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定は、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.215)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][1][7]→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番伝言再生]→[はい]と操作しても、1417に発信します。

2 [ダイヤル]→ガイダンスに従ってキー操作

[1]:同じ伝言をもう一度聞く
[2]:伝言を保存
[4]:5秒間巻き戻して聞き直す
[5]:伝言を一時停止(20秒間)※
[6]:5秒間早送りして聞く
[9]:伝言を消去
[0]:伝言再生中の操作方法を聞く
[#]:次の伝言を聞く
[*]:前の伝言を聞く
※「切断」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [切断]

memo

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.216)も同じものとして扱われます。
◎ 伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

現在設定されている応答メッセージの内容を録音/確認/変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][1][4]→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[はい]と操作しても、1414に発信します。

2 [ダイヤル]

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

3 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[切断]

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

3 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[切断]

■ 設定されている応答メッセージを確認する場合

3 [3]→応答メッセージを確認→[切断]

■ 蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音する場合

3 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[切断]

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。(▶P.217「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)

1 ホーム画面で[ ]→[1][6][1][0]→[ ]

2 [切断]

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。

蓄積停止を解除する

1 ホーム画面で[ ]→[1][6][1][1]→[ ]

2 ガイダンスを確認後[切断]

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のIS11PT以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内(伝言再生など)	0141
お留守番サービスの開始	1411/1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のIS11PTの電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.28)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][1][9][1]→[ ]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [切断]

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][1][9][0]→[ ]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [切断]

memo

◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

◎緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)、天気予報(177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービス(▶P.214)は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.224)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送 ②選択転送 ③無応答転送
◎無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からIS11PTまでの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
IS11PTから転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][2][2]＋転送先電話番号を入力→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って「ダイヤル」から転送先電話番号をタップしても、無応答転送の設定ができます。

2 [切断]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[ ]→[1][4][2][1][2]→[ ]で設定できます。
◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
◎「エリア設定」（▶P.230）を「海外（GSM／UMTS）自動」または「海外（GSM／UMTS）手動」に設定している場合は、ご利用になれません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][2][3]＋転送先電話番号を入力→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[話中転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って「ダイヤル」から転送先電話番号をタップしても、話中転送の設定ができます。

2 [切断]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[ ]→[1][4][2][1][3]→[ ]で設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス（▶P.222）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎「エリア設定」（▶P.230）を「海外（GSM／UMTS）自動」または「海外（GSM／UMTS）手動」に設定している場合は、ご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][2][4]＋転送先電話番号を入力→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って「ダイヤル」から転送先電話番号をタップしても、フル転送の設定ができます。

2 [切断]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[ ]→[1][4][2][1][4]→[ ]で設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様のIS11PTは呼び出されません。

手動で転送する（選択転送）

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][2][5]＋転送先電話番号を入力→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[選択転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って「ダイヤル」から転送先電話番号をタップしても、選択転送の設定ができます。

2 [切断]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[ ]→[1][4][2][1][5]→[ ]で設定できます。
◎着信中に MENU →[着信転送]と操作すると、転送先電話番号に転送します。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面で[ ]→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→[ ]

[1][4][2][2]：無応答転送　[1][4][2][4]：フル転送
[1][4][2][3]：話中転送　[1][4][2][5]：選択転送

2 [ダイヤル]→転送先電話番号を入力

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

国際アクセスコード 001010 または010	ー	国番号 (アメリカ) 1	ー	市外局番 212	ー	転送先 電話番号 123XXXX

3 [切断]

memo

◎au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][2][0]→[ ]

ホーム画面で[ ]→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[転送停止]→[はい]と操作しても、1420に発信します。

2 [切断]

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のIS11PT以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送)、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用のIS11PTの電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.28)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。
◎パケット通信ご利用の際(特に有料データをダウンロード中)に、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービスを停止後にご利用ください。ただし、IS11PTはデータ通信を頻繁に行うため、継続して割込通話サービスを停止していると着信が受けられない場合があります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][5][1]→[ ]

2 [切断]

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.224)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.225)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合はご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][5][0]→[ ]

2 [切断]

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信中にしばらくデータのやりとりがない場合には、かかってきた電話を受けることができます。
◎「最大9.2Mbpsエリア/3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

■Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 を右にスライド

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「通話」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「切断」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][5][2]＋相手先電話番号を入力→[ ]

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186／184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

■Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 [通話追加]→Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

通話中に「電話帳」をタップすると、電話帳から電話番号を呼び出せます。

2 [通話]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、「通話」を2回タップするとAさんとの通話に戻ります。

4 [通話]

3人で通話できます。
「通話」をタップすると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
「切断」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話を開始したお客様が電話を切って,AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話中は、Cメールを送ることはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「海外(GSM／UMTS)自動」または「海外(GSM／UMTS)手動」に設定している場合は、ご利用になれません。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のIS11PTのディスプレイに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号(IS11PTの電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号が、IS11PTのディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Pay Phone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービス(▶P.214)、着信転送サービス(▶P.219)、割込通話サービス(▶P.222)、三者通話サービス(▶P.223)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.225)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][8][1]→[ ]

2 [切断]

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(国際ローミングエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合や、次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- Cメール
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][8][0]→[ ]

2 [切断]

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービス(▶P.214)、着信転送サービス(▶P.219)、割込通話サービス(▶P.222)、三者通話サービス(▶P.223)、番号通知リクエストサービス(▶P.224)のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][4][2]→[ ]

2 [切断]

memo

◎受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
◎「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合や、次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- Cメール

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除はできません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- Cメール
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][4][8]→[ ]

2 [切断]

memo

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面で[ ]→[1][4][4][9]→[ ]

2 [切断]

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 ホーム画面で[ ]→[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→[ ]

2 [切断]

memo

◎分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186／184」を最初にダイヤルしてください。
◎フリーダイヤル、緊急通報番号(110、119、118)、Cメールなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

海外利用

グローバルパスポート

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のIS11PTをそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。IS11PTは渡航先に合わせてGSMネットワーク、UMTSネットワーク、CDMAネットワークのいずれでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとUMTSネットワーク、CDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートGSM／UMTS、グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ご利用のイメージ

1 国内では、auのネットワークでご利用になれます。

2 IS11PTの「PRL設定」（▶P.229）を行います。

3 IS11PTの「エリア設定」（▶P.230）を行います。

4 世界のGSM／UMTS／CDMAネットワークでいつもの番号で話せます。

5 帰国したら「エリア設定」（▶P.230）を「日本」へ戻します。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSM／UMTS、グローバルパスポートCDMAをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.229）に従い、各種設定を行ってください。

新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■IS11PTを盗難・紛失したら

- 海外でIS11PTを盗難・紛失された場合は、当社お問い合わせ先まで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- IS11PTに挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性がありますので、PINコードの変更とロックをおすすめします。（▶P.190「UIMカードロック設定」）

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・パケット通信料は、国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外では、着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「 」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

海外でIS11PTを利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。
海外渡航前に、最新のPRL（ローミングエリア情報）を取得してからお使いください。

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。

1. **ホーム画面で[ ]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]**
2. **「データ通信を有効にする」を有効にする**
   データ通信が無効の場合は、操作3後、PRLのダウンロードは中止されます。
3. **[ローミング設定]→[PRL設定]→[PRLバージョンを更新する]**
4. **[PRLダウンロード]→[最新ファイルはこちら]**

◎渡航前に、日本国内で最新のPRLを必ず設定してください。
◎古いPRLデータのまま利用し続けていると、海外のエリアによっては通信ができなくなることがありますので、海外渡航前に、最新のPRLデータをダウンロードしてください。
◎PRLデータをダウンロードする場合は、別途パケット通信料がかかります。

エリアを設定する

渡航先に着いたら、IS11PTを使用するエリアを設定します。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]

2 [ローミング設定]→[エリア設定]

3

日本	日本国内でご利用になる場合に設定します。
海外(CDMA)	海外でグローバルパスポートCDMAをご利用になる場合(PRLに従って自動設定)に設定します。
海外(GSM/UMTS)自動	海外でグローバルパスポートGSM/UMTSをご利用になる場合(PRLに従って自動設定)に設定します。
海外(GSM/UMTS)手動	海外でグローバルパスポートGSM/UMTSをご利用になる場合で、海外通信事業者を手動で設定します。 **ネットワーク名を選択**

memo

◎「海外(CDMA)」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。

データローミングを設定する

渡航先(ローミング中)で、パケット通信を利用できるように設定します。

1 ホーム画面で[ ]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]

2 「データローミング」を有効にする→[OK]

memo

◎データローミングを有効にするには、あらかじめ「エリア設定」(▶P.230)を「海外(CDMA)」/「海外(GSM/UMTS)自動」/「海外(GSM/UMTS)手動」に設定してください。

◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料(利用月のみ月額525円)と別途通信料がかかります。

現在地時刻を設定する

「日付と時刻」を「自動」に設定している場合(お買い上げ時の設定)は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでIS11PTの時計の時刻や時差が補正されます。

GSM/UMTSローミング中は、「自動」を無効にして「日付設定」「タイムゾーンの選択」「時刻設定」を手動で設定することができます(▶P.197)。

CDMAローミング中は、手動での設定を行うことはできません。

memo

◎海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。

◎補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。

◎サマータイムがある国は、現地時間とIS11PTの表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外(日本を含む)へ電話をかける

渡航先から日本または渡航先以外の国へ電話をかけます。

例:韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面で[ ]

2 渡航先の国際アクセス番号、相手の国番号、相手の市外局番と電話番号を入力→[ ]

国際アクセス番号(韓国)※1	➡	国番号※2(アメリカ)	➡	相手の市外局番※3	➡	相手の電話番号
002		1		212		123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

※2 相手がグローバルパスポートを利用している場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力します。

※3 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力します。ただし、イタリア・モスクワの固定電話など一部の国・地域では「0」が必要です。

渡航先の国内へ電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。ただし、グローバルパスポートCDMAをご利用時のアメリカ本土、ハワイ、サイパン、メキシコの場合は異なります。

1 ホーム画面で[ ]

2 相手の市外局番と電話番号を入力→[ ]

■ アメリカ本土・ハワイ・サイパンの場合(CDMAご利用時)

2 「1」→相手の市外局番→電話番号を入力→[ ]

■ メキシコ・市内通話の場合(CDMAご利用時)

2 相手の電話番号を入力→[ ]

■ メキシコ・市外通話の場合(CDMAご利用時)

2 「01」→相手の市外局番→相手の電話番号を入力→[ ]

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。

1 着信中に を右にスライド

memo

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信(IS11PT)側には着信料がかかります。

■ 日本から渡航先のあなたへかけてもらう

日本国内にいるときと同様に、電話番号をダイヤルして電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先のあなたへかけてもらう

渡航先にかかわらず日本経由となるため、国番号は「81」(日本)になります。

例:アメリカから韓国のIS11PT「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 かける人の滞在国の国際アクセス番号、日本の国番号、最初の0を除いたIS11PTの電話番号を入力→発信

国際アクセス番号(アメリカ)	➡	日本の国番号	➡	IS11PTの電話番号(最初の0は省略する)
011		81		901234XXXX

海外利用

付録・索引

付録

IS11PTのソフトウェアを更新する

IS11PTのソフトウェアを更新するには、次の2つの方法があります。

- **ケータイアップデート**
  3Gデータ通信環境で、自動または手動でアップデート（パケット通信料は無料です。）
- **ソフトウェアアップデート**
  無線LAN接続環境（▶P.199「Wi-Fi」）で、「アップデート実行（Wi-Fi）」

ケータイアップデートを利用する

IS11PTは、ケータイアップデートに対応しています。ケータイアップデートとは、au電話のソフトウェアを更新する機能です。
ケータイアップデートで、IS11PTのソフトウェアを更新する方法は次の通りです。なお、更新方法にかかわらず、ソフトウェアの更新前にau電話が自動的に再起動し、ソフトウェアの更新後にもう一度再起動します。

手動更新	ソフトウェアの更新が必要かどうかをネットワークに接続して確認できます。 • **更新が必要な場合：**ソフトウェア更新用データをダウンロードして、更新します。※1 • **更新が不要な場合：**そのまま引き続きご利用いただけます。
自動更新	auからのソフトウェア更新のお知らせを受信した場合に更新します。 • **自動更新型：**お知らせを受信したときに自動的に更新します。※2 • **ユーザー承認型：**お知らせを受信したときに確認画面が表示されます。

※1 ダウンロード後すぐに更新せずに、au電話を使用しない夜間など、更新開始日時を指定して更新することができます。

※2 「自動設定」（▶P.234）を無効にすると、ユーザー承認型と同様に確認画面が表示されます。

1 ホーム画面で［⬆］→［設定］→［端末情報］→［ケータイアップデート］

2

アップデート開始	**1. ［実行］** IS11PTのソフトウェア更新が必要かどうかを確認します（手動更新）。 ソフトウェア更新が必要な場合は、次の操作を行います。 **すぐに更新する場合** **2. ［実行］** ソフトウェア更新用データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後に再起動するとソフトウェアが更新されます。 **後で更新する場合（予約更新）** **2. ［予約］** ソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了すると更新開始日時を設定する画面が表示されます。 **3. ［時刻変更］／［日付変更］** ［時刻変更］で更新開始時刻、［日付変更］で更新日を変更できます。 **4. ［予約］** 更新開始日時に自動的にIS11PTが再起動してソフトウェアが更新されます。
自動設定	IS11PTが自動更新型の更新のお知らせを受信したときに、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードを開始し、ソフトウェアを更新するかどうかを設定します。

予約時刻	設定されている更新開始日時を変更します。 ・「解除」をタップすると、予約更新は解除されます。

memo

◎ 更新開始日時は、現在時刻の10分後〜更新ソフトウェアダウンロード日時の7日後まで設定できます。
◎ 更新開始日時を設定した後で、「日付と時刻」(▶P.197)の設定を変更すると予約更新が解除されます。
◎ 予約更新を解除した場合は、IS11PTのソフトウェアを更新するために「アップデート開始」をもう一度実行してください。予約更新を解除した後で「アップデート開始」を実行すると、自動的にIS11PTが再起動してソフトウェアが更新されます。

■ ご利用上のご注意

- ソフトウェアの更新にかかる情報料・通信料は無料です。
- 無線LAN(Wi-Fi)接続でのご利用はできません。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、au電話をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なau電話をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してからアップデートしてください。電池残量が少ない場合や、アップデート途中で電池残量が不足するとケータイアップデートに失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ケータイアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、IS11PTに登録された各種データや設定情報は変更されません。ただし、お客様のIS11PTの状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
- ケータイアップデートに失敗したときや中止されたときは、「アップデート開始」(▶P.234)によりケータイアップデートを実行し直してください。
- 「エリア設定」(▶P.230)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

ケータイアップデート実行中は、以下のことは行わないでください

- ソフトウェア更新中に電池パックを外さないでください。電池パックを外すと、ケータイアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ケータイアップデート実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ケータイアップデートが実行できない場合などについて

- ケータイアップデートに失敗すると、IS11PTが使用できなくなる場合があります。IS11PTが使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

■ 更新のお知らせ(自動更新型)が来ると

自動更新型のソフトウェア更新のお知らせを受信した場合、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了するとソフトウェアが更新されます。

memo

◎ 操作中に更新のお知らせを受信した場合も、ソフトウェア更新のためにIS11PTの再起動が行われます。編集中のデータが失われますのでご注意ください。
◎ 「自動設定」を無効に設定している場合は、ユーザー承認型と同様に確認画面が表示されます。

■更新のお知らせ(ユーザー承認型)が来ると

ユーザー承認型のソフトウェア更新のお知らせを受信した場合は、確認画面が表示されます。

■すぐに更新する場合

1 **[実行]**

ソフトウェア更新用データのダウンロードが開始されます。

■後で更新する場合

1 **[中止]**/(BACK)

更新が中止されます。「アップデート開始」(▶P.234)によりケータイアップデートを実行し直してください。

ソフトウェアアップデートを利用する

IS11PTは、Wi-Fi環境を利用してソフトウェアを更新することもできます。

■ソフトウェアアップデートご利用上のご注意

- 「アップデート情報の自動確認」を有効(お買い上げ時の設定)にしておくと、Wi-Fiまたは3Gデータ通信利用時、ソフトウェアアップデートが必要かどうかを24時間置きに自動的に確認します。アップデートが必要な場合は、ディスプレイ上部のステータスバーに が表示されます。
- microSDメモリカードの空き容量を500MB程度確保して、アップデートを行ってください。
- ソフトウェアの更新にかかる情報料は無料です。
- 十分に充電してからアップデートしてください。電池残量が少ない場合や、アップデート途中で電池残量が不足するとソフトウェアアップデートに失敗します。
- 無線LANの電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェアアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、IS11PTに登録された各種データや設定情報は変更されません。ただし、お客様のIS11PTの状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- アップデート実行中にアラームが動作しないように、アップデート実行前にアラーム設定をOFFにしてください。
- アプリケーションの実行中またはBGM再生中は、ソフトウェアアップデートをご利用できません。アプリケーションやBGM再生を終了してから、ソフトウェアアップデートを実行してください。
- ソフトウェアアップデートに失敗したときや中止されたときは、「アップデート実行(Wi-Fi)」を実行し直してください。

ソフトウェアアップデート実行中は、以下のことは行わないでください

- ソフトウェア更新中に電池パックを外さないでください。電池パックを外すと、ソフトウェアアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。また、無線LAN電波が途切れたりしないようにご注意ください。

ソフトウェアアップデート実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアアップデートが実行できない場合などについて

- ソフトウェアアップデートに失敗すると、IS11PTが使用できなくなる場合があります。IS11PTが使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

■「アップデート実行(Wi-Fi)」を実行する

1 ホーム画面で[⬆]→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェアアップデート]

2 [アップデート実行(Wi-Fi)]

更新データの確認を行い、現在のバージョンナンバーと最新のバージョンナンバーを表示します。
最新のバージョンナンバーが表示されない場合は、アップデートは不要です。BACKを押して、ソフトウェアアップデートを終了してください。

3 [実行]→[はい]→[OK]

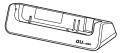
自動的に再起動します。

memo

◎ 無線LANが利用できない環境で、「アップデート実行(Wi-Fi)」をタップしても、アップデートは実行できません。

周辺機器のご紹介

■ 電池パック(PTI11UAA)

■ 卓上ホルダ(PTI11PUA)

■ 共通ACアダプタ01(0202PQA)(別売)※
共通ACアダプタ02(0203PQA)(別売)※
共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)
共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)
AC Adapter MIDORI(0205PGA)(別売)※
AC Adapter AO(0204PLA)(別売)※
AC Adapter SHIRO(0204PWA)(別売)※
AC Adapter MOMO(0204PPA)(別売)※
AC Adapter CHA(0204PTA)(別売)※
AC Adapter REST(LS1P002A)(別売)※
AC Adapter RANGERS(LS1P003A)(別売)※
AC Adapter CHARGY(LS1P001A)(別売)※
AC Adapter WORLD OF ALICE(LS1P004A)(別売)※
AC Adapter KiiRoll(L01P005A)(別売)※
AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N)(別売)

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
- 共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、必ず共通ACアダプタ03、または共通ACアダプタ02をご使用ください。

※IS11PTでご使用になる場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01(別売)と接続する必要があります。

■ 共通DCアダプタ03(0301PEA)(別売)

■ ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)

■ auキャリングケースF ブラック（0105FCA）（別売）

■ 共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）※
■ ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）※
■ 18芯-microUSB変換アダプタ01（0301QYA）（別売）
■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
■ microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
■ microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
■ microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
■ microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）
■ microUSBモノラルイヤホン01（0301QLA）（別売）
■ microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（0301QVA）（別売）
■ 平型-microUSB変換アダプタ01（0301QXA）（別売）
■ 3.5φ-microUSB変換アダプタ01（0301QNA）（別売）

※IS11PTでご使用になる場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）と接続する必要があります。

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎IS11PTは、ASYNC／FAX通信は非対応です。
◎本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com

電池パックを交換する

電池パックは、IS11PT専用のものを使用して正しく取り付けてください。

memo

◎電池パックの注意事項については、「電池パックについて」（▶P.17）をご参照ください。

電池パックを取り外す

電池パックを取り外すときは、本体の電源をOFFにしてください。

1 IS11PT本体裏側のロックレバーを左方向へスライドさせてLOCKを解除する

2 本体の凹部に指先（爪）をかけて、電池パックカバーを矢印の方向に持ち上げて、電池パックカバーを取り外す

3 電池パック下部の「PULL」と印刷されている部分を上に引き、電池パックを取り外す

memo

◎電池パックを取り外すときは、「PULL」と印刷されている部分を上に引くようにしてください。別の方向から持ち上げようとすると、本体の接続部を破損するおそれがあります。

電池パックを取り付ける

1 電池パックのラベル印刷面が上になるようにして、IS11PT本体と電池パックの接続部の位置を確かめて合わせ、電池パックを確実に押し込む

2 電池パックカバーのツメ部を斜めにして本体に差し込んでから（2-1）、電池パックカバーを取り付ける（2-2）

3 電池パックカバーの▲マークの8箇所を押す

4 電池パックカバーの両サイドを指で図の方向になぞり、カバー全体に浮きがないことを確認する

5 ロックレバーを「LOCK」の位置まで矢印の方向にスライドさせて、電池パックのカバーをロックする

memo

◎au ICカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

◎取り付け時に間違った取り付けかたをしますと、電池パックおよび電池パックカバー破損の原因となります。

共通DCアダプタ03（別売）を使用して充電する

電池パックをIS11PTに取り付けた状態で充電してください。

1 IS11PTに共通DCアダプタ03（別売）を接続する

側面にある外部接続端子カバー（1-1）を開け、共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグを、先端の形状を確認して差し込みます（1-2）。

2 共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットに差し込む

IS11PTの充電ランプが赤色に点灯し、ディスプレイ上部の電池残量アイコンが充電中の表示になります。

充電時間は約260分です

IS11PTの電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
充電が完了すると充電ランプが消灯します。

3 充電が終わったら、IS11PTから共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグを引き抜く

4 IS11PTの外部接続端子カバーを閉じる

5 共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットから抜く

◎共通DCアダプタ01（別売）を利用する場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）が必要です。
◎IS11PTの電源がOFFの状態で充電を開始すると、IS11PTの電源が自動的にONになり充電中の画面が表示されます。充電を終了するとIS11PTの電源は自動的にOFFになります。
◎電源OFFの状態で充電をした場合、電池残量が少ない状態で充電を終了すると充電不足のメッセージが表示される場合があります。

別売のイヤホンを使用する

使用するイヤホンにより、変換アダプタが必要となります。

使用するイヤホン	変換アダプタ
microUSBモノラルイヤホン01(別売)	不要
市販のイヤホン(3.5φミニプラグ)	microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)または3.5φ-microUSB変換アダプタ01(別売)
既存の平型スイッチ付イヤホンマイク(別売) 既存の平型ステレオイヤホンマイク(別売)	平型-microUSB変換アダプタ01(別売)

1 変換アダプタが必要な場合は、変換アダプタとイヤホンを接続する

2 IS11PTの外部接続端子にmicroUSBモノラルイヤホン01(別売)または変換アダプタを接続する

IS11PTの側面にある外部接続端子カバーを開け、microUSBモノラルイヤホン01(別売)または変換アダプタのコネクタを、先端の形状を確認して平行になるように差し込みます。

memo

◎外部接続端子カバーを強く引っ張らないようご注意ください。特にmicroUSBモノラルイヤホン01(別売)やアダプタを取り外す際にカバーを一緒に引っ張ると必要以上の力が加わる可能性があります。
◎外部接続端子カバーを強く引っ張ると、カバーが変形したり、IS11PT本体から抜けてしまったり破損の原因となります。
◎イヤホンによってはアダプタに接続できない場合があります。
◎平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)および平型ステレオイヤホンマイク(別売)のスイッチは使用できません。
◎イヤホン接続後に、NASHサウンド効果(▶P.186)が設定できます。

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
⏻を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか?	P.36 P.240
	電池パックは正しく取り付けられていますか?	P.238
	電池パックの端子が汚れていませんか?	—
	⏻を1秒以上長押ししていますか?	P.38
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか?	P.36 P.240
電源起動時の画面表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか? ※電池残量が少ない場合、電源を入れると、電源起動時画面が表示され、しばらくすると画面が消えます。	P.36 P.240
電話がかけられない	電源は入っていますか?	P.38
	au ICカードが挿入されていますか?	P.40
	電話番号が間違っていませんか? (市外局番から入力していますか?)	P.72
	電話番号入力後、「 」をタップしていますか?	P.72
	「エリア設定」が間違っていませんか?	P.230
	「航空機モード」が設定されていませんか?	P.183
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか?	P.49
	サービスエリア外にいませんか?	P.49
	電源は入っていますか?	P.38
	au ICカードが挿入されていますか?	P.40
	「エリア設定」が間違っていませんか?	P.230
	「着信拒否」が設定されていませんか?	P.184
	「航空機モード」が設定されていませんか?	P.183
	着信転送サービスが設定されていませんか?	P.219
圏外アイコンが表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか?	P.49
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか?	P.34
	「エリア設定」が間違っていませんか?	P.230

こんなときは	ご確認ください	参照
Wi-Fiがつながらない	アクセスポイントからの電波は届いていますか？	P.49
	Wi-Fiの設定はしましたか？	P.200
着信音が鳴らない	音量が0に設定されていませんか？	P.185
	マナーモードが設定されていませんか？	P.162
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.36 P.240
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.238
	卓上ホルダや本体の充電端子などが汚れていませんか？	―
	microUSBケーブルによるパソコンからの充電はできません。	―
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.38
	画面ロックの解除はしましたか？	P.38
	スリープモードになっていませんか？	P.38
au ICカード（UIM）エラーと表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.40
	au ICカード以外のカードを挿入していませんか？	P.40
充電してくださいなどと表示されて警告音が鳴った	電池残量がほとんどありません。	P.36 P.39 P.240
イヤホン接続時、電話が勝手に応答する	「イヤホンマイク自動着信」が設定されていませんか？	P.184
電池パックを利用できる時間が短い	電池パックが寿命となっていませんか？	P.17
	電波が届きにくい場所での使用が多くありませんか？	P.49
	Wi-Fi、3Gデータ通信、GPS機能、Bluetooth®、自動同期などを使用する設定にすると、電池を消耗します。使用していない機能をこまめにOFFにすることで電池の消耗を抑えます。かんたん設定アイコンで各機能のON／OFFを切り替えることができます。	P.50
	使用していないアプリケーションを終了することで電池の消耗を抑えます。	P.58
	画面の明るさを暗く、バックライト点灯時間を短く設定すると、電池の消耗を抑えます。	P.187

こんなときは	ご確認ください	参照
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.49
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	―
ディスプレイの照明がすぐに消える	「バックライト消灯」の時間が短く設定されていませんか？	P.187
相手の方の声が聞こえない	受話音量が最小に設定されていませんか？	P.72
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.34
画面が動かなくなり、どのキーを押しても操作できない	⏻を長押ししても電源をOFFにできない場合は、一度電池パックを取り外し、数秒待ってから電池パックを入れ直してください。その場合、編集中のデータはすべて消失します。	―
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.42
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.194
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	P.127
	本体の温度が高かったり、極端に低くなっていませんか？	P.127

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。

http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのIS11PT本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています(月額315円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

memo

◎ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難・故障・操作方法について)

一般電話からは　　フリーコール 0077−7−113(通話料無料)
au電話からは　　局番なしの113(通話料無料)

■auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
① 保証サービス 注：保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
② 修理代金割引サービス 注：水濡れ･全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引 （無料）	お客様負担額 5,250円（税込）
③ 水濡れ･全損時リニューアルサービス 注：水濡れ･全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250円（税込）	お客様負担額 10,500円（税込）
④ 紛失時あんしんサービス	新しいau電話購入代金最大18,900円（税込）OFF	新しいau電話購入代金最大6,300円（税込）OFF
⑤ 電池パック無料サービス	同一au電話を1年以上（または3年以上）継続利用することで電池パックを1個プレゼント	なし
⑥ 無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1000ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス

◎水濡れ･全損はこの対象とはなりません。

◎お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ･全損時リニューアルサービス

◎お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失･盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。（合計2回まで）

◎電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年～2年までの間、3年～4年までの間の計2回（各1個の提供）となります。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ･全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1000ポイント進呈します。

※1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

主な仕様

項目		仕様
ディスプレイ		3.7インチ、最大1677万色、TFT、 静電容量方式タッチパネル
		480×800ドット(WVGA)
質量		約123g(電池パック含む)
連続通話時間	国内	約500分
	海外(GSM)	約400分
	海外(CDMA)	約600分:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土/ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/ニュージーランド/タイ/マカオ/バングラデシュ/バミューダ諸島/バハマ/ベネズエラ/香港 ※対象国は2011年8月時点
連続待受時間	国内	約260時間
	海外(GSM)	約380時間
	海外(CDMA)	約320時間:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土 約400時間:ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/バングラデシュ/バハマ/香港 約470時間:ニュージーランド/タイ/マカオ/バミューダ諸島/ベネズエラ ※対象国は2011年8月時点
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約62mm×121mm×11.8mm (最厚部12.8mm)
本体内部メモリ		ROM 8Gbit、RAM 4Gbit
ユーザーメモリ		約400MB
外部メモリ		microSD™/microSDHC™メモリカード(最大32GB)
外部端子		micro USB Bタイプ端子(USB 2.0対応)
無線LAN		Wi-Fi、IEEE802.11b/g/n WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP
Bluetooth®		3.0+EDR
赤外線		IrDA ver.1.4
カメラ		CMOSイメージセンサー、 約500万画素(記録画素数2560×1920)、 静止画サイズ(2560×1920、2240×1680、2048×1536、1600×1200、1280×960、800×480、640×480)、 録画サイズ(1280×720、800×480、640×480、320×240) デジタルズーム方式、10cm接写・ソフト処理

◎連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種IS11PTの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。

この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.553W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨

の「auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)」を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。

KDDI推奨の「auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)」をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

- ○ 総務省のホームページ:
  http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
- ○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
  http://www.arib-emf.org/index02.html
- ○ auのホームページ:
  http://www.au.kddi.com

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。(2011年3月現在)

名前から引く索引

数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

目的から引く索引

Wi-Fiを利用する

インターネットにアクセスする

海外で利用する

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

アプリケーションを入手する

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示／再生する

データを記録する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

利用許諾契約

Aplixエンドユーザライセンス契約

ソフトウェアについて
この携帯電話機には当社以外の第三者が所有するソフトウェアが含まれています。ご利用のお客様には、この携帯電話機を使用する限りにおいて、インストールされているソフトウェアの非独占的で譲渡を禁止した使用権が許諾されています。この使用権の許諾をもって、お客様へのソフトウェアの販売と解釈されるものではありません。お客様はソフトウェアの一部または全部の複製・変更・頒布・公衆送信可能化・模倣・改変・リバースエンジニアリングをしたり、ソースコードを明らかにしてはいけません。ソフトウェアの所有者である第三者は、唯一独占的にソフトウェアを所有し、全ての権利を保持しており、利益を享受します。
この携帯電話機にインストールされているソフトウェアは、現状有姿でお客様に使用権を許諾されています。明示・黙示を問わず、すべてのソフトウェアに関して第三者知的財産権の不侵害、商品性、特定目的への適合性等は何ら保証するものではありません。更に、ソフトウェアが連続的に正しく動作することも保証するものではありません。黙示の保証の排除を許さない法域では、黙示の保証は排除されず限定されます。

オープンソースソフトウェアについて

本製品には、Google社が開発したAndroidのソフトウェアに基づいたオープンソースソフトウェアが含まれています。詳細については、以下のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
http://opensource.pantech.com/

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

■ 輸出管理規制
本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

INNOPATH™

microSD、microSDHCは、SDアソシエーションの商標です。

本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™テクノロジーを搭載しています。
Adobe、Adobe Acrobat、Flash、FlashLiteおよびMacromediaはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Pantechは、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

DIVXビデオについて: DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC-が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified® (DivX認証)デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて: DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するには、このDivX Certified®(DivX認証)デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。
DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社 の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
DOLBY、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。

iWnnはオムロン株式会社の登録商標です。
iWnn© OMRON SOFTWARE Co, Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
iWnnIME© OMRON SOFTWARE Co, Ltd. 2009-2011 All Rights Reserved.

InnoPath, the InnoPath Logo, and iMDM are registered trademarks of Innopath Software, Inc.
All other trademarks are properties of their respective owners.
Copyright© 2011 Innopath Software, Inc All Rights Reserved.

MAVEN is a trademark of Emersys, Inc.

重ね書き手書き文字認識は、株式会社東芝のLaLa Strokeを使用しています。
LaLa Strokeは株式会社東芝の商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Microsoft® Excel®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Android マーケット」、「Android マーケット」ロゴ、「Gmail」、「Google Apps」、「Google カレンダー」、「Google Checkout」、「Google Earth」、「Google Latitude」、「Google マップ」、「Google トーク」、「Google ニュース」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。

「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。

Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

「jibe」はJibe Mobile株式会社が提供するソーシャルアプリです。
「jibe mobile」はJibe Mobile株式会社の商標です。

Powered by emblend™ Copyright 2009-2011 Aplix Corporation. All rights reserved.
emblendは、日本および他の国における株式会社アプリックスの商標です。

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、及び/又は(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、及び/又はAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。更に詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.comをご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.comをご参照ください。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

Safety Information

CE Declaration of Conformity

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Operation Temperature

0 - 45 °C (without adaptor), 0 - 45 °C (with adaptor)

Battery

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.
DISPOSE OF USED BATTERY ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

Sound pressure- CAUTION

Excessive sound pressure from earphones can cause hearing loss.

AC Adapter

The mains plug is used as the disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

USB

“The USB port has to be connected to USB interfaces USB 2.0 versions or higher.”

FCC Notice

SAFETY INFORMATION FOR FIXED WIRELESS TERMINALS

POTENTIALLY EXPLOSIVE ATMOSPHERES

Turn your phone OFF when in any area with a potentially explosive atmosphere and obey all signs and instructions. Sparks in such areas could cauls e an explosion or fire resulting in bodily injury or even death.

INTERFERENCE TO MEDICAL DIVICES

Certain electronic equipment may be shielded against RF signal from you wireless phone. (pacemakers, Hearing Aids, and so on) Turn your phone OFF in health c are

facilities when any regulations posted in these areas instruct you to do so. RF signals may affect improperly installed or inadequately shielded electronic system in motor vehicles.

EXPOSURE TO RF ENERGY

Use only the supplied or an approved replacement antenna. Do not touch the antenna unnecessarily when the phone is in use. Do not move the antenna close to, or couching any exposed part of the body when making a call.

SAFETY INFORMATION FOR RF EXPOSURE

Body worm operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 1 cm. from the body. To maintain compliance requirements, use only belt-clips, holsters or similar accessories that maintain a 1 cm separation distance between the user’s Body and the back of the phone, including the antenna. The use of belt-clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
For more information about RF exposure, please visit the FCC website at www.fcc.gov.

SAR INFORMATION

THIS MODEL PHONE MEETS THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. *
Tests for SAR are conducted with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output. Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model phone when tested for use at the ear is **0.617 W/Kg** and when worn on the body , as described in this user guide, is **1.02 W/Kg** . (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the government requirement for safe exposure. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/ oet/fccid after searching on **FCC ID: JYCCDMAPTI11.**
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications Industry Asso-ciation (CTIA) web-site at **http://www.wow-com.com.** * In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a sub-stantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

U.S.FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION RADIO FREQUENCY INTERFERENCE STATEMENT

INFORMATION TO THE USER

NOTE : This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful Interference in a residential installation This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if Not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful Interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular Installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

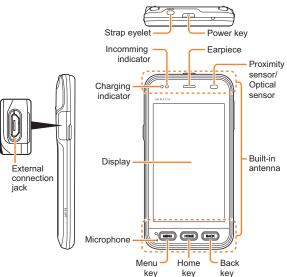
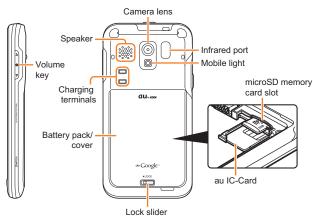
* Reorient or relocate the receiving antenna.
  Increase the separation between the equipment and receiver.
* Connect the equipment into an outlet of a circuit different from that to which the receiver is connected.
* Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for assistance.

Changes or modification not expressly approved by the party responsible for Compliance could void the user's authority to operate the equipment. Connecting of peripherals requires the use of grounded shielded signal cables.

FCC Compliance Information

This device complies with Part 15 of FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received.
Including interference that may cause undesired operation.

English Simple Manual（簡易英語版）

Turning Power On and Off1

- **Turning Power On**

  Hold down ⏻ for at least one second

- **Turning Power Off**

  Hold down ⏻ for at least 0.5 seconds ▶[Power off]▶[OK]

Switching the Screen to English

On the Home screen, [⬆] ▶ [設定] (Settings) ▶ [言語とキーボード] (Language & keyboard) ▶ [言語を選択 (Select language)] ▶ [English]

Checking Your Own Phone Number and E-mail Address

On the Home screen, [ ] ▶ [Settings] ▶ [Profile]

Making and Answering a Call

● **Making a Call**

On the Home screen, [ ] ▶ Enter the phone number you want to call ▶ [ ]

To end a call: [End]

● **Answering a Call**

When the phone starts ringing, slide [ ] to the right

To adjust the earpiece volume during a call: Press

Storing and Recalling Contacts

● **Storing a Contact**

On the Home screen, [ ] ▶ [Contacts] ▶ MENU ▶ [New contact] ▶ Select the item you want to edit ▶ Enter the data ▶ [Done]

● **Recalling a Contact**

On the Home screen, [ ] ▶ [Contacts] ▶ Select the contact you want to recall

Using the Camera (Movie and Snapshot)

● **Recording a Movie Clip**

On the Home screen, [ ] ▶ [Camcorder]

▶[ ] to start recording

▶[ ] to stop recording

● **Taking a Snapshot**

On the Home screen, [ ] ▶ [Camera]

▶[ ] to take a snapshot

Making an International Call

Ex: To call 212-123-△△△△ in the USA

On the Home screen, [ ] ▶ [0] [0] [1] [0] [1] [0] ▶ [1]

International access code

Country code (USA)

▶ [2] [1] [2] ▶ [1] [2] [3] ▶ △△△△ ▶ [ ]

Area code

Number you want to call

Other Handy Features

● **Setting the Manner Mode**

Hold down for at least 0.5 seconds ▶ [Manner mode]

Repeat the above operation to disable the Manner Mode

For inquiries, please contact

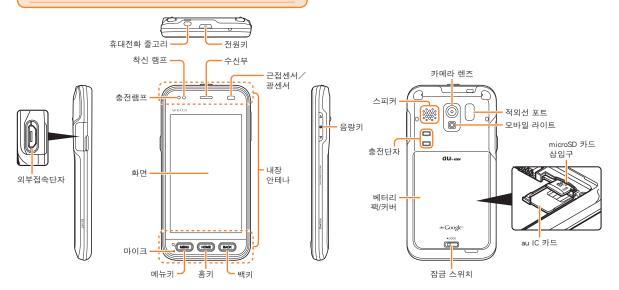
Customer Service Center (General Information)

● If you are calling from a landline phone: 0077-7-111 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

간이 설명서(한국어) (簡易韓国語版)

IS11PT au by KDDI

簡易韓国語

전원 켜기와 끄기

● **전원 켜기**

⏻ 을 1초 이상 길게 누름

● **전원 끄기**

⏻ 을 0.5초 이상 길게 누름 ▶ [종료] ▶ [확인]

화면 표시 언어를 한국어로 전환

대기화면에서, [⬆] ▶ [設定] (설정) ▶ [言語とキーボード](언어 및 키보드) ▶ [言語を選択 (Select language)] (언어 선택) ▶ [한국어]

내 전화번호와 이메일 주소 확인하기

대기화면에서, [ ] ▶ [설정] ▶ [프로필]

전화 걸기/전화 받기

● **전화 걸기**

대기화면에서, [ ] ▶ 원하는 전화번호를 누름 ▶ [ ]
통화 종료: [종료]

● **전화 받기**

착신음이 울리면 [ ]을 오른쪽으로 밂
통화중 음량 조절: 을 누름

연락처 저장하기/불러오기

● **연락처 저장하기**

대기화면에서, [ ] ▶ [주소록] ▶ MENU ▶ [새 연락처] ▶ 편집을 원하는 항목 선택 ▶ 데이터 입력 ▶ [완료]

● **연락처 불러오기**

대기화면에서, [ ] ▶ [주소록] ▶ 불러오기를 원하는 연락처를 선택

카메라 사용하기(동영상/사진)

● **동영상 녹화하기**

대기화면에서, [ ] ▶ [캠코더]
▶ [ ]을 눌러 녹화를 시작
▶ [ ]을 눌러 녹화를 멈춤

● **사진 촬영하기**

대기화면에서, [ ] ▶ [카메라]
▶ [ ]을 눌러 사진을 촬영

국제전화 걸기

예: 미국의 212-123-△△△△ 로 전화를 걸려면

대기화면에서, [ ] ▶ [0] [0] [1] [0] [1] [0] ▶ [1]
국제통화코드 / 국가번호(미국)

▶ [2] [1] [2] ▶ [1] [2] [3] ▶ △△△△ ▶ [ ]
지역번호 / 전화번호

기타 편리한 기능

● **무음 모드 설정**

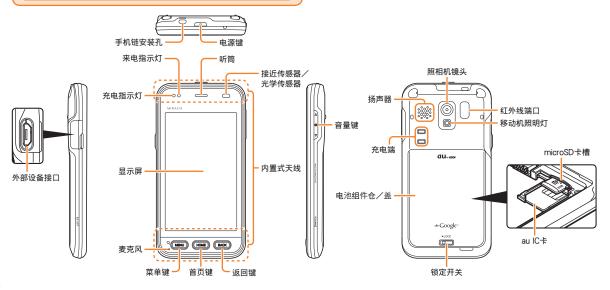
을 0.5초 이상 길게 누름 ▶ [무음 모드]
무음모드를 취소하려면 위 방법을 반복하십시오

문의사항이 있으시면
au 고객서비스센터 (일반정보)로 연락하십시오
● 일반전화 사용시: 0077-7-111 (무료)
● au 휴대전화 사용시: 157 (무료)

中文(简体)简易说明书 (簡易中国語(簡体)版)

开启或切断电源

● **开启电源**

按住 ⏻ 一秒钟以上

● **切断电源**

按住 ⏻ 0.5秒钟以上▶[关机]▶[确定]

切换到中文(简体)显示

从首页画面,[ ]▶[設定](设置)▶[言語とキーボード](语言和键盘)▶[言語を選択 (Select language)](选择语言)▶中文(简体)

检查您自己的电话号码和电子邮箱地址

从首页画面,[ ]▶[设置]▶[个人资料]

拨打和接听电话

● **拨打电话**

从首页画面,[ ]▶输入您想要拨打的电话号码▶[ ]

结束通话:[挂断]

● **接听电话**

在电话铃声响起时,[ ]向右侧方向滑动

通话时调整听筒音量:使用

保存和查看联系人

● **保存联系人**

从首页画面,[ ]▶[联系人]▶ MENU ▶[新建联系人]

▶选择您想要编辑的项目▶输入数据▶[完成]

● **查看联系人**

从首页画面,[ ]▶[联系人]▶选择您查找的联系人

使用照相机(视频和快照)

● **拍摄视频**

从首页画面,[ ]▶[摄录像机]

▶[ ]开始拍摄

▶[ ]停止拍摄

● **拍摄快照**

从首页画面,[ ]▶[相机]

▶[ ]拍摄快照

拨打国际长途电话

举例:想要拨打美国长途电话 212-123-△△△△

从首页画面,[ ]▶[0][0][1][0][1][0]▶[1]

国际电话呼叫号码　国家号码(美国)

▶[2][1][2]▶[1][2][3]▶△△△△▶[ ]

区号　您要拨打的电话号码

其他手机功能

● **设置静音模式**

按住 0.5秒钟以上▶[静音模式]

想要取消静音模式,则重复上述步骤

如需咨询,请联系

客户服务中心(综合信息)

● 从座机上请拨打电话: 0077-7-111(免费)

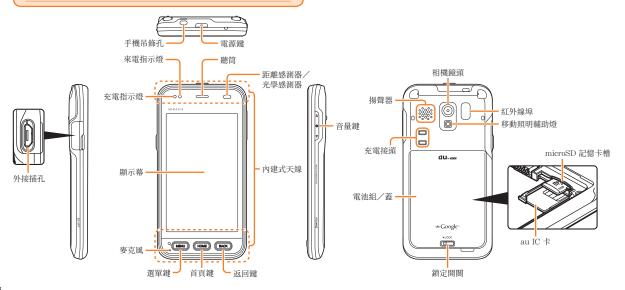
● 从au手机上请拨打电话:157(免费)

中文(繁體)簡易説明書 (簡易中国語(繁体)版)

IS11PT au by KDDI

開啟或關閉電源

● **開啟電源**

按住 ⏻ 一秒鐘以上

● **關閉電源**

按住 ⏻ 0.5秒鐘以上 [關機] ▶ [確定]

切換至中文(繁體)顯示

從首頁畫面,[⬆] ▶ [設定](設定) ▶ [言語とキーボード](語言與鍵盤) ▶ [言語を選択 (Select language)](選取語言) ▶ [中文(繁體)]

檢查自己的電話號碼和電子郵件地址

從首頁畫面,[ ][設定] ▶ [個人資料]

撥打與接聽電話

● **撥打電話**

從首頁畫面,[ ] ▶ 輸入想要撥打的電話號碼 ▶ [ ]

結束通話:[結束]

● **接聽電話**

當電話響起時,將 [ ] 向右側滑動

通話時調整聽筒音量:按下

儲存和查看聯絡人

● **儲存聯絡人**

從首頁畫面,[ ] ▶ [聯絡人] ▶ MENU ▶ [新增聯絡人] ▶ 選擇您要編輯的項目 ▶ 輸入資料 ▶ [完成]

● 查看聯絡人

從首頁畫面,[ ] ▶[聯絡人] ▶選擇您要查看的聯絡人

使用相機(影片和快照)

● **拍攝影片**

從首頁畫面,[ ] ▶ [攝影機]

▶ [ ] 開始拍攝

▶ [ ] 停止拍攝

● **拍攝快照**

從首頁畫面,[ ] ▶ [相機]

▶ [ ] 拍攝快照

撥打國際電話

例如:撥打美國國際電話 212-123-△△△△

從首頁畫面, [ ]▶[0] [0] [1] [0] [1] [0]▶[1]

國際電話接取碼　國碼 (美國)

▶[2] [1] [2]▶ [1] [2] [3]▶ △△△△ ▶[ ]

區碼　您要撥打的電話號碼

其他手機功能

● **設定靜音模式**

按住 0.5秒鐘以上 ▶ [靜音模式]

停用靜音模式,請重複上述操作

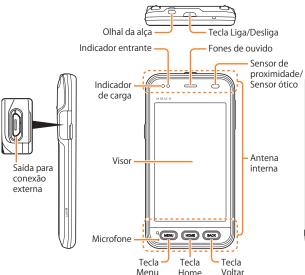
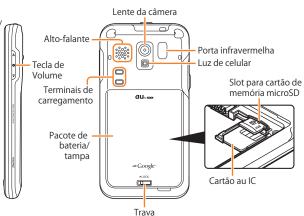
若需諮詢,請聯絡

客戶服務中心(一般資訊)

● 室內電話請撥打: 0077-7-111(免費)

● au 手機請撥打:157(免費)

Manual Simples em Português (簡易ポルトガル語版)

IS11PT au by KDDI

Como ligar e desligar

● **Para Ligar**

Mantenha pressionado ⏻ por pelo menos um segundo

● **Para Desligar**

Mantenha pressionado ⏻ por pelo menos 0.5 segundos ▶ [Desligar] ▶ [OK]

Alternar a tela para Português

Na tela principal, [⬆] ▶ [設定] (Configurações) ▶ [言語とキーボード] (Idioma e teclado) ▶ [言語を選択 (Select language)] (Selecionar idioma) ▶ [Português]

Como verificar seu próprio número de telefone e endereço de email

Na tela principal, [ ] ▶ [Configurações] ▶ [perfil]

Como fazer e atender uma chamada

● **Como fazer uma chamada**

Na tela principal, [ ] ▶ Digite o número de telefone que deseja chamar ▶ [ ]

Para finalizar uma chamada: [Finalizar]

● **Como atender uma chamada**

Quando o telefone tocar, deslize [ ] para a direita

Para ajustar o volume dos fones de ouvido durante uma chamada: Pressione

Armazenar e acessar Contatos

● **Armazenar um Contato**

Na tela principal, [ ] ▶ [Contatos] ▶ MENU ▶ [Novo contato] ▶ Selecione o item que deseja editar ▶ Insira os dados ▶ [Concluído]

● **Acessar um Contato**

Na tela principal, [ ] ▶ [Contatos] ▶ Selecione o contato que deseja acessar

Uso da Câmera (Filme e Instantâneo)

● **Como gravar um filme**

Na tela principal, [ ] ▶ [Câmara de vídeo]

▶ [ ] para iniciar a gravação

▶ [ ] para parar a gravação

● **Como fazer um instantâneo**

Na tela principal, [ ] ▶ [Câmera]

▶ [ ] para fazer um instantâneo

Como fazer uma chamada internacional

Ex: Para chamar 212-123-△△△△ nos EUA

Na tela principal, [ ] ▶ [0] [0] [1] [0] [1] [0] ▶ [1]

Código de acesso internacional — Código de país (EUA)

▶ [2] [1] [2] ▶ [1] [2] [3] ▶ △△△△ ▶ [ ]

Código de área — Número que deseja chamar

Outros recursos úteis

● **Configurar o Modo Silencioso**

Mantenha pressionado ⏻ por pelo menos 0.5 segundos ▶ [Modo silencioso]

Repita a operação acima para desativar o Modo Silencioso

Para informações, contate

Central de Atendimento ao Cliente (Informações Gerais)

● Se estiver chamando de um telefone fixo: 0077-7-111 (chamada gratuita)

● Se estiver chamando de um telefone celular au: 157 (chamada gratuita)

簡易ポルトガル語

文字入力の詳細情報

■ 記号（全角／半角）一覧

入力できる記号（全角）一覧（表示順）

空白(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（
）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃
＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←
↑	↓	〓	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒
∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶	◯
ゎ	ゐ	ゑ	ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ
Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι
κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─	│	┌
┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯
┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍
㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝
〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	∮	∟	⊿			

入力できる記号（半角）一覧（表示順）

空白(スペース)	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	\	]	^	_	`	{	|	}	~									

※ 入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■絵文字一覧

入力できる絵文字一覧（表示順）

- 異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
- マルが付いた絵文字は動きます。ただし、入力箇所によっては動かない場合があります。
- 他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。

  パソコンから→ http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html

  ※サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

■ デコレーション絵文字一覧

お買い上げ時に用意されているデコレーション絵文字一覧

気持ち・からだ
気持ち・からだ
生き物・星座
生き物・星座
食べ物・飲み物

食べ物・飲み物
自然・季節
自然・季節
ファッション・遊び
乗物・建物
乗物・建物
道具

道具
記号・文字

記号・文字

記号・文字

その他

その他

■顔文字一覧

(*^^*)	(*_*)	(--;)	(-.-)
(-_-)	(-_-;)	(..)	(;_;)
(;o;)	(>_<)	(T-T)	(TT)
(T_T)	(ToT)	(^-^)	(^-^)/
(^-^)v	(^-^;	(^.^)	(^^)
(^^)/	(^^)d	(^^)v	(^^;
(^_^)	(^_^)/	(^_^)v	(^_^;)
(^o^)	(^o^)/	(^o^)v	(^o^;)
(^q^)	(__)	(・・;)	:-(
:-)	:-<	:->	:-O
:-p	;-)	X-<	f(^^;
f(^_^)	f(^_^;	m(__)m	＼(^-^)／
＼(^^)／	＼(^_^)／	＼(^o^)／	(((^^;)
(((^_^;)	(((・・;)	(-.-)Zzz・・・・	(-.-)y-~
(-.-)ノ⌒-~	(-_-)/~~~	(-｡-)y-~	(/--)/
(/_;)/~~	(;_;)/~~~	(;´Д`)	(>.<)y-~
(^-^ゞ	(^3^)/	(^^;)))	(^^ゞ
(^_^)/~~	(^_^;)))	(^^ゞ	(^o^)／~~
(^o^ゞ	(^з^)-☆	(^∧^)	(^◯^)
(^｡^)y-~	(^ー^)	(^人^)	(´Д`)
(⌒0⌒)／~~	(⌒-⌒)	(°o°)＼(-_-)	(°°;)＼(-;)
(°□°)	(°□°;	(・・;)))	(̄^ ̄)

(̄▽ ̄;)	(̄ー ̄)	_(^^;)ゞ	d=(^o^)=b
f(^ー^;	o(^o^)o	p(^-^)q	p(^^)q
q(^-^q)	σ(^_^;)?	φ(..)	φ(°°)ノ°
φ(. .)	┐('〜`;)┌	ゞ(`')、	ヘ(^_^)
＼(__)			

※入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

お客様各位

このたびは、IS11PTをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
IS11PT取扱説明書の記載内容に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに以下の内容を訂正させていただきます。

該当箇所：P.123「有害サイトをブロックする」のmemoの2つ目

誤： ◎フィルタリング機能は、au.NET接続時のみ有効です。IS NET接続時は無効となります。

正： 記載削除

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

新しいケータイを買った!!

使い終わったケータイと取扱説明書は大切な資源。リサイクル回収に出そう！

古いケータイと取説どーしよう？

1

回収しています

auショップへ持って行こう！

リサイクルお願いしま〜す！

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

2

原材料ごとに再資源化されて新しい商品として店頭へ！

このケータイい〜な〜

取説も生まれかわるよ！

3

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号　お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。
（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2011年11月第2版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：Pantech Co., Ltd.